

IVEX Logger Series

Viewer ユーザーズマニュアル

日本ナレッジ株式会社

- 本マニュアルの記載内容を一部または全部を無断で転写することを禁じます。
- 本マニュアルの記載内容は将来予告なく変更されることがあります。
- 本マニュアル及び、装置に記載されている各会社名、各製品名、各サービス名は、各社の商標または登録商標です。

画面構成について

IVEX Logger Viewer の画面はフォルダリストと操作画面で構成されます。Web ブラウザから IVEX Logger Viewer にログインすると、操作画面にトップ画面が表示されます。フォルダリスト及び操作画面の主な使い方を以下に記載します。



名称	使い方
フォルダリスト	IVEX Logger Viewer の各機能に対する機能項目が階層構造で表示されます。 選択した機能項目に対応する画面が、操作画面に表示されます。 フォルダリストに表示される機能項目は、ログインしたユーザの権限（ユーザの操作権限と、ユーザが所属するグループに応じた操作権限）や、ご購入頂いた機能オプションに応じて、異なります。 また、トップボタンやログアウトボタン、検索処理等の中断を行う stop ボタンも表示されます。
操作画面	フォルダリストで選択された機能項目に応じた画面が表示されます。

操作画面

フォルダリストから機能項目を選択すると、操作画面に選択した機能項目に応じた画面が表示されます。操作画面には、トップ画面、メニュー、ショートカットアイコン、各種リスト画面、各種設定画面等が表示されます。



名称	使い方
メニュー	各種リスト画面や各種設定画面に表示された項目に対する操作を行う際に使用します。 フォルダリストで選択した機能項目によって表示内容は異なります。
ショートカットアイコン	メニューと同じく各種リスト画面や各種設定画面に表示された項目に対する操作を行う際に使用します。 フォルダリストで選択した機能項目によって表示内容は異なります。
各種リスト画面、各種設定画面	フォルダリストで選択した項目に応じた画面を表示します。

主なメニュー










Copyright © 2017 All Rights Reserved. 株式会社 日本経済新聞社

メニュー	表示項目	選択した場合の動作
ファイル	ファイル作成	操作画面にリスト表示された項目に対して、新規項目を作成します。 例えば、操作画面に検索条件リストが表示されている場合は、新規に検索条件を作成します。
	フォルダ作成	操作画面にリスト表示された項目を分類する、新規フォルダを作成します。 例えば、操作画面に検索条件リストが表示されている場合は、検索条件を分類できる、新規フォルダを作成します。
	名前をつけて保存	操作画面に表示された項目の設定内容を、名前を付けて保存します。
	上書き保存	操作画面に表示された項目の設定内容を、上書き保存します。
	名前変更	操作画面にリスト表示された項目のうち、選択した項目に対して、登録名を変更します。 例えば、操作画面に検索条件リストが表示され、特定の検索条件のみが選択されている場合、選択された検索条件の登録名を変更します。
	削除	操作画面にリスト表示された項目のうち、選択した項目を削除します。 例えば、操作画面に検索条件リストが表示され、いくつかの検索条件が選択されている場合、選択されている複数の検索条件を削除します。
編集	コピー	操作画面にリスト表示された項目のうち、選択した項目をメモリにコピーします。 例えば、操作画面に検索条件リストが表示され、いくつかの検索条件が選択されている場合、選択された検索条件をメモリにコピーします。
	カット	操作画面にリスト表示された項目のうち、選択した項目をメモリにコピーし、選択した項目を削除します。 例えば、操作画面に検索条件リストが表示され、いくつかの検索条件が選択されている場合、選択された検索条件をメモリにコピーし、リスト上から削除します。
	ペースト	メモリにコピーされている項目を同じリストの任意の場所に貼り付けます。
	全て選択	操作画面にリスト表示された項目のうち、表示されている全ての項目を選択します。
	選択解除	操作画面にリスト表示された項目のうち、選択された全ての項目の選択を解除します。

メニュー	表示項目	選択した場合の動作
表示	更新	操作画面にリスト表示された画面を再読み込みします。
	表示数 ○○件	操作画面にリスト表示される項目の 1 画面中の表示件数を、選択された件数で表示します。
検索	ファイル検索	操作画面に表示されたリストの中で、該当する登録名の項目を検索します。
ログアウト	—	IVEX Logger Viewer のコンソールサーバからログアウトします。

ショートカットアイコン

ショートカットアイコンの機能は、メニューのショートカットアイコンと同じように機能します。

ショートカットアイコン	名称	使い方
	上へアイコン	操作画面にリストを表示させた状態でフォルダを選択した場合に、階層構造が一つ下位の階層に移動します。このアイコンは、階層を一つ上位の階層に移動する場合に使用します。
	ファイル作成アイコン	メニューのファイル作成と同じように機能します。
	上書きアイコン	メニューの上書き保存と同じように機能します。
	カットアイコン	メニューのカットと同じように機能します。
	コピーアイコン	メニューのコピーと同じように機能します。
	ペーストアイコン	メニューのペーストと同じように機能します。
	削除アイコン	メニューの削除と同じように機能します。
	更新アイコン	メニューの更新と同じように機能します。
	検索アイコン	メニューの検索と同じように機能します。

IVEX Logger ユーザーズマニュアル 目次

1. ログイン/ログアウト(操作説明)	8
1.1. ログイン操作例	8
1.2. ログアウト操作例	10
2. ユーザ自身のパスワード変更(操作説明)	11
3. メニューを使った操作(操作説明)	13
3.1. フォルダの作成の操作例	14
3.2. コピー(コピーとペースト)の操作例	16
3.3. 移動(カットとペースト)の操作例	19
3.4. 削除の操作例	22
3.5. ファイル検索の操作例	24
4. ログの検索(操作説明)	26
4.1. 検索条件登録例	27
4.2. 検索実行例	33
4.3. AND を使用した検索実行例	35
4.4. OR を使用した検索実行例	38
4.5. トラッキング検索実行例	42
4.6. 正規表現を使用した検索実行例	45
4.7. カラムセットの定義	47
4.8. 条件所有者変更	50
4.9. 検索結果の CSV 出力例	52
4.10. 検索条件のエクスポート	56
4.11. 検索条件のインポート	57
4.12. カラムセット定義のエクスポート	58
4.13. カラムセット定義のインポート	59
5. ログの集計(操作説明)	60
5.1. 集計条件登録例	61
5.2. 集計実行例	66
5.3. 集計条件のエクスポート	70
5.4. 集計条件のインポート	71
6. レポート作成(操作説明)	72
6.1. レポート作成条件登録例	73
6.2. 作成実行例	77
6.3. レポート作成履歴確認例	81
6.4. 外部レポートエンジンの登録例	83
6.5. レポート作成条件のエクスポート	89
6.6. レポート作成条件のインポート	90

6.7. カスタムレポート定義のエクスポート.....	91
6.8. カスタムレポート定義のインポート.....	92
7. 検索機能(画面詳細説明)	93
7.1. 検索条件リスト	94
7.2. 検索条件タブ.....	97
7.2.1. 期間指定	99
7.2.2. 検索条件.....	100
7.2.3. 検索条件の組み合わせ.....	110
7.2.4. 検索の中断機能	111
7.2.5. 過去ログデータの互換検索機能.....	111
7.3. 検索結果タブ.....	112
7.3.1. ハイライト機能	112
7.3.2. トラッキング機能.....	113
7.3.3. 検索結果 CSV 出力機能	114
7.4. カラムセットアサインタブ	115
7.4.1. 定義済みからアサイン	116
7.4.2. 新規作成からアサイン	118
7.5. カラムセットリスト	119
7.6. カラムセット定義	122
8. 集計機能(画面詳細説明)	124
8.1. 集計条件リスト	125
8.2. 集計対象設定タブ	128
8.3. 集計条件設定タブ	130
8.4. 表出力結果タブ	137
8.4.1. 集計結果出力例 1	137
8.4.2. 集計結果出力例 2	139
8.4.3. 種別を設定した場合の出力例	141
8.4.4. 「0 件」表示レベルの設定について	144
8.5. グラフ設定タブ	158
8.6. グラフ出力結果タブ	160
8.6.1. 行列系列と表グラフの関係	161
8.7. 集計の中断機能	163
8.8. 表出力結果の NAN 及び NODATA	164
8.9. インポートタブ(集計機能)	165
9. レポート機能(画面詳細説明)	168
9.1. レポート作成条件リスト.....	169
9.2. 起動タイミングタブ	173
9.2.1. 起動タイミングが[指定なし]の場合	175

9.2.2. 起動タイミングが[定期]の場合	176
9.2.3. 起動タイミングが[タイマー]の場合	184
9.3. レポート作成条件タブ	185
9.4. 出力タブ	186
9.5. 保存期間設定タブ	189
9.6. レポート作成履歴	190
9.6.1. レポート作成履歴リスト	190
9.6.2. ステータスについて	193
9.7. カスタムレポート定義	194
9.7.1. カスタムレポートリスト	194
9.7.2. スタイルシートタブ	197
9.7.3. カスタムレポートリスト	199
10. ログフォーマット管理(画面詳細説明)	200
10.1. ログフォーマット定義	202
10.1.1. アプリケーションリスト	202
10.1.2. アプリケーションタブ	206
10.1.3. アクションリストタブ	209
10.1.4. アクションタブ	210
10.1.5. メッセージパラメータリストタブ	212
10.1.6. メッセージパラメータタブ	213
10.1.7. プレビュータブ	215
10.2. タグ定義	217
10.2.1. タグタブ	220
10.2.2. アサインタブ	221
10.3. 設定プレビュー	222
10.3.1. 設定プレビュータブ	222
10.3.2. プレビュー結果タブ	223
10.4. インポート(管理者)	224
10.4.1. インポートタブ(管理者)	224

1. ログイン/ログアウト(操作説明)

ユーザはコンソールサーバにログインすることでログの検索やレポート作成の操作ができます。この章では、ブラウザを使用してコンソールサーバにアクセスして、ログイン・ログアウトを行う手順について説明しています。

1.1. ログイン操作例

(1) ブラウザを起動して以下の URL にアクセスします。

この例では、コンソールサーバのホスト名を「www.example.com」、ポート番号を「8080」としています。

<http://www.example.com:8080/>

※SSL を使用して通信を行う場合は、<https://www.example.com:8080/> となります。

(2) ブラウザに以下のようにコンソールサーバのログイン画面が表示されることを確認します。



(3) ユーザ名とパスワードを入力して、「LOGIN」ボタンを押します。

この例では、管理ユーザ(ドメイン管理者)でログインします。ユーザ名を「admin」、パスワードを「admin」としています。



(4) 「トップ画面」が表示されることを確認します。以上がログインです。

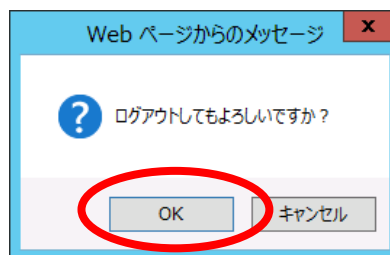


1.2. ログアウト操作例

(1) メニューの「ログアウト」ボタンを押します。



(2) 確認画面の「OK」ボタンを押します。



(3) コンソールサーバのログイン画面が表示されることを確認します。以上がログアウトです。

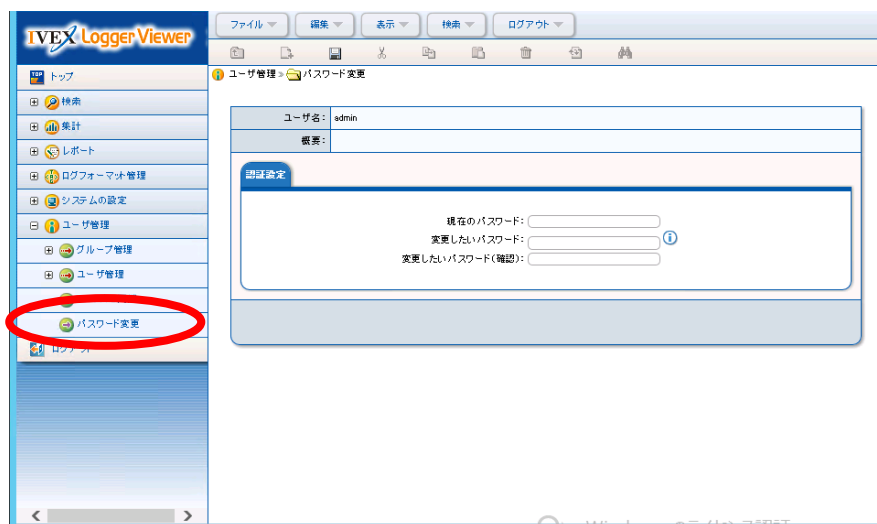


2. ユーザ自身のパスワード変更(操作説明)

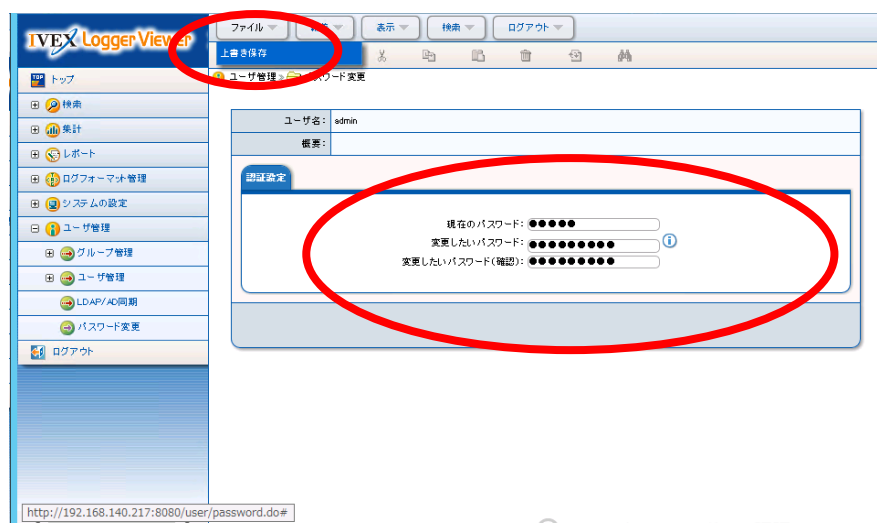
ユーザは自分自身のパスワードを変更することができます。パスワードは、大文字、小文字の区別はありませんが、半角文字であれば利用可能な文字の制限はありません。新規のパスワードは、変更前のパスワードは使用できませんが、2つ前のパスワードを指定することはできます。

ユーザ自身のパスワードを変更する操作例を下記に記載します。

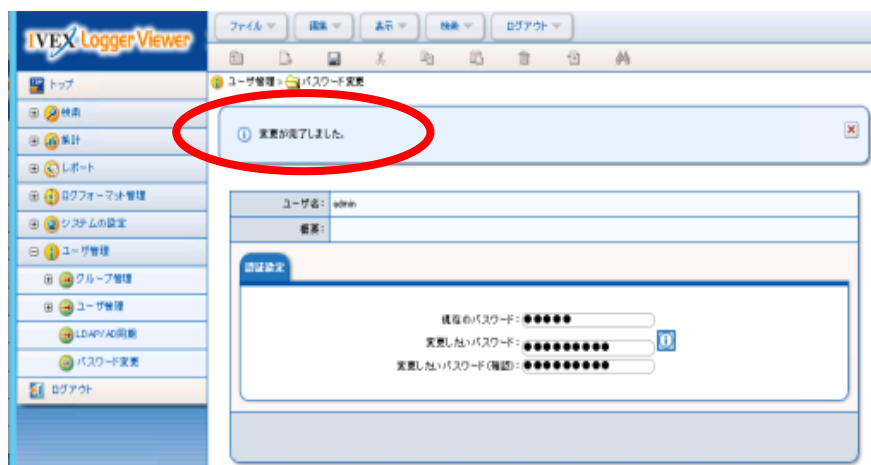
- (1) コンソールサーバにログイン後、フォルダリストの「ユーザ管理」→「パスワード変更」を選択し、「パスワード変更画面」を表示します。



- (2) パスワード変更画面のパスワード変更タブに必要事項を入力し、メニューの「上書き保存」を選択します。



(3) 変更完了のメッセージが表示され完了。



以上がユーザ自身のパスワード変更です。

3. メニューを使った操作(操作説明)

フォルダリストから機能項目を選択すると、操作画面に選択した機能に応じた画面が表示されます。操作画面にはメニュー、ショートカットアイコン、各種リスト画面や各種設定画面等が表示されます。

ここでは、操作画面に表示される主なメニューについて、操作方法を説明します。

主なメニューの操作方法として以下の操作例を記載しています。

- フォルダの作成の操作例
- コピー(コピーとペースト)の操作例
- 移動(カットとペースト)の操作例
- 削除の操作例
- ファイル検索の操作例

3.1. フォルダの作成の操作例

操作画面にリスト表示される項目は、フォルダを作成し、用途等に応じて項目を分類することができます。

ここではフォルダの作成の操作例として、検索条件リストに新規のフォルダを作成する操作例を記載します。

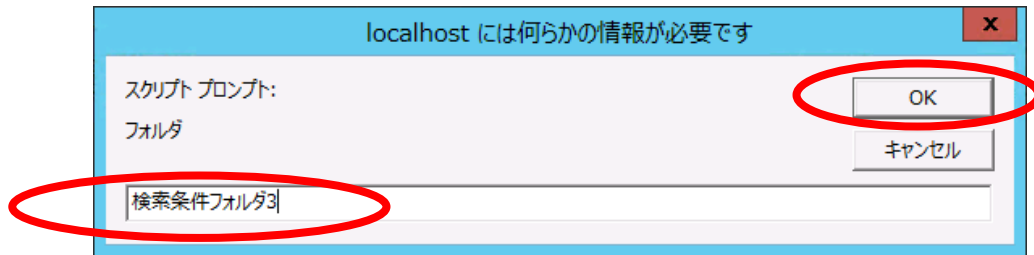
(1) フォルダリストの「検索」→「検索条件」を選択し、「検索条件リスト画面」を表示します。



(2) メニューの「フォルダ作成」を選択します。



(3) 表示される画面にフォルダ名「検索条件フォルダ 3」を入力し、OK を選択します。



(4) 検索条件リストにフォルダ「検索条件フォルダ 3」が追加されたことを確認します。



以上がフォルダの作成の操作例です。

3.2. コピー(コピーとペースト)の操作例

操作画面にリスト表示される項目(検索条件、集計条件、レポート作成条件、ログフォーマット定義、タグ定義、ログソース等)は、同じリスト内の任意の階層にコピーすることができます。

ここではコピーの操作例として、特定の検索条件を既に作成されているフォルダ内にコピーする操作例を説明します。

- (1) フォルダリストの「検索」→「検索条件」を選択し、「検索条件リスト画面」を表示します。



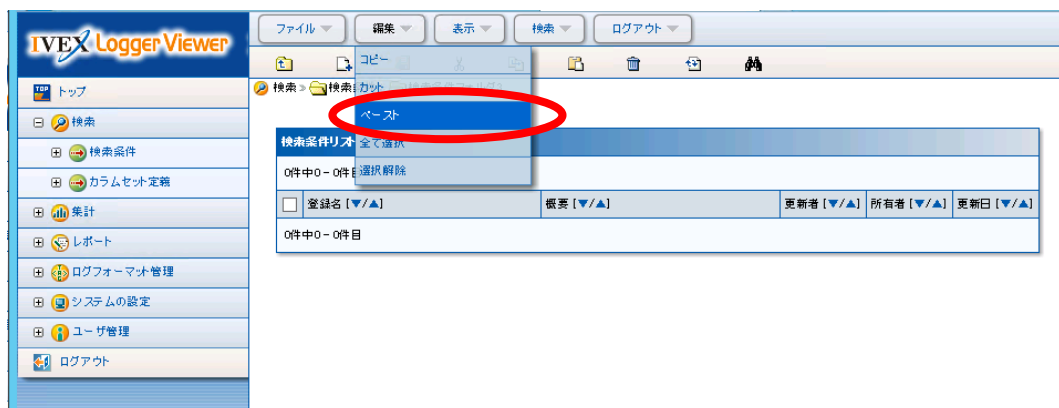
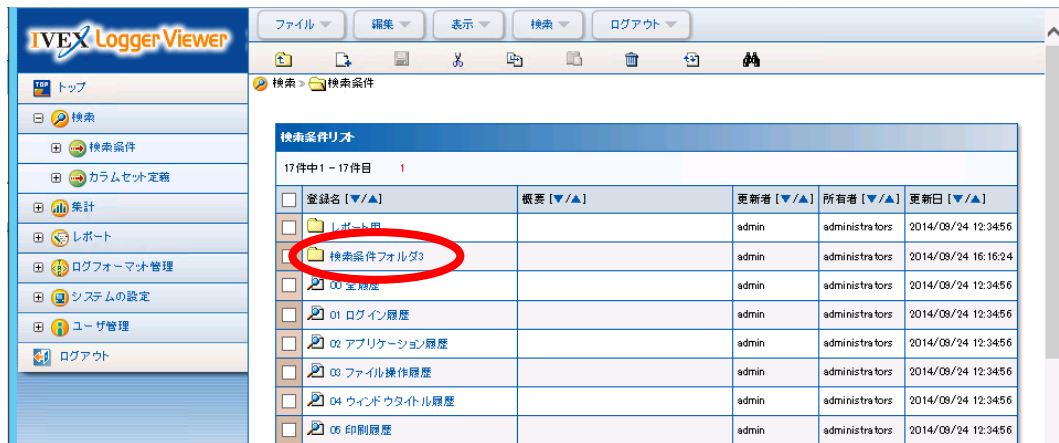
- (2) 検索条件リストからコピーしたい検索条件をチェックし、メニューの「コピー」を選択します。

例として、「07 WEB アクセス履歴」をチェックし、メニューの「コピー」を選択します。

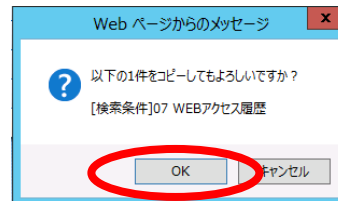


(3) チェックした検索条件を配置したい階層へ移動し、メニューの「ペースト」を選択します。

例として、フォルダ「検索条件フォルダ 3」を選択し、「検索条件フォルダ 3」内でメニューの「ペースト」を選択します。



(4) コピーの確認画面が表示されますので、「OK」を選択します。



(5) コピー完了の確認画面が表示されますので、「OK」を選択します。



(6) チェックした検索条件が意図した階層に配置されているか確認します。



コピーされた検索条件は「Copy07 WEB アクセス履歴」という名前で保存されます。

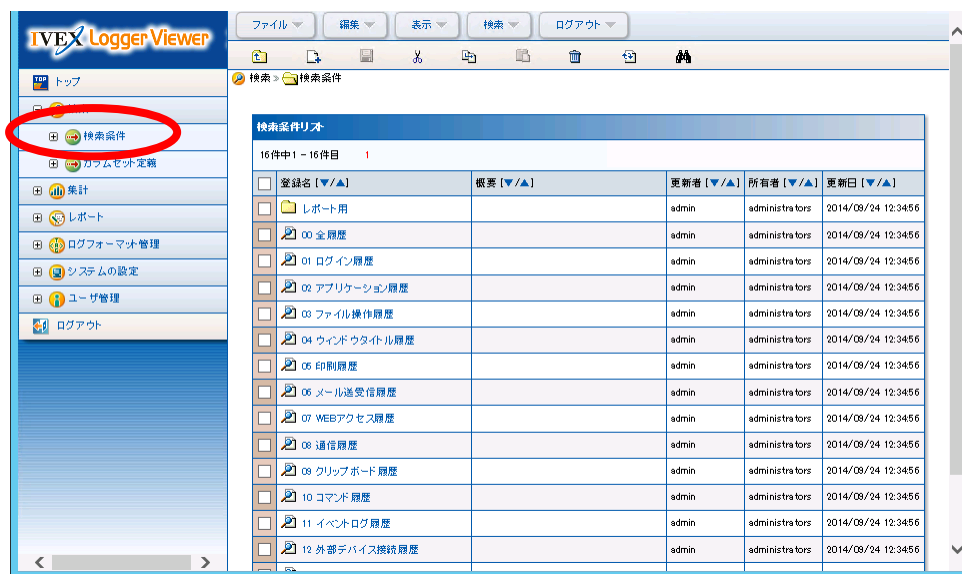
以上がコピー(コピーとペースト)の操作例です。

3.3. 移動(カットとペースト)の操作例

操作画面にリスト表示される項目(検索条件、集計条件、レポート作成条件、ログフォーマット定義、タグ定義、ログソース等)は、同じリスト内の任意の階層に移動することができます。

ここでは移動の操作例として、特定の検索条件を既に作成されているフォルダ内に移動する操作例を説明します。

- (1) フォルダリストの「検索」→「検索条件」を選択し、「検索条件リスト画面」を表示します。



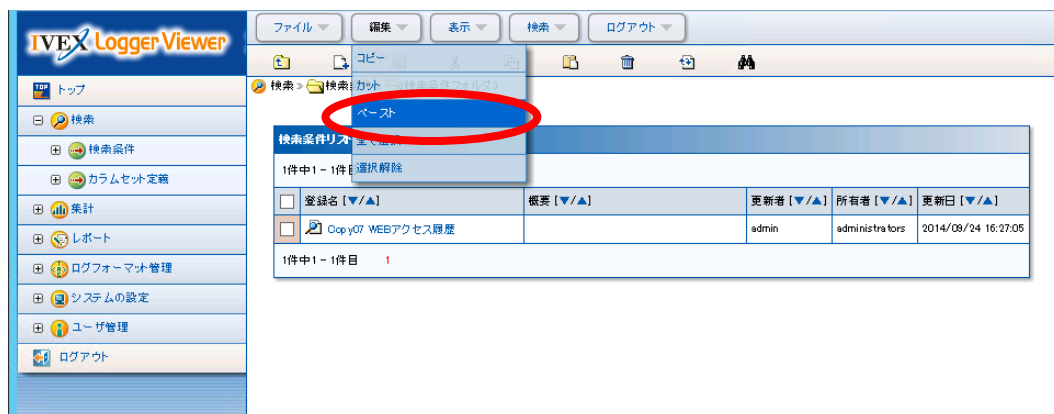
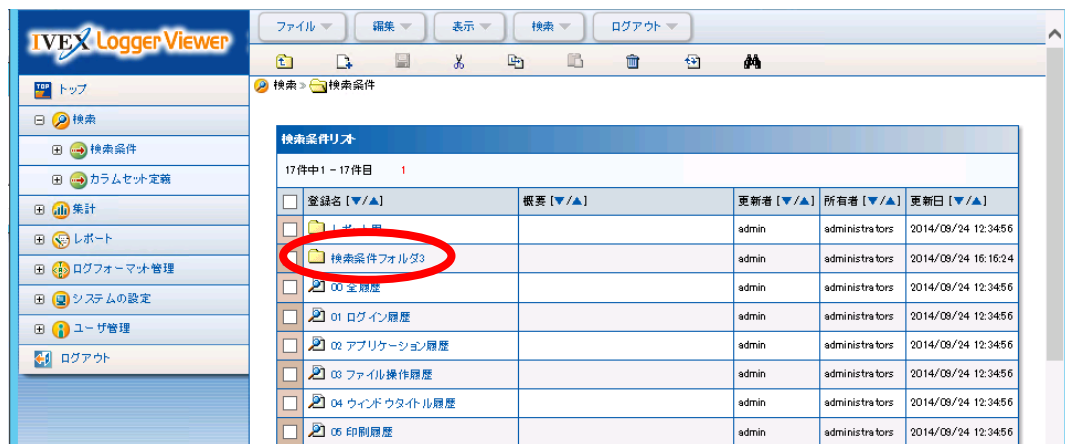
(2) 検索条件リストから移動したい検索条件をチェックし、メニューの「カット」を選択します。

例として、「01 ログイン履歴」をチェックし、メニューの「カット」を選択します。

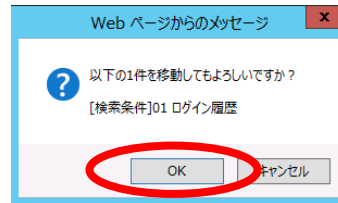


(3) チェックした検索条件を配置したい階層へ移動し、メニューの「ペースト」を選択します。

例として、フォルダ「検索条件フォルダ3」を選択し、「検索条件フォルダ3」内でメニューの「ペースト」を選択します。



(4) 移動の確認画面が表示されますので、「OK」を選択します。



(5) 移動完了の確認画面が表示されます。



(6) チェックした検索条件が意図した階層に配置されているか確認します。



以上が移動(カットとペースト)の操作例です。

3.4. 削除の操作例

操作画面にリスト表示される項目(検索条件、集計条件、レポート作成条件、ログフォーマット定義、タグ定義、ログソース等)及びフォルダは削除することができます。

ただし、レポート作成条件で使用されている検索条件、集計条件は削除することはできません。また、各種条件や定義等が存在しているフォルダは削除することはできません。

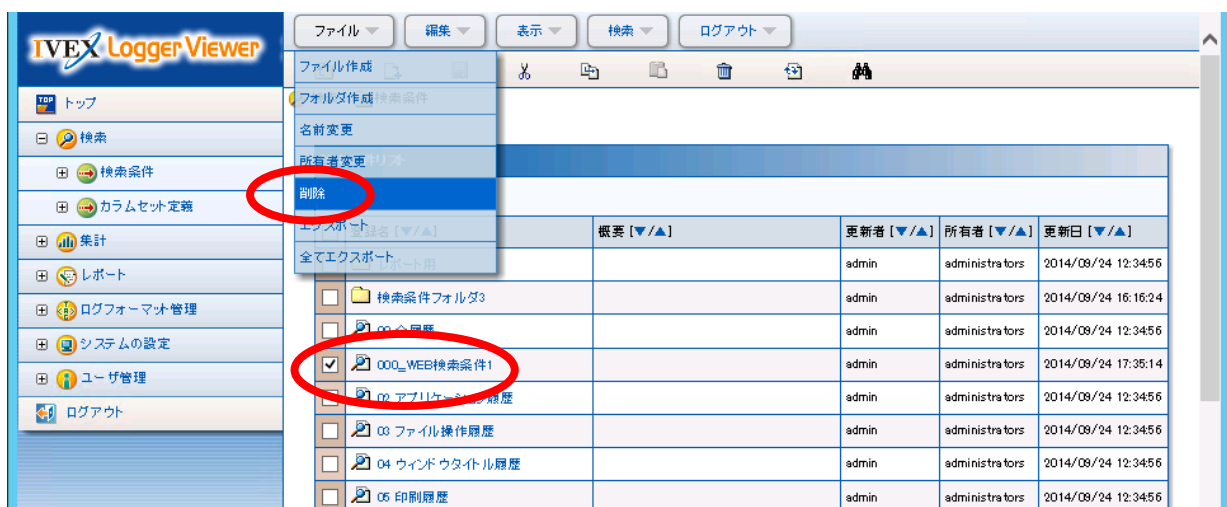
ここでは削除の操作例として、特定の検索条件を削除する操作例を説明します。

- (1) フォルダリストの「検索」→「検索条件」を選択し、「検索条件リスト画面」を表示します。

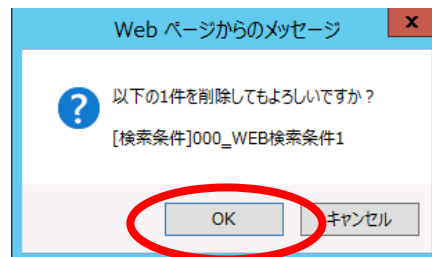


- (2) 検索条件リストから削除したい検索条件をチェックし、メニューの「削除」を選択します。

例として、「000_WEB 検索条件 1」をチェックし、メニューの「削除」を選択します。



(3) 削除の確認画面が表示されますので、「OK」を選択します。



(4) 削除完了の確認画面が表示されますので、「OK」を選択します。



(5) 検索条件リストに削除した検索条件が表示されないことを確認します。



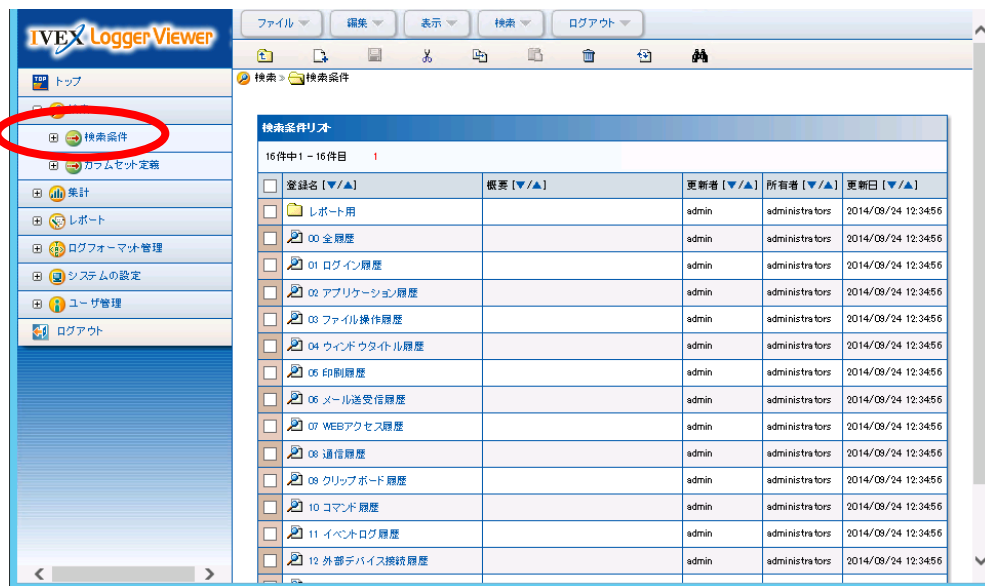
以上が削除の操作例です。

3.5. ファイル検索の操作例

操作画面にリスト表示される項目は、登録名を使って検索することができます。

ここでは検索条件の検索の例として、検索条件リスト内に存在する検索条件並びにフォルダのうち、「検索条件」という文字列を含むものを検索する操作例を記載します。

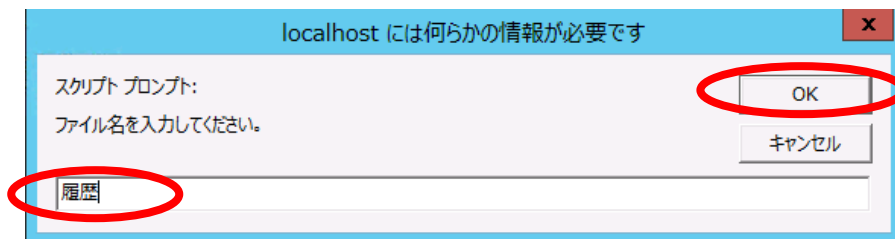
(1) フォルダリストの「検索」→「検索条件」を選択し、「検索条件リスト画面」を表示します。



(2) メニューの「ファイル検索」を選択します。



(3) 画面に検索条件名「履歴」を入力し、「OK」を選択します。



(4) 検索条件リストに該当する検索条件が表示されます。

この例では登録名(検索条件名、フォルダ名)に「履歴」という文字列を含む検索条件及びフォルダを表示します。



以上がファイル検索の操作例です。

4. ログの検索(操作説明)

ログの検索は収集したログを条件の組み合わせで目的のログを表示する機能です。検索条件登録は、レポートを作成する場合や、収集したログを検索する場合に行います。検索条件に関連するログソースとアプリケーションはあらかじめ設定しておく必要があります。

ログの検索の操作説明として以下の操作例を記載しています。

- 検索条件の登録
- 予め作成された検索条件の検索実行
- 複数の検索条件を AND 条件に設定した検索条件の検索実行
- 複数の検索条件を OR 条件に設定した検索条件の検索実行
- 複数の検索条件を AND 条件及び OR 条件に設定した検索条件の検索実行
- 検索結果からトラッキング機能を使用した検索実行
- 正規表現を使用した検索条件の検索実行
- カラムセットの定義
- 検索条件の所有者変更操作
- 検索条件のエクスポート
- 検索条件のインポート
- カラムセット定義のエクスポート
- カラムセット定義のインポート

4.1. 検索条件登録例

以下は検索条件を登録する例です。

- (1) フォルダリストの「検索」→「検索条件」を選択し、「検索条件リスト画面」を表示します。



- (2) メニューの「ファイル作成」を選択して、「検索条件画面」を表示します。



(3) 検索条件を入力します。

この例では、検索条件を以下の内容を入力しています。

LogGate グループ	LogGate1
期間指定	2014 年 9 月 24 日 0 時 0 分 0 秒から 2013 年 9 月 24 日 23 時 59 分 59 秒

検索条件名:

概要:

検索条件 検索結果 カラムセットアサイン

LogGateグループ: demo-loggate ▼

期間指定: 今日 今週 今月 今年
昨日 先週 先月 去年

2014 年 9 月 24 日 0 時 0 分 0 秒 から
2014 年 9 月 24 日 23 時 59 分 59 秒 まで

● — ▼

☐ ログを改行しない ☐ 降順検索

検索 キャンセル

Windows のライセンス認証

(4)「カラムセットアサイン」タブを選択してカラムセットを割り当てます。

検索条件名:

概要:

検索条件 検索結果 **カラムセットアサイン**

☒ 定義済みからアサイン:

☐ 新規作成からアサイン:

現在アサイン済みのカラムセット

カラムセット名:	(システム規定カラムセット)			
概要:				

表示順序	カラム名	種類	型	表示形式
1	タイムスタンプ (システム規定カラム)	システム規定カラム	—	--
2	ログソース (システム規定カラム)	システム規定カラム	—	--
3	ファシリティ (システム規定カラム)	システム規定カラム	—	--
4	プライオリティ (システム規定カラム)	システム規定カラム	—	--
5	アプリケーション (システム規定カラム)	システム規定カラム	—	--
6	アクション (システム規定カラム)	システム規定カラム	—	--
7	ログメッセージ (システム規定カラム)	システム規定カラム	—	--

Windows のライセンス認証

カラムセットのアサイン方法には以下 2 種類あります。

[定義済みからアサイン]

カラムセット定義メニューで登録したカラムセットから選択して割り当てる方法です。

[カラムセットアサイン]タブ押下後の初期表示時は、この方法が規定値で選択されます。

[新規作成からアサイン]ラジオボタン押下により、**disabled** となります。

再度本ラジオボタンが押下されると **enable** になります。

[新規作成からアサイン]

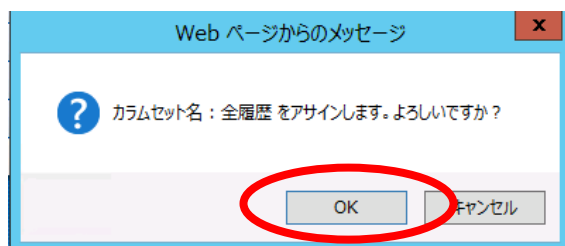
ラジオボタン押下により、[カラムセット定義]メニューのカラムセット新規作成と同様の画面が表示されます。

その場でカラムセットを作成して割当てられる方法です。

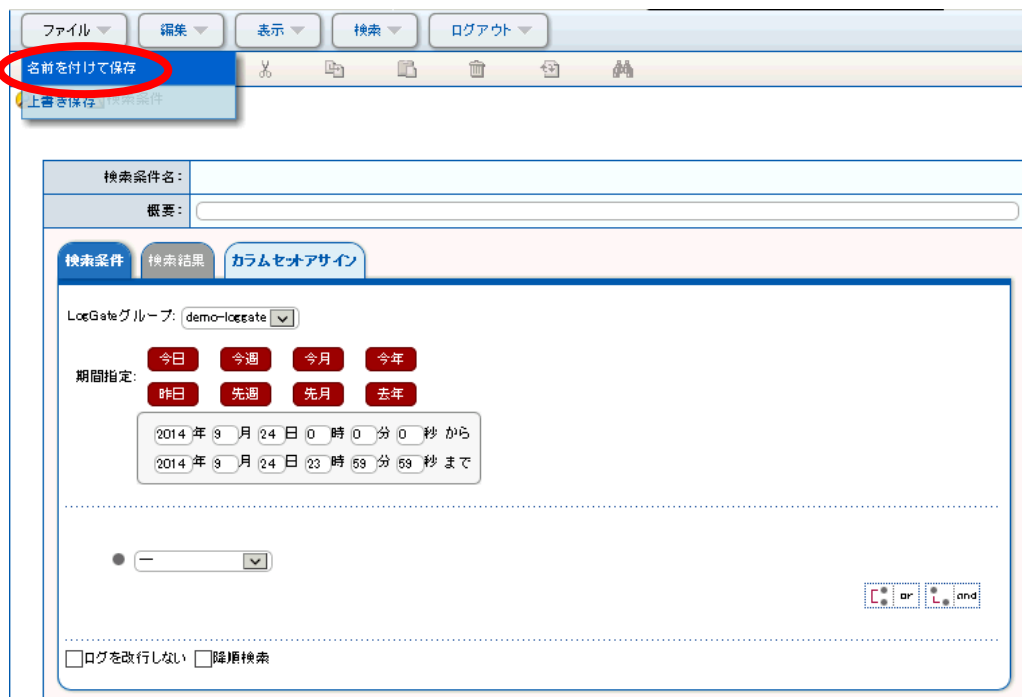
ここで作成したカラムセットは、当該検索条件にのみ割当て／解除が可能です。

(5) カラムセットを割り当て後、「OK」ボタンを押します。

(6) カラムセットをアサインする確認が表示されます。「OK」ボタンを押します。

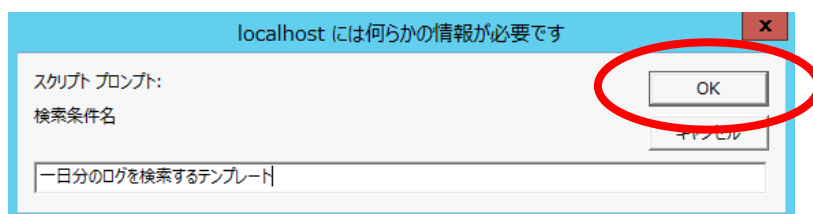


- (7) 「検索条件画面」が表示されるので、メニューの「ファイル」→「名前をつけて保存」を選択します。

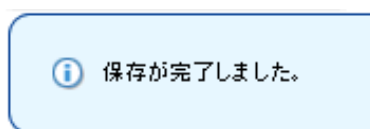


- (8) 検索条件名を入力する画面に検索条件名を入力して「OK」ボタンを押します。

この例では、検索条件名に「1 日分のログを検索するテンプレート」としています。



- (9) 保存完了の確認が表示されます。



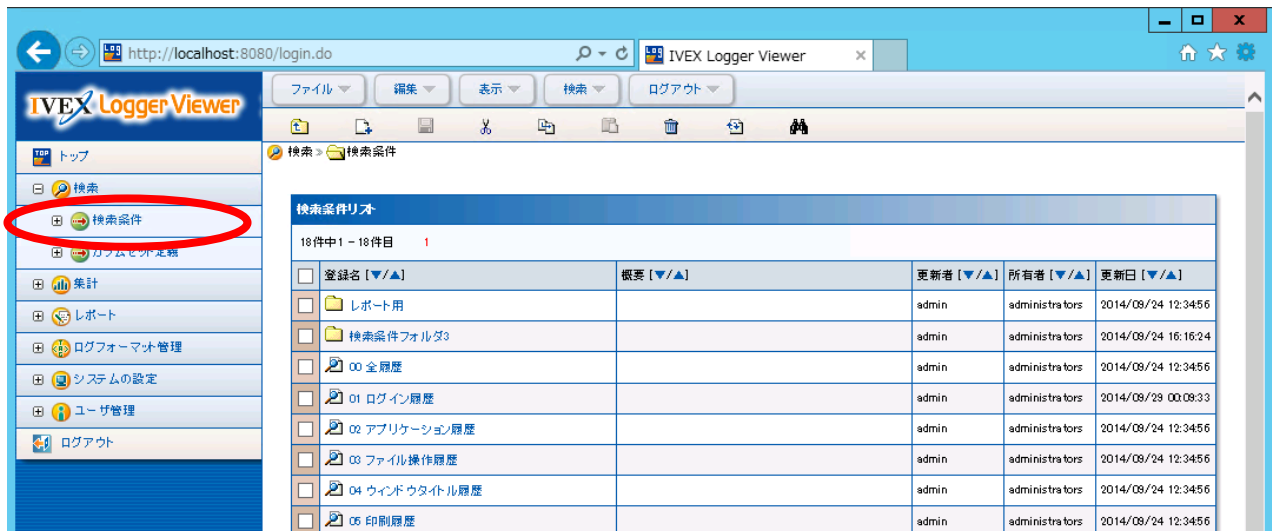
(10) 入力した検索条件名が「名称」に表示されることを確認します。以上が検索条件登録です。

検索条件名:	1日分のログを検索するテンプレート
概要:	<input type="text"/>

4.2. 検索実行例

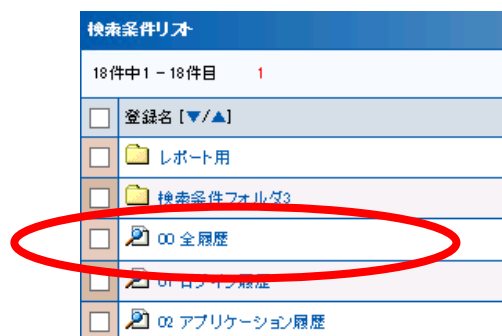
以下の検索実行例では、あらかじめ登録されている検索条件を使用して検索を行います。この例では、1日分のログを検索しています。

- (1) フォルダメニューリストの「検索」→「検索条件」を選択し、「検索条件リスト画面」を表示します。



- (2) 登録した検索条件を選択して、「検索条件画面」を表示します。

この例では、検索条件「00 全履歴」を選択します。



(3) 内容を確認して、「検索」ボタンを押します。

検索条件名: 00 全履歴

概要:

検索条件 検索結果 カラムセットアサイン

LogGateグループ: demo-logger

期間指定: 今日 今週 今月 今年 昨日 先週 先月 去年

2014 年 9 月 24 日 0 時 0 分 0 秒 から
2014 年 9 月 24 日 23 時 59 分 59 秒 まで

アプリケーション: IVEX Logger
アクション: 全て

アプリケーション: IVEX Logger
アクション: イベントログ
メッセージパラメータ: 全て

☒ ログを改行しない ☐ 詳細検索

検索 キャンセル

(4) 検索結果が表示されることを確認します。

検索条件名: 00 全履歴	概要:
検索条件 検索結果 カラムセットアサイン	
1 - 100件目表示(266件)	1 2 3 NEXT ▶
タイムスタンプ	イベント 成否 アラート 部署名 氏名 ログインユーザ コンピュータ名
2014-09-24 18:06:37	ログイン test2 tester_u DEMO#omezawa LOGGERV5AGENT
2014-09-24 18:06:37	アプリケーション起動 test2 tester_u DEMO#omezawa LOGGERV5AGENT
2014-09-24 18:06:37	ウィンドウタイトル test2 tester_u DEMO#omezawa LOGGERV5AGENT
2014-09-24 18:06:38	アプリケーション起動 test2 tester_u DEMO#omezawa LOGGERV5AGENT

録画オプションをご利用の場合、録画と連携されたログについては、ログの左端に再生ボタン(🔍)が表示されます。再生ボタンをクリックすると、その時間からの操作動画が再生できます。

検索の対象となるログが無いときは、以下のような結果が表示されます。

検索条件 検索結果 カラムセットアサイン
見つかりませんでした。
タイムスタンプ イベント 成否 アラート 部署名 氏名 ログインユーザ
見つかりませんでした。

4.3. AND を使用した検索実行例

以下の例は AND 条件を使用した検索実行例です。検索条件に以下の内容を設定します。

検索条件タブ

期間指定	2014 年 9 月 24 日 0 時 0 分 0 秒から 2014 年 9 月 24 日 23 時 59 分 59 秒
アプリケーション	IVEX Logger
アクション	ログイン
メッセージパラメータ 1	コンピューター名
メッセージパラメータ 2	LOGGERV5AGENT
タグ 1	ログインユーザー
タグ 2	DEMO¥umezawa

(1) 条件からアプリケーションを選択します。

検索条件名:

概要:

検索条件 | 検索結果 | カラムセオアサイン

LogGateグループ: demo-loggate

期間指定: 今日 今週 今月 今年
昨日 先週 先月 去年

2014 年 9 月 24 日 0 時 0 分 0 秒 から
2014 年 9 月 24 日 23 時 59 分 59 秒 まで

アプリケーション
ログを改
PID

- (2) アプリケーションから「IVEX Logger」を選択して、アクションから「ログイン」を選択します。

- (3) メッセージパラメータから「コンピュータ名」を選択して、「LOGGERSV5AGENT」を入力します。

- (4) 右側のメニューから AND を選択し、条件項目が追加されます。

- (5) 検索条件からタグを選択し、タグから「ログインユーザー」を選択して、「PC-WIN7X64¥admin」を入力します。

(6) 全体の検索条件を確認して「検索」ボタンを選択します。

検索条件 検索結果 カラムセットアサイン

LogGateグループ: demo-logger

期間指定: 今日 今週 今月 今年
昨日 先週 先月 去年

2014 年 9 月 24 日 0 時 0 分 0 秒 から
2014 年 9 月 24 日 23 時 59 分 59 秒 まで

アプリケーション: AND OR DELETE
アプリケーション: IVEX Logger
アクション: ログイン
メッセージパラメータ: コンピュータ名 文字列 LOGGERSVAGENT 完全一致

タグ: AND OR DELETE
タグ: ログインユーザ 文字列 DEMO#umezawa 完全一致

☐ ログを改行しない ☐ 降順検索

検索 キャンセル

(7) 検索結果が表示され、条件にあったログを確認します。

検索条件 検索結果 カラムセットアサイン

1 - 3件目表示(3件) 1

タイムスタンプ	イベント	アラート	部署名	氏名	ログインユーザ	使用時間	コンピュータ名
2014-09-24 18:06:37	ログイン		test2	tester_u	DEMO#umezawa		LOGGERSVAGENT
2014-09-24 18:12:34	ログイン		test2	tester_u	DEMO#umezawa		LOGGERSVAGENT
2014-09-24 18:13:35	ログイン		test2	tester_u	DEMO#umezawa		LOGGERSVAGENT

1 - 3件目表示(3件) 1

録画オプションをご利用の場合、録画と連携されたログについては、ログの左端に再生ボタン(🔍)が表示されます。再生ボタンをクリックすると、その時間からの操作動画が再生できます。

以上が AND を使用した検索実行例です。

4.4. OR を使用した検索実行例

以下の例は OR 条件を使用した検索実行例です。検索条件に以下の内容を設定します。

検索条件タブ

期間指定	2013 年 9 月 24 日 0 時 0 分 0 秒から 2013 年 9 月 24 日 23 時 59 分 59 秒
アプリケーション	IVEX Logger
アクション	ログイン
メッセージパラメータ 1	ログインユーザー
メッセージパラメータ 2	LOGGERV5AGENT¥administrator
メッセージパラメータ 3	大小文字区分なし
アプリケーション	IVEX Logger
アクション	ログオフ
メッセージパラメータ 1	ログインユーザー
メッセージパラメータ 2	LOGGERV5AGENT¥administrator
メッセージパラメータ 3	大小文字区分なし

- (1) 条件からアプリケーションを選択します。

- (2) アプリケーションから「IVEX Logger」を選択して、アクションから「ログイン」を選択します。

- (3) メッセージパラメータから「ログインユーザー」を選択して、
「LOGGERV5AGENT¥administrator」を入力し、大小文字区別なしを選択します。

(4) 右側のプルダウンメニューから **OR** を選択します。

アプリケーション: IVEX Logger
アクション: ログイン
メッセージパラメータ: ログインユーザ 文字列 LOGGERSV5 AGENT#Administrator 大小文字区別なし

AND OR DELETE

(5) アプリケーションから「IVEX Logger」を選択して、アクションから「ログオフ」を選択します。

アプリケーション: IVEX Logger
アクション: ログイン
メッセージパラメータ: ログインユーザ 文字列 LOGGERSV5 AGENT#Administrator 大小文字区別なし

AND OR DELETE

(6) メッセージパラメータから「ログインユーザ」を選択して、「PC-WIN7X64¥admin」を入力し、大小文字区別なしを選択します。

アプリケーション: IVEX Logger
アクション: ログオフ
メッセージパラメータ: ログインユーザ 文字列 LOGGERSV5 AGENT#Administrator 大小文字区別なし

AND OR DELETE

(7) 全体の検索条件を確認して「検索」ボタンを選択します。

検索条件 検索結果 カラムセットアサイン

LogGateグループ: demo-logger

期間指定: 今日 今週 今月 今年
昨日 先週 先月 去年

2014 年 9 月 24 日 0 時 0 分 0 秒 から
2014 年 9 月 24 日 23 時 59 分 59 秒 まで

● アプリケーション AND OR DELETE

アプリケーション: IVEX Logger
アクション: ログイン
メッセージパラメータ: ログインユーザ 文字列 LOGGERV5AGENT#Administrator 大小文字区別なし

● アプリケーション AND OR DELETE

アプリケーション: IVEX Logger
アクション: ログオフ
メッセージパラメータ: ログインユーザ 文字列 LOGGERV5AGENT#Administrator 完全一致

☒ ログを改行しない ☐ 降順検索

検索 キャンセル

(8) 検索結果が表示され、条件にあったログを確認します。

タイムスタンプ*	イベント	アラート	部署名	氏名	ログインユーザ	使用時間	コンピュータ名
2014-09-24 14:22:16	ログイン				LOGGERV5AGENT#Administrator		LOGGERV5AGENT
2014-09-24 14:23:14	ログオフ				LOGGERV5AGENT#Administrator	00:00:58.084	LOGGERV5AGENT
2014-09-24 14:24:17	ログイン				LOGGERV5AGENT#Administrator		LOGGERV5AGENT
2014-09-24 14:28:16	ログオフ				LOGGERV5AGENT#Administrator	00:03:58.316	LOGGERV5AGENT
2014-09-24 14:30:44	ログイン				LOGGERV5AGENT#Administrator		LOGGERV5AGENT

録画オプションをご利用の場合、録画と連携されたログについては、ログの左端に再生ボタン(🔍)が表示されます。再生ボタンをクリックすると、その時間からの操作動画が再生できます。

以上が OR を使用した検索実行例です。

4.5. トラッキング検索実行例

以下の例はトラッキング検索実行例です。ここでは、対象期間の全てのログを検索して、特定ファイルへのアクセスログをトラッキング検索しています。

(1) 検索結果を確認します。

検索条件	検索結果	ホームセレクトアサイン					
1 ~ 60件表示(60件)							
タイムスタンプ	イベント	ログインユーザー	コンピュータ名	IPアドレス	NASアドレス	実行プログラム	ファイルパス
2013-08-19 16:37:52	ウィンドウタイトル	PC-WP2544admin	PC-WP2544			Program Manager	
2013-08-19 16:37:56	ファイル書き込み	PC-WP2544admin	PC-WP2544			Program Manager	C:\Users\Admin\Desktop\録画情報.xlsx
2013-08-19 16:37:56	ファイル参照	PC-WP2544admin	PC-WP2544			Program Manager	C:\Users\Admin\Desktop\録画情報.xlsx
2013-08-19 16:37:56	ファイル書き込み	PC-WP2544admin	PC-WP2544			Program Manager	C:\Users\Admin
2013-08-19 16:37:56	ファイル参照	PC-WP2544admin	PC-WP2544			Program Manager	C:\Device\HarddiskVolume2\Users\Admin\Desktop
2013-08-19 16:37:56	ファイル参照	PC-WP2544admin	PC-WP2544			Program Manager	C:\Users\Admin\Desktop\録画情報.xlsx
2013-08-19 16:37:56	ファイル参照	PC-WP2544admin	PC-WP2544			Program Manager	C:\Device\HarddiskVolume2\Users\Admin
2013-08-19 16:37:56	ファイル参照	PC-WP2544admin	PC-WP2544			Program Manager	C:\Device\HarddiskVolume2\Users\Admin
2013-08-19 16:37:56	ファイル参照	PC-WP2544admin	PC-WP2544			Program Manager	C:\Users\Admin
2013-08-19 16:37:56	ファイル参照	PC-WP2544admin	PC-WP2544			Program Manager	C:\Device\HarddiskVolume2\Users\Admin
2013-08-19 16:37:56	アプリケーション起動	PC-WP2544admin	PC-WP2544				
2013-08-19 16:37:56	ファイル参照	PC-WP2544admin	PC-WP2544			MHLLogger	C:\Users\Admin\Desktop\録画情報.xlsx
2013-08-19 16:37:56	ウィンドウタイトル	PC-WP2544admin	PC-WP2544			MHLLogger	
2013-08-19 16:37:57	ウィンドウタイトル	PC-WP2544admin	PC-WP2544			Program Manager	
2013-08-19 16:37:58	ファイル参照	PC-WP2544admin	PC-WP2544			Program Manager	C:\Users\Admin\Desktop\録画情報.xlsx
2013-08-19 16:37:59	ファイル参照	PC-WP2544admin	PC-WP2544			Program Manager	C:\Program Files\Microsoft Office\Office14\EXCEL.EXE
2013-08-19 16:37:59	ファイル参照	PC-WP2544admin	PC-WP2544			Program Manager	C:\Program Files\Microsoft Office\Office14\excel.exe
2013-08-19 16:37:59	ファイル参照	PC-WP2544admin	PC-WP2544			Program Manager	C:\SystemRoot\ProgramData\Microsoft\Office\14\Excel.exe
2013-08-19 16:37:59	ファイル参照	PC-WP2544admin	PC-WP2544			Program Manager	C:\Program Files\Microsoft Office\Office14\EXCEL.EXE

録画オプションをご利用の場合、録画と連携されたログについては、ログの左端に再生ボタン(🔍)が表示されます。再生ボタンをクリックすると、その時間からの操作動画が再生できます。

(2) 検索条件から「顧客情報.xls」に絞り込むため、顧客情報.xls をクリックします。

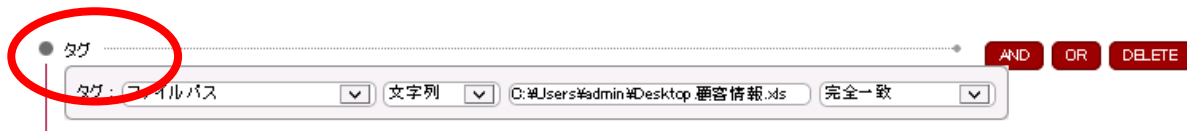
検索条件	検索結果	ホームセッティングサイン					
1 - 99件表示 (99件)							
時刻	イベント	ログインユーザー	コンピュータ名	IPアドレス	MACアドレス	ログインタイトル	ファイルパス
2013-08-19 16:27:12	ログイン成功	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Program Manager	
2013-08-19 16:27:16	ファイル書き込み	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Program Manager	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls
2013-08-19 16:27:16	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Program Manager	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls
2013-08-19 16:27:16	ファイル書き込み	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Program Manager	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls
2013-08-19 16:27:16	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Program Manager	C:\Device\HarddiskVolume2\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls
2013-08-19 16:27:16	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Program Manager	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls
2013-08-19 16:27:16	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Program Manager	C:\Device\HarddiskVolume2\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls
2013-08-19 16:27:16	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Program Manager	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls
2013-08-19 16:27:16	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Program Manager	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls
2013-08-19 16:27:16	アプリケーション起動	PC-W07X54admin	PC-W07X54				
2013-08-19 16:27:16	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			NetLopex	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls
2013-08-19 16:27:16	ログイン成功	PC-W07X54admin	PC-W07X54			NetLopex	
2013-08-19 16:27:17	ログイン成功	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Program Manager	
2013-08-19 16:27:18	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Program Manager	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls
2013-08-19 16:27:18	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Program Manager	C:\Program Files\Microsoft Office\Office14\EXCEL.EXE
2013-08-19 16:27:18	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Program Manager	C:\Program Files\Microsoft Office\Office14\excel.exe
2013-08-19 16:27:19	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Program Manager	C:\SystemRoot\Programs\Programs\Office\Office14\excel.exe
2013-08-19 16:27:19	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Program Manager	C:\Program Files\Microsoft Office\Office14\EXCEL.EXE

(3) 絞り込まれた検索結果を確認します。

検索条件	検索結果	ホームセッティングサイン						
1 - 23件表示 (23件)								
時刻	イベント	ログインユーザー	コンピュータ名	IPアドレス	MACアドレス	ログインタイトル	ファイルパス	ファイルタイプ
2013-08-19 16:27:16	ファイル書き込み	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Program Manager	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:16	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Program Manager	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:16	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Program Manager	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:16	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			MailLotter	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:18	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Program Manager	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			超絶してはまず - Microsoft Excel	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			超絶してはまず - Microsoft Excel	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			超絶してはまず - Microsoft Excel	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			超絶してはまず - Microsoft Excel	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			超絶してはまず - Microsoft Excel	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07X54admin	PC-W07X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xls	C:\Users\Admin\Desktop\顧客情報.xls	HDD
2013-08-19 16:27:20	ファイル参照	PC-W07						

(4) 検索条件タブを選択して、検索条件を確認します。

トラッキングは設定された検索条件に対して AND 条件として追加されます。ここではタグとして条件が追加されています。



以上が、トラッキング検索実行例です。

4.6. 正規表現を使用した検索実行例

以下の例は正規表現を使用した検索実行例です。ここでは、192.168.10.1～192.168.99.255 までの IP アドレスが含まれているログを検索しています。

(1) 検索条件からフリーキーワードを選択します。

検索条件 検索結果 カラムセオアサイン

LogGateグループ: demo-logger

期間指定: 今日 今週 今月 今年 昨日 先週 先月 去年

2014 年 9 月 24 日 0 時 0 分 0 秒 から
2014 年 9 月 24 日 23 時 59 分 59 秒 まで

フリーキーワード
IPアドレス
アプリケーション
タグ
ファシリティ

(2) IP アドレスの正規表現を設定して、正規表現を選択します。

検索条件 検索結果 カラムセオアサイン

LogGateグループ: demo-logger

期間指定: 今日 今週 今月 今年 昨日 先週 先月 去年

2014 年 9 月 24 日 0 時 0 分 0 秒 から
2014 年 9 月 24 日 23 時 59 分 59 秒 まで

フリーキーワード

フリーキーワード: 192.168.10.1~192.168.99.255

正規表現

AND OR DELETE

☐ ログを改行しない ☐ 降順検索

検索 キャンセル

(3) 検索結果が表示され、条件にあったログを確認します。

ログインユーザ	コンピュータ名	IPアドレス	MACアドレス	ウィンドウタイトル
DEMO#umezawa	LOGGERV5AGENT	192.168.140.218	CE D1DC:2A 323B	
LOGGERV5AGENT#Administrator	LOGGERV5AGENT	192.168.140.218	CE D1DC:2A 323B	
LOGGERV5AGENT#Administrator	LOGGERV5AGENT	192.168.140.218	CE D1DC:2A 323B	
LOGGERV5AGENT#Administrator	LOGGERV5AGENT	192.168.140.218	CE D1DC:2A 323B	
LOGGERV5AGENT#Administrator	LOGGERV5AGENT			管理者: コマンド プロンプト
LOGGERV5AGENT#Administrator	LOGGERV5AGENT			管理者: コマンド プロンプト
LOGGERV5AGENT#Administrator	LOGGERV5AGENT	192.168.140.218	CE D1DC:2A 323B	
LOGGERV5AGENT#Administrator	LOGGERV5AGENT	192.168.140.218	CE D1DC:2A 323B	
DEMO#umezawa	LOGGERV5AGENT	192.168.140.218	CE D1DC:2A 323B	
DEMO#umezawa	LOGGERV5AGENT	192.168.140.218	CE D1DC:2A 323B	
DEMO#umezawa	LOGGERV5AGENT	192.168.140.218	CE D1DC:2A 323B	
DEMO#umezawa	LOGGERV5AGENT	192.168.140.218	CE D1DC:2A 323B	
DEMO#umezawa	LOGGERV5AGENT	192.168.140.218	CE D1DC:2A 323B	

録画オプションをご利用の場合は、録画と連携されたログについては、ログの左端に再生ボタン(🔍)が表示されます。再生ボタンをクリックすると、その時間からの操作動画が再生できます。

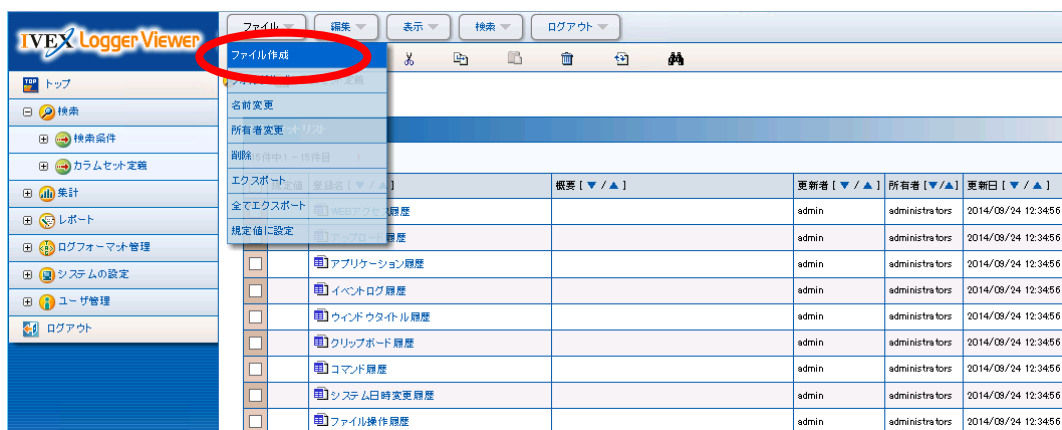
以上が正規表現を使用した検索実行例です。

4.7. カラムセットの定義

- (1) フォルダリストの「検索」→「カラムセット定義」を選択し、「カラムセットリスト画面」を表示します。



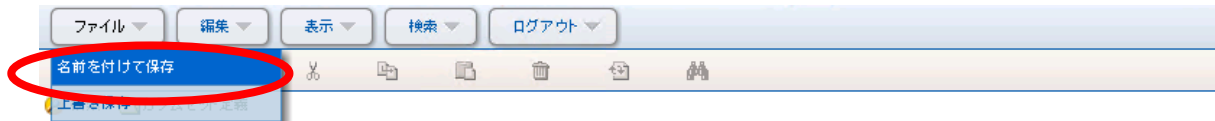
- (2) メニューの「ファイル」→「ファイル作成」を選択します。



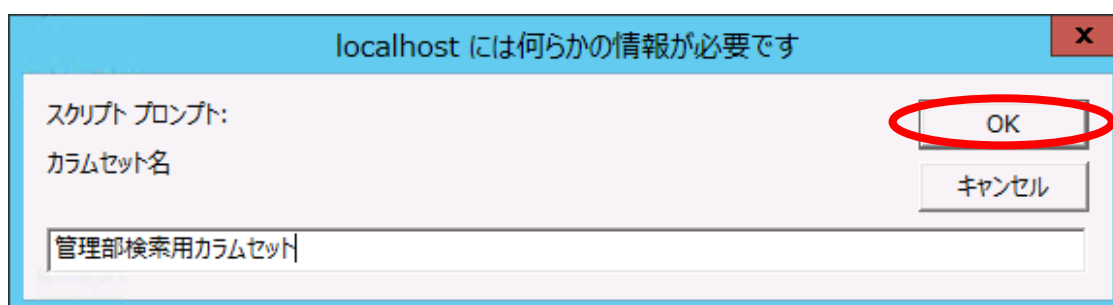
(3) 「カラムセット定義画面」を表示します。アサインするカラムセットを選択します。



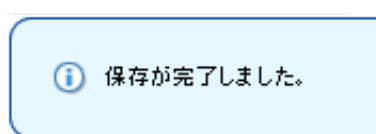
(4) メニューの「ファイル」→「名前をつけて保存」を選択します。



- (5) カラムセット名を入力する画面にカラムセット名を入力して「OK」ボタンを押します。



- (6) 保存完了の確認が表示されます。

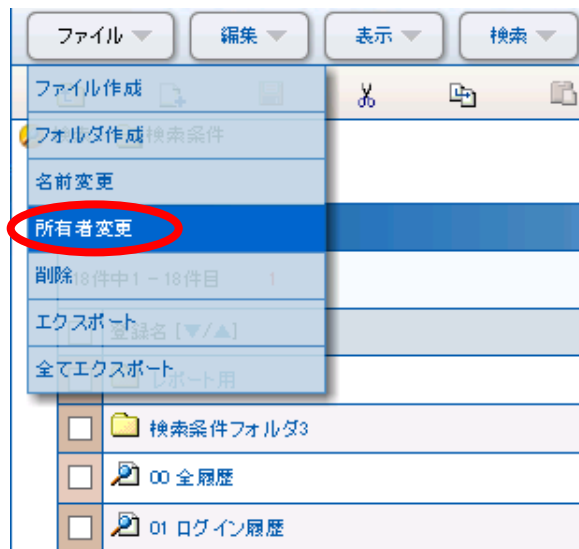


- (7) 入力したカラムセット名が「名称」に表示されることを確認します。以上がカラムセット定義登録です。

カラムセット名:	管理部検索用カラムセット
概要:	

4.8. 条件所有者変更

- (1) メニュー「ファイル」→「所有者変更」を選択後、変更する所有者(グループ)のリストが表示されます。



- (2) 変更したいフォルダ/ファイルにチェックをつけ、変更したい所有者をリストから選択、「変更」ボタンを押します。



(3) 検索条件リストの所有者が変更されます。

ファイル ▼ 編集 ▼ 表示 ▼ 検索 ▼ ログアウト ▼

検索 > 検索条件

変更が完了しました。

所有者: グループ1 ▼ 変更 1 フォルダ内の子要素にも適用する

登録名 [▼/▲]	概要 [▼/▲]	更新者 [▼/▲]	所有者 [▼/▲]	更新日 [▼/▲]
レポート用		admin	administrators	2014/08/24 12:34:56
検索条件フォルダ3		admin	グループ1	2014/08/29 16:48:38
00 全履歴		admin	administrators	2014/08/24 12:34:56
01 ログイン履歴		admin	administrators	2014/08/29 00:08:33
02 アプリケーション履歴		admin	administrators	2014/08/24 12:34:56
03 ファイル操作履歴		admin	administrators	2014/08/24 12:34:56

4.9. 検索結果の CSV 出力例

以下では、検索した結果をCSV出力する手順を説明します。この例では、アプリケーション履歴をCSV出力しています。

- (1) フォルダメニューリストの「検索」→「検索条件」を選択し、「検索条件リスト画面」を表示します。



- (2) 登録した検索条件を選択して、「検索条件画面」を表示します。

この例では、検索条件「02 アプリケーション履歴」を選択します。



(3) 内容を確認して、「検索」ボタンを押します。

検索条件名: 02 アプリケーション履歴

概要:

検索条件 検索結果 カラムセットアサイン

LogGateグループ: demo-logger ▼

期間指定: 今日 今週 今月 今年
昨日 先週 先月 去年

2014 年 1 月 1 日 0 時 0 分 0 秒 から
2014 年 12 月 31 日 23 時 59 分 59 秒 まで

● アプリケーション

アプリケーション: IVEX Logger ▼

アクション: アプリケーション起動 ▼ - ▼

メッセージパラメータ: 全て ▼

AND OR DELETE

● アプリケーション

アプリケーション: IVEX Logger ▼

アクション: アプリケーション終了 ▼ - ▼

メッセージパラメータ: 全て ▼

AND OR DELETE

or and

☒ ログを改行しない ☐ 降順検索

検索 キャンセル

(4) 検索結果が表示されることを確認します。

検索条件名: 02 アプリケーション履歴

概要:

検索条件 検索結果 カラムセオアサイン

1 - 100件目表示(2,000件以上) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | NEXT ▶

タイムスタンプ	イベント	成否	アラート	部署名	氏名	ログインユーザ	コンピュータ名
2014-09-11 11:20:20	アプリケーション起動					DEMO#administrator	LOGGERV5AGENT
2014-09-11 11:20:21	アプリケーション起動					DEMO#administrator	LOGGERV5AGENT
2014-09-11 11:20:21	アプリケーション起動					DEMO#administrator	LOGGERV5AGENT
2014-09-11 11:20:22	アプリケーション起動					DEMO#administrator	LOGGERV5AGENT
2014-09-11 11:20:23	アプリケーション起動					DEMO#administrator	LOGGERV5AGENT
2014-09-11 11:31:36	アプリケーション起動					DEMO#administrator	LOGGERV5AGENT
2014-09-12 15:36:15	アプリケーション終了					DEMO#administrator	LOGGERV5AGENT
2014-09-12 15:36:24	アプリケーション終了					DEMO#administrator	LOGGERV5AGENT
2014-09-12 15:36:57	アプリケーション起動					DEMO#administrator	LOGGERV5AGENT
2014-09-12 15:37:05	アプリケーション終了					DEMO#administrator	LOGGERV5AGENT

1 - 100件目表示(2,000件以上) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | NEXT ▶

検索 キャンセル CSV出力 ログフォーマットの定義

(5) CSV 出力ボタンを押して、ヘッダ有りを押します。

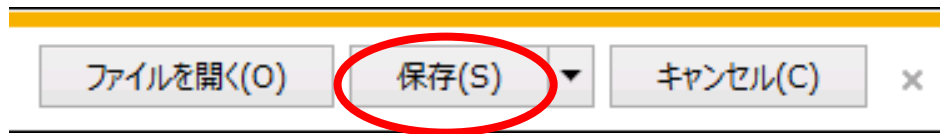
1 - 100件目表示(2,000件以上) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | NEXT ▶

ヘッダ有り
ヘッダ無し

検索 キャンセル CSV出力 ログフォーマットの定義

「ヘッダ有り」は、CSV 出力結果の1行目にタイムスタンプ、イベント、ログインユーザなどの項目名を付加します。「ヘッダ無し」は、出力結果の1行目にこれらの情報を付加せずに、結果のみを CSV 出力します。

(6) 保存ボタンを押して、ファイルをダウンロードします。



(7) CSV 出力結果を確認します。

A1		タイムスタンプ										
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	タイムスタンプ	イベント	成否	アラート	部署名	氏名	ログインユー・コンピュー・アプリケーション・使用時間	セッション	セッションID			
2	2014/9/11 11:20	アプリケーション起動					DEMO¥adn LOGGERVERC:¥Program Files (x86 RDP-T cp#)				2	
3	2014/9/11 11:20	アプリケーション起動					DEMO¥adn LOGGERVERC:¥Windows¥Explorer.f RDP-T cp#				2	
4	2014/9/11 11:20	アプリケーション起動					DEMO¥adn LOGGERVERC:¥Program Files (x86 RDP-T cp#)				2	
5	2014/9/11 11:20	アプリケーション起動					DEMO¥adn LOGGERVERC:¥Windows¥system32 RDP-T cp#				2	
6	2014/9/11 11:20	アプリケーション起動					DEMO¥adn LOGGERVERC:¥Windows¥system32 RDP-T cp#				2	
7	2014/9/11 11:31	アプリケーション起動					DEMO¥adn LOGGERVERC:¥Windows¥system32 RDP-T cp#				2	
8	2014/9/11 11:31	アプリケーション終了					DEMO¥adn LOGGERVERC:¥Window: 00:00.2 RDP-T cp#				2	
9	2014/9/11 11:32	アプリケーション起動					DEMO¥adn LOGGERVERC:¥Windows¥SysWOW RDP-T cp#				2	
10	2014/9/11 11:32	アプリケーション終了					DEMO¥adn LOGGERVERC:¥Window: 00:18.1 RDP-T cp#				2	
11	2014/9/11 11:33	アプリケーション起動					DEMO¥adn LOGGERVERC:¥Windows¥system32 RDP-T cp#				2	
12	2014/9/11 11:33	アプリケーション終了					DEMO¥adn LOGGERVERC:¥Window: 00:00.1 RDP-T cp#				2	
13	2014/9/11 11:35	アプリケーション起動					DEMO¥adn LOGGERVERC:¥Program Files¥Inte RDP-T cp#				2	

CSV 出力結果は、現在表示されている画面の結果件数分のみが出力されます。必要に応じて次のページにあるログはページを移動して CSV 出力を行うか、1 画面の表示件数を変更して(最大 1000 件)から CSV 出力を行ってください。

※すべての検索結果を CSV 出力したい場合は、検索条件をテンプレートとして、レポート出力を利用することですべての結果を CSV 出力することができます。

4.10. 検索条件のエクスポート

エクスポートは IVEX Logger Viewer 内に作成された検索条件を設定ファイルとして出力します。作成した検索条件を他の IVEX Logger Viewer で使用する場合には行ないます。設定ファイルは検索条件のインポートで取り込むことができます。

以下に一般ユーザによる検索条件をエクスポートする手順を記載します。一般ユーザの検索条件のエクスポートは予め操作権限を与えられている必要があります。設定ファイルは XML ファイル形式でエクスポートします。

- (1) 一般ユーザでログインし、フォルダリストの「検索」を選択し、「検索条件」を選択します。
- (2) 検索条件リストからエクスポートしたい検索条件の左チェックボックスをチェックします。
- (3) メニューの「ファイル」→「エクスポート」を選択します。(全てエクスポートを選択すると **IVEX Logger Viewer** 内の全ての検索条件をエクスポートします。)
- (4) ファイルのダウンロード画面の「保存」ボタンを選択します。

設定ファイルはファイル名「export.xml」(XML 形式)で出力されます。

以上が一般ユーザで検索条件をエクスポートする手順です。

4.11. 検索条件のインポート

インポートは予め作成を行った検索条件を取り込む際に使用する機能です。インポートを行う前には、検索条件のファイルを用意しておく必要があります。

以下に一般ユーザによる検索条件をインポートする手順を記載します。一般ユーザの検索条件のインポートは予め操作権限を与えられている必要があります。

設定ファイルは XML ファイル形式でインポートします。

- (1) 一般ユーザでログインし、フォルダリストの「検索」を選択し、「インポート」を選択します。
- (2) インポートタブの「参照」ボタンを選択して、インポートする検索条件のファイルを選択します。
(又は XML ファイル名にインポートするログフォーマット定義のファイルを選択します。)
- (3) 「アップロード」ボタンを選択します。
- (4) アップロードされた検索条件が画面に表示されるので、取り込む検索条件の左チェックボックスをチェックし、取り込まない検索条件はチェックをはずします。

「データの整合性に問題が見つかりました。処置状況に従い解決方法を選択してください。」というダイアログボックスが表示された場合は、エラーメッセージを見て重複する箇所に対して「マージ」「上書き」「変更」のいずれかを行ってください。
- (5) 「インポート項目確認へ」ボタンを選択します。
- (6) 内容を確認し、「インポート」ボタンを選択します。
- (7) 「インポートが完了しました。」ダイアログボックスを確認して「OK」ボタンを選択します。

以上が一般ユーザによる検索条件をインポートする手順です。

4.12. カラムセット定義のエクスポート

エクスポートは IVEX Logger Viewer 内に作成されたカラムセット定義を設定ファイルとして出力します。作成したカラムセット定義を他の IVEX Logger Viewer で使用する場合には行ないます。設定ファイルはカラムセット定義のインポートで取り込むことができます。

以下に一般ユーザによるカラムセット定義のエクスポートする手順を記載します。一般ユーザのカラムセット定義のエクスポートは予め操作権限を与えられている必要があります。設定ファイルは XML ファイル形式でエクスポートします。

- (1) 一般ユーザでログインし、フォルダリストの「検索」を選択し、「カラムセット定義」を選択します。
- (2) カラムセット定義リストからエクスポートしたいカラムセット定義の左チェックボックスをチェックします。
- (3) メニューの「ファイル」→「エクスポート」を選択します。(全てエクスポートを選択すると **IVEX Logger Viewer** 内の全てのカラムセット定義をエクスポートします。)
- (4) ファイルのダウンロード画面の「保存」ボタンを選択します。

設定ファイルはファイル名「export.xml」(XML 形式)で出力されます。

以上が一般ユーザでカラムセット定義をエクスポートする手順です。

4.13. カラムセット定義のインポート

インポートは予め作成を行ったカラムセット定義を取り込む際に使用する機能です。インポートを行う前には、カラムセット定義のファイルを用意しておく必要があります。

以下に一般ユーザによるカラムセット定義をインポートする手順を記載します。一般ユーザのカラムセット定義のインポートは予め操作権限を与えられている必要があります。

設定ファイルは XML ファイル形式でインポートします。

- (1) 一般ユーザでログインし、フォルダリストの「検索」を選択し、「インポート」を選択します。
- (2) インポートタブの「参照」ボタンを選択して、インポートするカラムセット定義のファイルを選択します。(又は **XML** ファイル名にインポートするログフォーマット定義のファイルを選択します。)
- (3) 「アップロード」ボタンを選択します。
- (4) アップロードされたカラムセット定義が画面に表示されるので、取り込むカラムセット定義の左チェックボックスをチェックし、取り込まないカラムセット定義はチェックをはずします。

「データの整合性に問題が見つかりました。処置状況に従い解決方法を選択してください。」というダイアログボックスが表示された場合は、エラーメッセージを見て重複する箇所に対して「マージ」「上書き」「変更」のいずれかを行ってください。
- (5) 「インポート項目確認へ」ボタンを選択します。
- (6) 内容を確認し、「インポート」ボタンを選択します。
- (7) 「インポートが完了しました。」ダイアログボックスを確認して「OK」ボタンを選択します。

以上が一般ユーザによるカラムセット定義をインポートする手順です。

5. ログの集計(操作説明)

ログの集計は指定した期間内のログを集計して、表やグラフで表示する機能です。集計条件登録は、レポートを作成する場合や、収集したログを集計する場合に行います。集計条件に関連するログソースとアプリケーションはあらかじめ設定しておく必要があります。

ログの集計の操作説明として以下の操作例を記載しています。

- 集計条件の登録
- 予め登録された集計条件の実行(表出力)
- 集計条件の所有者変更操作
- 集計条件のエクスポート
- 集計条件のインポート

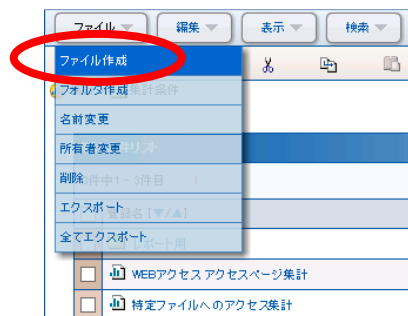
5.1. 集計条件登録例

以下は集計条件を登録する例です。

- (1) フォルダリストの「集計」→「集計条件」を選択し、「集計条件リスト画面」を表示します。



- (2) メニューの「ファイル作成」を選択して、「集計条件画面」を表示します。



集計条件名:

概要:

集計対象設定 集計条件設定 表出力結果 グラフ設定 グラフ出力結果

LogGateグループ: demo-loggate

検索条件: 新規

期間指定:

今日 今週 今月 今年

昨日 先週 先月 去年

2014 年 9 月 29 日 0 時 0 分 0 秒 から

2014 年 9 月 29 日 23 時 59 分 59 秒 まで

●

表出力 グラフ出力 CSV出力 キャンセル

(3) 集計条件を入力します。この例では、以下の内容を入力しています。

集計対象設定タブ

詳細期間	2014 年 09 月 24 日 0 時 0 分 0 秒から 2014 年 09 月 24 日 01 時 23 分 59 秒
アプリケーション	IVEX Logger
アクション	ウィンドウタイトル
メッセージパラメータ	全て

集計条件設定タブ

行	時間
列 1	アプリケーション
集計間隔	1 時間

集計条件名:

概要:

[集計対象設定](#)
[集計条件設定](#)
[表出力結果](#)
[グラフ設定](#)
[グラフ出力結果](#)

行	時間	アプリケーション
時間	—	アプリケーション

行の設定: 時間
 集計間隔: 1 時間
[詳細設定](#)

列1の設定: アプリケーション
 タイトル:
[詳細設定](#)

「0件」表示レベル: バランス表示 ☐ 総合計を集計
 小数点以下の桁数: 0 ☐ %表示
☐ タグ無し集計: 値無し ☐ 項目別集計

[表出力](#)
[グラフ出力](#)
[CSV出力](#)
[キャンセル](#)

グラフ設定タブ

グラフ種別	折れ線グラフ形式
-------	----------

集計条件名:

概要:

集計対象設定

集計条件設定

表出力結果

グラフ設定

グラフ出力結果

グラフ種別

折れ線グラフ形式

データセット

列1

詳細設定

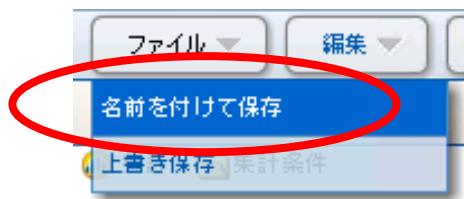
表出力

グラフ出力

CSV出力

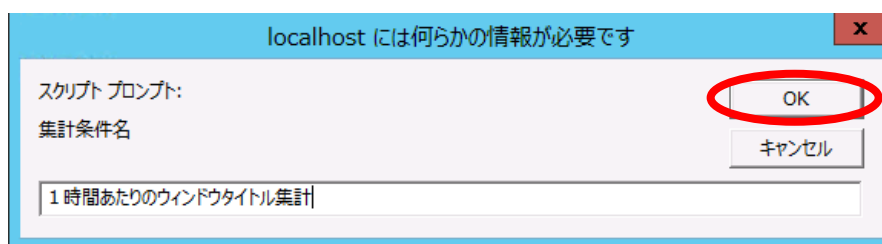
キャンセル

- (4) メニューの「ファイル」を選択して、「名前をつけて保存」を選択します。

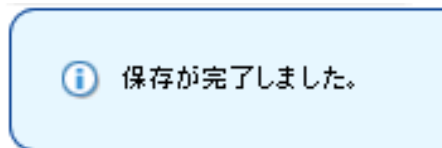


- (5) 集計条件名を入力する画面に集計条件名を入力して「OK」ボタンを押します。

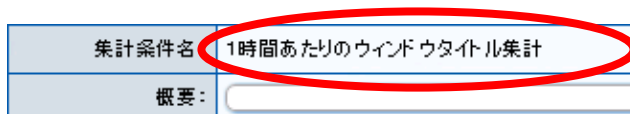
この例では、集計条件名に「1 時間あたりのウィンドウタイトル集計」としています。



- (6) 保存完了の確認が表示されます。「OK」ボタンを押します。



- (7) 入力した検索条件名が「集計条件名」に表示されることを確認します。以上が集計条件登録です。



5.2. 集計実行例

以下の集計実行例では、あらかじめ登録されている集計条件を使用して集計を行います。この例では、1日分のログを集計します。

- (1) フォルダメニューリストの「集計」→「集計条件」を選択し、「集計条件リスト画面」を表示します。



- (2) 登録した集計条件を選択して、「集計条件リスト」画面を表示します。

この例では、集計条件「1 時間あたりのウィンドウ閲覧集計」を選択します。

集計条件リスト				
4件中1 - 4件目 1				
登録名 [▼/▲]	概要 [▼/▲]	更新者 [▼/▲]	所有者 [▼/▲]	更新日 [▼/▲]
レポート用		admin	administrators	2010/02/18 16:31:00
1時間あたりのウィンドウ閲覧集計		admin	administrators	2010/02/24 16:38:54
WEBアクセス アクセスページ集計		admin	administrators	2010/02/18 16:31:00
特定ファイルへのアクセス集計		admin	administrators	2010/02/18 16:31:00
4件中1 - 4件目 1				

- (3) 内容を確認して、「表出力」ボタンを押します。表出力結果タブに表集計の結果が表示されることを確認します。

集計条件名: 1時間あたりのウインドウタイトル集計

概要:

集計対象設定 集計条件設定 表出力結果 グラフ設定 グラフ出力結果

LogGateグループ: demo-loggate

検索条件: 新規

期間指定:

今日 今週 今月 今年
昨日 先週 先月 去年

2014 年 9 月 24 日 0 時 0 分 0 秒 から
2014 年 9 月 24 日 23 時 59 分 59 秒 まで

● アプリケーション

アプリケーション: IVEX Logger
アクション: ウインドウタイトル
メッセージパラメータ: 全て

AND OR DELETE

or and

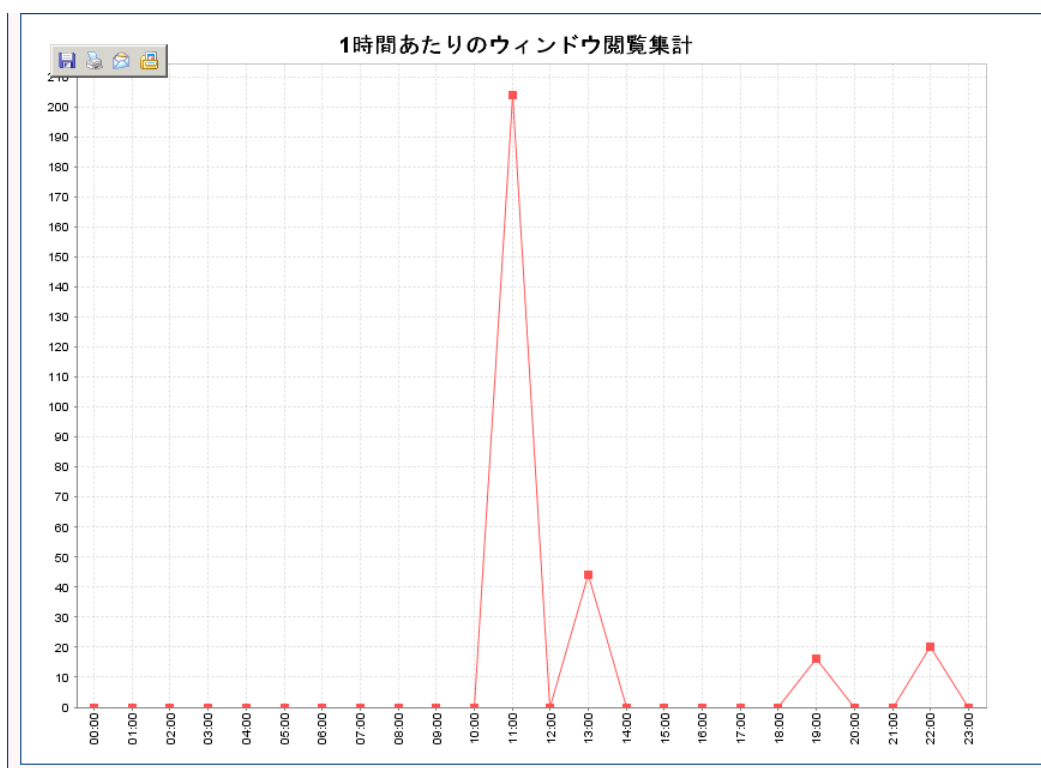
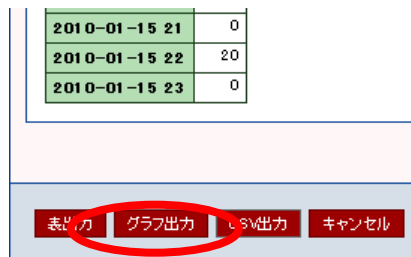
表出力 グラフ出力 CSV出力 キャンセル

集計対象設定 集計条件設定 表出力結果 グラフ設定 グラフ出力結果

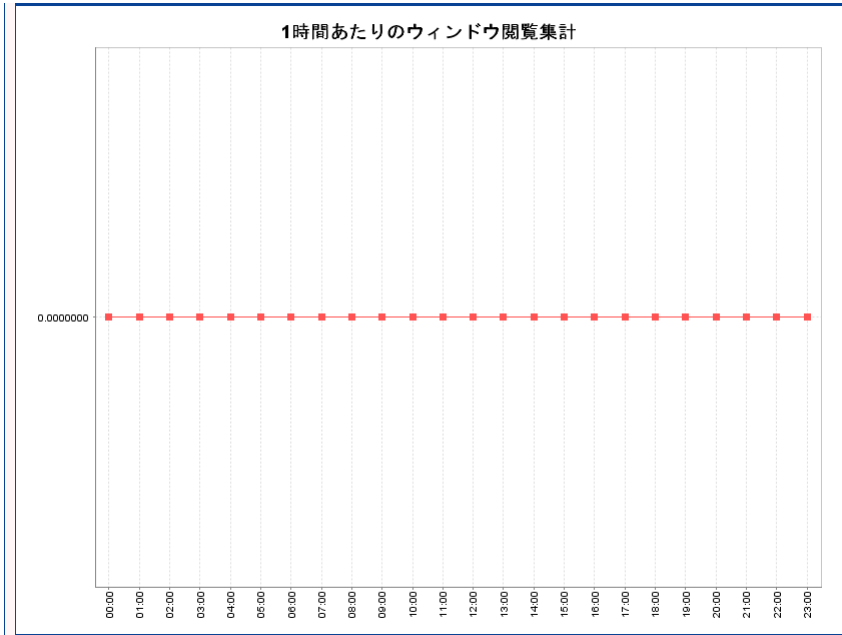
	件数
2014-09-24 00	0
2014-09-24 01	0
2014-09-24 02	0
2014-09-24 03	0
2014-09-24 04	0
2014-09-24 05	0
2014-09-24 06	0
2014-09-24 07	0
2014-09-24 08	0
2014-09-24 09	0
2014-09-24 10	0
2014-09-24 11	0
2014-09-24 12	0
2014-09-24 13	0
2014-09-24 14	24
2014-09-24 15	0
2014-09-24 16	0
2014-09-24 17	0
2014-09-24 18	43
2014-09-24 19	0
2014-09-24 20	0
2014-09-24 21	0
2014-09-24 22	0
2014-09-24 23	0

表出力 グラフ出力 CSV出力 キャンセル

- (4) 表出力結果タブの一番下のページに移動して、「グラフ出力」ボタンを押します。グラフ出力結果タブにグラフ集計の結果が表示されることを確認します。



集計の対象となるログが無いときは、以下のような結果が表示されます。



5.3. 集計条件のエクスポート

エクスポートは IVEX Logger Viewer 内に作成された集計条件を設定ファイルとして出力します。作成した集計条件を他の IVEX Logger Viewer で使用する場合には行ないます。設定ファイルは集計条件のインポートで取り込むことができます。

以下に一般ユーザによる集計条件をエクスポートする手順を記載します。一般ユーザの集計条件のエクスポートは予め操作権限を与えられている必要があります。設定ファイルは XML ファイル形式でエクスポートします。

- (1) 一般ユーザでログインし、フォルダリストの「集計」を選択し、「集計条件」を選択します。
- (2) 集計条件リストからエクスポートしたい集計条件の左チェックボックスをチェックします。
- (3) メニューの「ファイル」→「エクスポート」を選択します。(全てエクスポートを選択すると **IVEX Logger Viewer** 内の全ての集計条件をエクスポートします。)
- (4) ファイルのダウンロード画面の「保存」ボタンを選択します。

設定ファイルはファイル名「export.xml」(XML 形式)で出力されます。

以上が一般ユーザで集計条件をエクスポートする手順です。

5.4. 集計条件のインポート

インポートは予め作成を行った集計条件を取り込む際に使用する機能です。インポートを行う前には、集計条件のファイルを用意しておく必要があります。

以下に一般ユーザによる集計条件をインポートする手順を記載します。一般ユーザの集計条件のインポートは予め操作権限を与えられている必要があります。

設定ファイルは XML ファイル形式でインポートします。

- (1) 一般ユーザでログインし、フォルダリストの「集計」を選択し、「インポート」を選択します。
- (2) インポートタブの「参照」ボタンを選択して、インポートする集計条件のファイルを選択します。
(又は XML ファイル名にインポートするログフォーマット定義のファイルを選択します。)
- (3) 「アップロード」ボタンを選択します。
- (4) アップロードされた集計条件が画面に表示されるので、取り込む集計条件の左チェックボックスをチェックし、取り込まない集計条件はチェックをはずします。

「データの整合性に問題が見つかりました。処置状況に従い解決方法を選択してください。」というダイアログボックスが表示された場合は、エラーメッセージを見て重複する箇所に対して「マージ」「上書き」「変更」のいずれかを行ってください。
- (5) 「インポート項目確認へ」ボタンを選択します。
- (6) 内容を確認し、「インポート」ボタンを選択します。
- (7) 「インポートが完了しました。」ダイアログボックスを確認して「OK」ボタンを選択します。

以上が一般ユーザによる集計条件をインポートする手順です。

6. レポート作成 (操作説明)

レポートは検索・集計を PDF や HTML 形式のレポートとして作成する機能です。レポート作成条件登録は検索条件、集計条件から特定の形式にレポートを作成する際に行います。レポートで使用する検索条件や集計条件は、あらかじめ登録(保存)しておく必要があります。

レポート作成の操作説明として以下の操作例を記載しています。

- レポート作成条件の登録
- レポートの作成
- レポートの作成履歴の確認
- レポート作成条件の所有者変更操作
- カスタムレポートの所有者変更操作
- 外部レポートエンジンの登録
- レポート作成条件のエクスポート
- レポート作成条件のインポート
- カスタムレポート定義のエクスポート
- カスタムレポート定義のインポート

6.1. レポート作成条件登録例

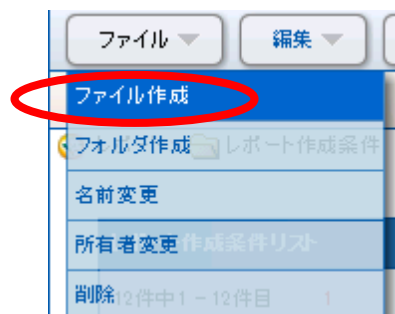
以下はレポート作成条件を登録する例です。

- (1) フォルダリストの「レポート」→「レポート作成条件」を選択し、「レポート作成条件リスト画面」を表示します。

The screenshot shows the IVEX Logger Viewer application. In the left sidebar, the 'レポート作成条件' (Report Creation Conditions) menu item is highlighted with a red circle. The main area displays the 'レポート作成条件リスト' (Report Creation Conditions List) table, which contains 12 items. The table has columns for '有効' (Valid), '登録名' (Registered Name), '概要' (Summary), '更新者' (Updater), '所有者' (Owner), and '更新日' (Update Date).

有効	登録名	概要	更新者	所有者	更新日
<input type="checkbox"/>	URL別Webアクセスレポート	URL別のWebアクセス回数集計	admin	administrators	2014/08/24 12:34:56
<input type="checkbox"/>	アプリケーション別起動回数レポート	アプリケーション別の起動回数集計	admin	administrators	2014/08/24 12:34:56
<input type="checkbox"/>	ウィンドウタイトル別アクセスレポート	トップ20	admin	administrators	2014/08/24 12:34:56
<input type="checkbox"/>	ファイル別アクセスレポート	トップ20	admin	administrators	2014/08/24 12:34:56
<input type="checkbox"/>	プリンタ別印刷枚数レポート	プリンタ毎の印刷枚数集計	admin	administrators	2014/08/24 12:34:56
<input type="checkbox"/>	ユーザ別メール受信件数レポート	ユーザ毎のメール受信件数集計	admin	administrators	2014/08/24 12:34:56
<input type="checkbox"/>	ユーザ別メール送信件数レポート	ユーザ毎のメール送信件数集計	admin	administrators	2014/08/24 12:34:56
<input type="checkbox"/>	ユーザ別ログイン件数レポート	ユーザ毎のログイン回数集計	admin	administrators	2014/08/24 12:34:56
<input type="checkbox"/>	リムーバブルメディアへのアクセスレポート	USBメモリ等の利用履歴	admin	administrators	2014/08/24 12:34:56

- (2) メニューの「ファイル作成」を選択して、「レポート作成条件画面」を表示します。



The screenshot shows the 'レポート作成条件' (Report Creation Conditions) form. The '起動タイミング' (Startup Timing) section is highlighted. It includes a dropdown menu for '起動タイミング' (Startup Timing) set to '指定なし' (None). Below this, there are buttons for '今日' (Today), '今週' (This Week), '今月' (This Month), and '今年' (This Year). There are also buttons for '昨日' (Yesterday), '先週' (Last Week), '先月' (Last Month), and '去年' (Last Year). A date and time range selector is shown, with the start date set to '2014年9月1日0時0分0秒' and the end date set to '2014年9月30日23時59分59秒'. At the bottom, there are '実行' (Execute) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

(3) レポート作成条件を入力します。この例では、レポート作成条件を以下の内容を入力しています。

起動タイミングタブ

詳細期間	2014 年 9 月 24 日 0 時 0 分 0 秒から 2014 年 9 月 24 日 23 時 59 分 59 秒
------	--------------------------------------------------------------

レポート内容タブ

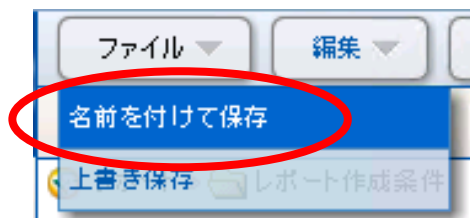
条件区分	検索（登録名は、アプリケーション履歴）
------	---------------------

登録名	概要	作成日	更新日	種類
02 アプリケーション履歴		2014/09/24 12:34:56	2014/09/24 12:34:56	検索条件

出力タブ

出力フォーマット	PDF
----------	-----

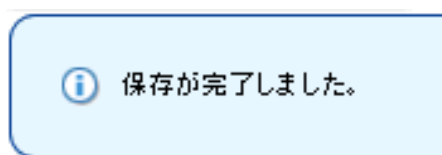
- (4) メニューの「ファイル」を選択して、「名前をつけて保存」を選択します。なお、画面下の「実行」ボタン選択時は即時実行となり、レポート作成条件を登録しない状態で選択するとレポート作成条件は登録せず実行します。



- (5) レポート作成条件名を入力する画面にレポート作成条件名を入力して「OK」ボタンを押します。

この例では、レポート作成条件名に「1 日分のアプリケーション履歴レポート」としています。

(6) 保存完了の確認が表示されます。「OK」ボタンを押します。



(7) 入力したレポート作成条件名が「レポート作成条件名」に表示されることを確認します。以上がレポート作成条件登録です。

レポート作成条件名:	1日分のアプリケーション履歴レポート
概要:	<input type="text"/>

6.2. 作成実行例

以下は即時実行のレポート作成条件を実行する例です。

- (1) フォルダリストの「レポート」→「レポート作成条件」を選択し、「レポート作成条件リスト画面」を表示します。



The screenshot shows the IVEX Logger Viewer application. On the left sidebar, the 'レポート' (Reports) folder is expanded, and 'レポート作成条件' (Report Creation Conditions) is highlighted with a red circle. The main content area displays the 'レポート作成条件リスト' (Report Creation Conditions List) screen. It shows a table with 12 items, all of which are selected (checked). The table columns are: 有効 (Effective), 登録名 (Registration Name), 概要 (Summary), 更新者 (Updater), 所有者 (Owner), and 更新日 (Update Date).

有効	登録名	概要	更新者	所有者	更新日
<input checked="" type="checkbox"/>	URL別Webアクセスレポート	URL別のWebアクセス回数集計	admin	administrators	2014/08/24 12:34:56
<input checked="" type="checkbox"/>	アプリケーション別起動回数レポート	アプリケーション別の起動回数集計	admin	administrators	2014/08/24 12:34:56
<input checked="" type="checkbox"/>	ウィンドウタイトル別アクセスレポート	トップ20	admin	administrators	2014/08/24 12:34:56
<input checked="" type="checkbox"/>	ファイル別アクセスレポート	トップ20	admin	administrators	2014/08/24 12:34:56
<input checked="" type="checkbox"/>	プリンタ別印刷枚数レポート	プリンタ毎の印刷枚数集計	admin	administrators	2014/08/24 12:34:56
<input checked="" type="checkbox"/>	ユーザ別メール受信件数レポート	ユーザ毎のメール受信件数集計	admin	administrators	2014/08/24 12:34:56
<input checked="" type="checkbox"/>	ユーザ別メール送信件数レポート	ユーザ毎のメール送信件数集計	admin	administrators	2014/08/24 12:34:56
<input checked="" type="checkbox"/>	ユーザ別ログイン件数レポート	ユーザ毎のログイン回数集計	admin	administrators	2014/08/24 12:34:56
<input checked="" type="checkbox"/>	リムーバブルメディアへのアクセスレポート	USBメモリ等の利用履歴	admin	administrators	2014/08/24 12:34:56

- (2) レポート作成条件リストから実行するレポート作成条件を選択して、「レポート作成条件画面」を表示します。

ここではレポート作成条件を「1日分のログ検索結果をレポートするテンプレート」としています。

レポート作成条件リスト						
13件中1 - 13件目 1						
<input type="checkbox"/>	有効	登録名 [▼/▲]	概要 [▼/▲]	更新者 [▼/▲]	所有者 [▼/▲]	更新日 [▼/▲]
<input type="checkbox"/>	-	 1日分のアプリケーション履歴レポート		admin	administrators	2014/08/29 19:17:20

レポート作成条件名:	1日分のアプリケーション履歴レポート
概要:	<input type="text"/>

起動タイミング	レポート内容	出力	保存期間設定
---------	--------	----	--------

起動タイミング:

期間指定:

2014 年 9 月 24 日 0 時 0 分 0 秒 から
2014 年 9 月 24 日 23 時 59 分 59 秒 まで

(3) 内容を確認して、「実行」ボタンを選択します。

レポート作成条件名: 1日分のアプリケーション履歴レポート

概要:

起動タイミング: 指定なし

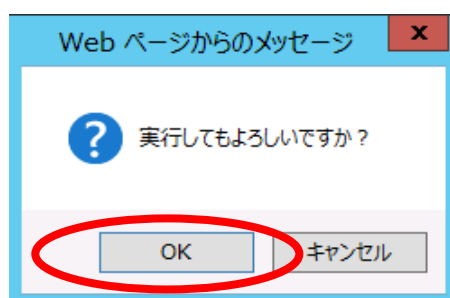
期間指定:

今日 今週 今月 今年
昨日 先週 先月 去年

2014 年 9 月 24 日 0 時 0 分 0 秒 から
2014 年 9 月 24 日 23 時 59 分 59 秒 まで

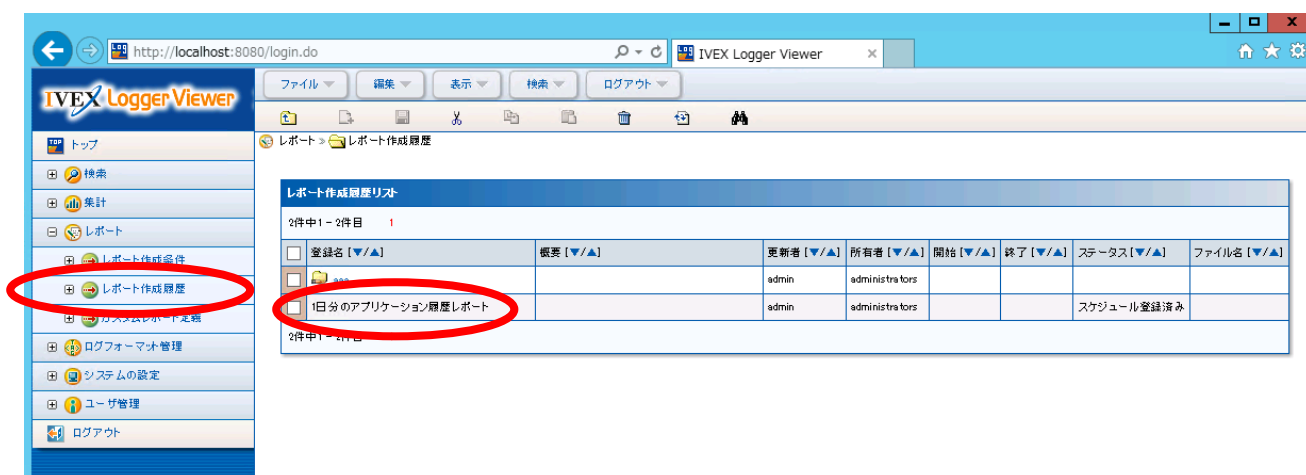
実行 キャンセル

(4) 実行の確認画面が表示されます。「OK」ボタンを選択します。



(5) フォルダリストから「レポート作成履歴」を選択してレポート作成条件リストを表示します。

保存したレポート作成条件があることを確認します。



6.3. レポート作成履歴確認例

レポート作成履歴は、過去に作成したレポートの履歴です。作成されたレポートを確認する際に行います。

- (1) フォルダリストの「レポート」→「レポート履歴」を選択し、「レポート作成履歴リスト画面」を表示します。

実行したレポート作成条件名の後に数字が付いたレポート作成条件のファイル名を選択します。

The screenshot displays the IVEX Logger Viewer application. On the left, a sidebar contains navigation links, with 'レポート作成履歴' (Report History) highlighted and circled in red. The main content area shows a table titled 'レポート作成履歴リスト' (Report History List). The table has columns for '登録名' (Registered Name), '概要' (Summary), '更新者' (Updater), '所有者' (Owner), '開始' (Start), '終了' (End), 'ステータス' (Status), and 'ファイル名' (Filename). The first entry in the table is circled in red, showing a filename that includes a date and time: '1日分のアプリケーション履歴レポート-20140828-194115-admin.pdf(73 KB)'.

登録名 [▼/▲]	概要 [▼/▲]	更新者 [▼/▲]	所有者 [▼/▲]	開始 [▼/▲]	終了 [▼/▲]	ステータス [▼/▲]	ファイル名 [▼/▲]
1日分のアプリケーション履歴レポート		admin	administrators	2014/08/28 19:41:15	2014/08/28 19:41:24	完了	1日分のアプリケーション履歴レポート-20140828-194115-admin.pdf(73 KB)

- (2) 「ファイルのダウンロード画面」が表示され、「開く」ボタンを選択します。

(3) 作成されたレポートが表示されます。この例では、PDF データを表示しています。

1日分のアプリケーション履歴レポート											
概要											
作成日 2014-09-29 19:46:55											
対象期間 2014-09-24 00:00:00 - 2014-09-24 23:59:59											
検索条件名 02 アプリケーション履歴											
概要											
件数 118件											
日付	イベント	成否	アラート	権限名	氏名	ログインユーザ	コンピュータ名	アプリケーション	使用時間	セッション名	セッションID
2014-09-24 02:43:00	アプリケーション起動			test	admin	3067administ	LODERSAGENT	C:\Windows\ap			2
2014-09-24 02:43:00	アプリケーション終了			test	admin	3067administ	LODERSAGENT	C:\Windows\ap	00:00:00.077		2
2014-09-24 10:43:01	アプリケーション起動			test	admin	3067administ	LODERSAGENT	C:\Windows\ap			2
2014-09-24 10:43:01	アプリケーション終了			test	admin	3067administ	LODERSAGENT	C:\Windows\ap	00:00:00.083		2
2014-09-24 14:16:52	アプリケーション起動			test2	tester_u	3067umecow	LODERSAGENT	C:\Windows\ap	00:00:10.046	ROP-Top00	3
2014-09-24 14:17:00	アプリケーション終了			test2	tester_u	3067umecow	LODERSAGENT	C:\Windows\ap	00:00:14.572	ROP-Top00	3
2014-09-24 14:17:13	アプリケーション終了			test2	tester_u	3067umecow	LODERSAGENT	C:\Program Files (x86)\SQL Server\bin\sqlservr.exe	11:10:35.424	ROP-Top00	3

レポート作成履歴で、ステータスによってはレポート作成履歴リストの「開始」や「ファイル名」が空欄になっている場合があります。

The screenshot shows the IVEX Logger Viewer web application. The left sidebar contains navigation links: トップ, 検索, 集計, レポート, レポート作成条件, レポート作成履歴, カスタムレポート定義, ログフォーマット管理, システムの設定, ユーザ管理, and ログアウト. The main content area is titled 'レポート作成履歴' and shows a list of reports. The table below is a detailed view of the reports.

選択	登録名 [▼/▲]	概要 [▼/▲]	更新者 [▼/▲]	所有者 [▼/▲]	開始 [▼/▲]	終了 [▼/▲]	ステータス [▼/▲]	ファイル名 [▼/▲]
<input type="checkbox"/>	000		admin	administrators				
<input type="checkbox"/>	1日分のアプリケーション履歴レポート		admin	administrators			スケジュール登録済	

6.4. 外部レポートエンジンの登録例

コンソールサーバのレポートエンジンは、レポートを作成する際に XML ファイルを作成します。

外部レポートエンジンはその XML ファイルに対して操作をするプログラムです。外部レポートエンジンを用意することで、コンソールサーバのレポートエンジンは、より柔軟なレポートを作成することができます。

以下は外部レポートエンジントを登録する例です。

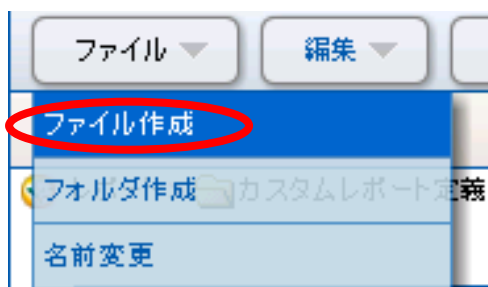
- (1) 作成した外部レポートエンジンをコンソールサーバに配置します。この例では、外部レポートエンジンを以下のディレクトリに配置します。

格納ディレクトリ	C:\logstorage¥report¥
外部レポートエンジン名 (ファイル名)	report.pl

- (2) フォルダリストの「レポート」→「カスタムレポート定義」を選択し、「カスタムレポートリスト画面」を表示します。



- (3) メニューの「ファイル」→「ファイル作成」を選択して、「カスタムレポート作成条件画面」を表示します。



カスタムレポート名:	<input type="text"/>
概要:	<input type="text"/>
<div>スタイルシート 外部レポートエンジン</div>	
<div>登録済み: 無し</div> <div>XSLファイル: <input type="text"/> 参照...</div> <div>拡張子: <input type="text"/> 例: html, txt, xml (2008-10-05-02.xml)</div> <div>対応XMLバージョン: 4.3 <input type="button" value="v"/></div>	
<input type="button" value="キャンセル"/>	

- (4) カスタムレポート作成条件を入力します。この例では、カスタムレポート作成条件に以下の内容を入力しています。

スタイルシートタブ

XSL ファイル	C:\%logstorage%\report\xsl\%report.xml
拡張子	pdf
対応 XML バージョン	4.3

カスタムレポート名:

概要:

スタイルシート 外部レポートエンジン

登録済み: 無し

XSL ファイル: 参照...

拡張子: × 例: html, txt, xml (2008-10-05-02.xml)

対応XMLバージョン:

キャンセル

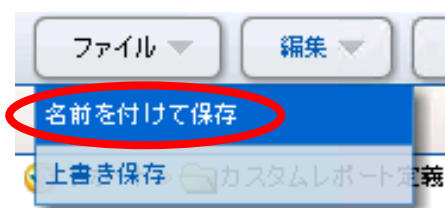
外部レポートエンジンタブ

外部レポートエンジン	C:¥logstorage¥report¥report.pl
------------	--------------------------------

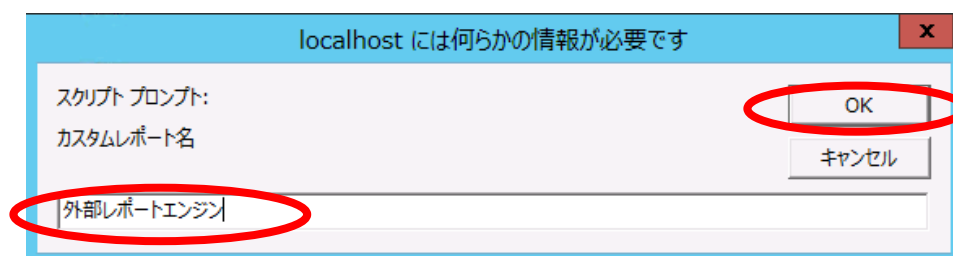
カスタムレポート名:	
概要:	
スタイルシート	外部レポートエンジン
外部レポートエンジン: C:¥logstorage¥report¥%s¥report.pl	
キャンセル	

外部レポートエンジンのプログラムは絶対パスで指定します。また、外部レポートエンジンのオプションを合わせて設定することができます。

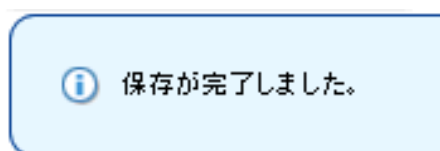
(5) メニューの「ファイル」を選択して、「名前を付けて保存」を選択します。



(6) カスタムレポート名を入力する画面に、カスタムレポート名を入力して「OK」ボタンを押します。



(7) 保存完了の確認が表示されます。



- (8)「カスタムレポートリスト画面」に登録したカスタムレポート名が表示されることを確認します。
以上が外部レポートエンジンの登録です。



IVEX Logger Viewer

トップ

検索

集計

レポート

レポート作成条件

レポート作成履歴

カスタムレポート定義

ログフォーマット管理

システムの設定

ユーザ管理

ログアウト

ファイル 編集 表示 検索 ログアウト

レポート カスタムレポート定義

カスタムレポートリスト

1件中1 - 1件目 1

登録名 [▼/▲]	概要 [▼/▲]	更新者 [▼/▲]	所有者 [▼/▲]	更新日 [▼/▲]
外部レポートエンジン		admin	administrators	2014/08/28 20:37:32

1件中1 - 1件目 1

6.5. レポート作成条件のエクスポート

エクスポートは IVEX Logger Viewer 内に作成されたレポート作成条件を設定ファイルとして出力します。作成したレポート作成条件を他の IVEX Logger Viewer で使用する場合には行ないます。設定ファイルはレポート作成条件のインポートで取り込むことができます。

以下に一般ユーザによるレポート作成条件をエクスポートする手順を記載します。一般ユーザのレポート作成条件のエクスポートは予め操作権限を与えられている必要があります。設定ファイルは XML ファイル形式でエクスポートします。

- (1) 一般ユーザでログインし、フォルダリストの「レポート」を選択し、「レポート作成条件」を選択します。
- (2) レポート作成条件リストからエクスポートしたいレポート作成条件の左チェックボックスをチェックします。
- (3) メニューの「ファイル」→「エクスポート」を選択します。(全てエクスポートを選択すると **IVEX Logger Viewer** 内の全てのレポート作成条件をエクスポートします。)
- (4) ファイルのダウンロード画面の「保存」ボタンを選択します。

設定ファイルはファイル名「export.xml」(XML 形式)で出力されます。

以上が一般ユーザでレポート作成条件をエクスポートする手順です。

6.6. レポート作成条件のインポート

インポートは予め作成を行ったレポート作成条件を取り込む際に使用する機能です。インポートを行う前には、レポート作成条件のファイルを用意しておく必要があります。

以下に一般ユーザによるレポート作成条件をインポートする手順を記載します。一般ユーザのレポート作成条件のインポートは予め操作権限を与えられている必要があります。

設定ファイルは XML ファイル形式でインポートします。

- (1) 一般ユーザでログインし、フォルダリストの「レポート」を選択し、「インポート」を選択します。
- (2) インポートタブの「参照」ボタンを選択して、インポートするレポート作成条件のファイルを選択します。(又は XML ファイル名にインポートするログフォーマット定義のファイルを選択します。)
- (3) 「アップロード」ボタンを選択します。
- (4) アップロードされたレポート作成条件が画面に表示されるので、取り込むレポート作成条件の左チェックボックスをチェックし、取り込まないレポート作成条件はチェックをはずします。

「データの整合性に問題が見つかりました。処置状況に従い解決方法を選択してください。」というダイアログボックスが表示された場合は、エラーメッセージを見て重複する箇所に対して「マージ」「上書き」「変更」のいずれかを行ってください。
- (5) 「インポート項目確認へ」ボタンを選択します。
- (6) 内容を確認し、「インポート」ボタンを選択します。
- (7) 「インポートが完了しました。」ダイアログボックスを確認して「OK」ボタンを選択します。

以上が一般ユーザによるレポート作成条件をインポートする手順です。

6.7. カスタムレポート定義のエクスポート

エクスポートはIVEX Logger Viewer 内に作成されたカスタムレポート定義を設定ファイルとして出力します。作成したカスタムレポート定義を他の IVEX Logger Viewer で使用する場合には行ないます。設定ファイルはカスタムレポート定義のインポートで取り込むことができます。

以下に一般ユーザによるカスタムレポート定義をエクスポートする手順を記載します。一般ユーザのカスタムレポート定義のエクスポートは予め操作権限を与えられている必要があります。設定ファイルは XML ファイル形式でエクスポートします。

- (1) 一般ユーザでログインし、フォルダリストの「検索」を選択し、「カスタムレポート定義」を選択します。
- (2) カスタムレポート定義リストからエクスポートしたいカスタムレポート定義の左チェックボックスをチェックします。
- (3) メニューの「ファイル」→「エクスポート」を選択します。(全てエクスポートを選択すると **IVEX Logger Viewer** 内の全てのカスタムレポート定義をエクスポートします。)
- (4) ファイルのダウンロード画面の「保存」ボタンを選択します。

設定ファイルはファイル名「export.xml」(XML 形式)で出力されます。

以上が一般ユーザでカスタムレポート定義をエクスポートする手順です。

6.8. カスタムレポート定義のインポート

インポートは予め作成を行ったカスタムレポート定義を取り込む際に使用する機能です。インポートを行う前には、カスタムレポート定義のファイルを用意しておく必要があります。

以下に一般ユーザによるカスタムレポート定義をインポートする手順を記載します。一般ユーザのカスタムレポート定義のインポートは予め操作権限を与えられている必要があります。

設定ファイルは XML ファイル形式でインポートします。

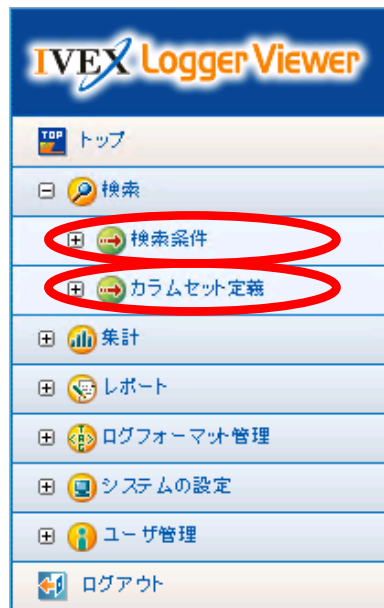
- (1) 一般ユーザでログインし、フォルダリストの「検索」を選択し、「インポート」を選択します。
- (2) インポートタブの「参照」ボタンを選択して、インポートするカスタムレポート定義のファイルを選択します。(又は XML ファイル名にインポートするログフォーマット定義のファイルを選択します。)
- (3) 「アップロード」ボタンを選択します。
- (4) アップロードされたカスタムレポート定義が画面に表示されるので、取り込むカスタムレポート定義の左チェックボックスをチェックし、取り込まないカスタムレポート定義はチェックをはずします。
- 「データの整合性に問題が見つかりました。処置状況に従い解決方法を選択してください。」というダイアログボックスが表示された場合は、エラーメッセージを見て重複する箇所に対して「マージ」「上書き」「変更」のいずれかを行ってください。
- (5) 「インポート項目確認へ」ボタンを選択します。
- (6) 内容を確認し、「インポート」ボタンを選択します。
- (7) 「インポートが完了しました。」ダイアログボックスを確認して「OK」ボタンを選択します。

以上が一般ユーザによるカスタムレポート定義をインポートする手順です。

7. 検索機能(画面詳細説明)

検索機能を使用する際に表示される画面の表示項目について説明しています。検索機能を使用するにはフォルダリストから以下の項目のいずれかを選択します。

- 検索条件
- カラムセット定義



検索条件を選択すると、検索条件リスト画面が表示されます。

カラムセット定義を選択すると、カラムセットリスト画面が表示されます。

7.1. 検索条件リスト

フォルダリストから検索条件を選択すると、検索条件リスト画面が表示されます。検索条件リスト画面には、保存した検索条件の登録名等が表示されます。

検索条件リスト				
16件中1 - 16件目 1				
<input type="checkbox"/> 登録名 [▼/▲]	概要 [▼/▲]	更新者 [▼/▲]	所有者 [▼/▲]	更新日 [▼/▲]
<input type="checkbox"/> レポート用		admin	administrators	2014/08/24 12:34:56
<input type="checkbox"/> 00 全履歴		admin	administrators	2014/08/24 12:34:56
<input type="checkbox"/> 01 ログイン履歴		admin	administrators	2014/08/24 12:34:56

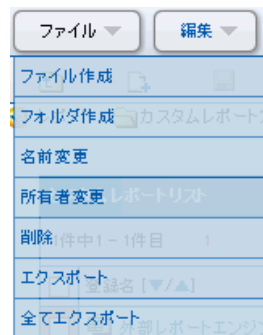
以下に検索条件リスト画面の表示項目と表示内容について説明します。

表示項目	表示内容
登録名	登録(保存)されている検索条件の名前(検索条件名)を示します。
概要	検索条件の概要を示します。
更新者	検索条件を作成したユーザ名を示します。
所有者	検索条件の所有者であるグループ名を示します。
更新日	検索条件を作成した日時を示します。

表示項目「所有者」は管理者グループ(administrators)のユーザ以外では表示しません。

検索条件リスト画面では、検索条件に対してメニューから操作することができます。

以下に検索条件リスト表示中のメニュー項目(ファイル)に表示される項目と操作内容について記載します。



項目	操作内容
ファイル作成	検索条件を作成します。
フォルダ作成	検索条件を分類する、フォルダを作成します。
名前変更	検索条件リスト画面に表示される、検索条件の登録名を変更します。
所有者変更	検索条件リスト画面に表示される、検索条件の所有者を変更します。
削除	検索条件を削除します。
エクスポート	選択した検索条件をエクスポートします。
全てエクスポート	登録されている全ての検索条件をエクスポートします。

表示項目「所有者変更」は管理者グループ(administrators)のユーザ以外では表示しません。

以下に検索条件リスト表示中のメニュー項目(編集)に表示される項目と操作内容について記載します。



項目	操作内容
コピー	検索条件をコピーする為、選択した検索条件をメモリに記憶します。
カット	検索条件を移動する為、選択した検索条件をメモリに記憶します。
ペースト	メモリ上にある検索条件を作成します。
全て選択	表示されている全ての検索条件を選択します。
選択解除	選択されている全ての検索条件の選択を解除します。

以下に検索条件リスト表示中のメニュー項目(表示)に表示される項目と操作内容について記載します。



項目	操作内容
更新	検索条件リスト画面での検索条件の表示内容を更新します。
表示数 20 件	検索条件リスト画面での検索条件の表示数を 20 件に変更します。
表示数 50 件	検索条件リスト画面での検索条件の表示数を 50 件に変更します。
表示数 100 件	検索条件リスト画面での検索条件の表示数を 100 件に変更します。

以下に検索条件リスト表示中のメニュー項目(検索)に表示される項目と操作内容について記載します。



項目	操作内容
ファイル検索	登録されている検索条件の名前を検索します。

7.2. 検索条件タブ

検索条件リスト画面から検索条件を選択するか、検索条件リスト画面でメニューから[ファイル]を選択し[ファイル作成]を選択した場合は、選択した検索条件または新規の検索条件が表示されます。

検索条件では、以下のタブが表示されます。

- 検索条件タブ
- 検索結果タブ
- カラムセットアサインタブ

検索結果タブは、検索を実行する前は非活性(選択不可)となっています。また、検索条件は登録(保存)することができます。検索条件を登録する場合は、メニューから[ファイル]を選択し、[名前を付けて保存]又は[上書き保存]を選択します。

この章では検索条件タブについて説明します。

検索条件タブでは、ログを検索する為の各種条件の入力や、設定した条件でログの検索を行うことができます。

検索条件タブでの設定項目は以下の通りです。

検索条件名: _____

概要: _____

検索条件 | 検索結果 | コラムセオアサイン

(1) LogGateグループ: demo-loggate

(2) 期間指定: 今日 今週 今月 今年
昨日 先週 先月 去年
2014年9月24日0時0分0秒から
2014年9月24日23時59分59秒まで

(3) [検索条件] or [検索条件] and

(4) ☐ ログを改行しない ☐ 降順検索 (5)

(6) 検索 (7) キャンセル

番号	設定項目／ボタン	設定／表示／実行内容
1	LogGate グループ	検索対象とする LogGate グループを選択します。
2	期間指定	ログを検索する際の期間を設定します。
3	検索条件	特定のメッセージを抽出する条件を設定します。
4	ログを改行しない	検索結果を改行無しで出力します。
5	降順検索	検索結果を日付の降順(新しい日付が上位に表示される)で出力します。
6	検索	入力された検索条件に基づいて検索を実行します。 検索結果は検索結果タブに表示されます。
7	キャンセル	検索条件の編集をキャンセルし、検索条件リスト画面を表示します。

7.2.1. 期間指定

期間指定:

今日 今週 今月 今年

昨日 先週 先月 去年

2014 年 9 月 24 日 0 時 0 分 0 秒 から

2014 年 9 月 24 日 23 時 59 分 59 秒 まで

検索条件タブでの期間指定では、検索対象とする期間を指定します。今日、今週、今月、今年、昨日、先週、先月、去年のそれぞれのボタンを押下すると、現在日時からの相対的な値を設定できます。

7.2.2. 検索条件

検索条件タブでの検索条件では、特定のメッセージを抽出する条件を設定します。特定のメッセージを抽出する条件は、フリーキーワード、ログソース、アプリケーション、タグ、ファシリティ、プライオリティ、PID の各項目に対して、検索する値や、補助条件(正規表現、前方一致、NOT、以上、以下、大文字・小文字を区別しない等)を設定します。また、検索条件は AND や OR で組み合わせることができます。

検索条件を削除する場合は、削除する検索条件の右フィールドの (+/-) を DELETE に変更します。

7.2.2.1. フリーキーワード

特定のキーワードを検索の条件にします。設定できる条件及び補助条件は以下の通りです。

条件	設定内容
フリーキーワード	検索するログに一致するフリーキーワードを入力します。

補助条件	設定
--	入力したフリーキーワードに一致するログを検索の条件にします。
NOT	入力したフリーキーワード以外のログを検索の条件にします。
正規表現	正規表現をフリーキーワードに入力し、入力された正規表現に一致するログを検索の条件にします。
大小文字区別なし	入力したフリーキーワードを大文字、小文字を区別せずに、一致するログを検索の条件にします。

7.2.2.2. ログソース

● ログソース

ログソース:

IVEX Logger Viewerに登録している特定のログソースから送信されたログを検索の条件にします。設定できる条件及び補助条件は以下の通りです。

条件	設定内容
ログソース	検索するログを送信したログソースを選択します。
補助条件	意味
--	選択したログソースから送信されたログを検索の条件にします。
NOT	選択したログソース以外から送信されたログを検索の条件にします。

7.2.2.3. アプリケーション

● アプリケーション

アプリケーション:

アクション:

ログフォーマット定義に定義されたアプリケーションを検索の条件にします。設定できる条件及び補助条件は以下の通りです。

条件	設定内容
アプリケーション	検索するログの対象アプリケーションを選択します。
補助条件	意味
--	選択したアプリケーションのログを検索の条件にします。
NOT	選択したアプリケーション以外のログを検索の条件にします。

アプリケーションに全てを指定した場合、登録された全てのアプリケーションのログを検索の条件にします。

7.2.2.4. アクション



ログフォーマット定義に定義されたアクションを検索の条件にします。特定のアプリケーションを検索の条件に設定した場合に設定することができます。設定できる条件は以下の通りです。

条件	設定内容
アクション	検索の条件に設定したアプリケーションのログの内、検索するログの対象アクションを選択します。

アクションに全てを指定した場合、登録された全てのアクションのログを検索の条件にします。

7.2.2.5. メッセージパラメータ

ログフォーマット定義に定義されたメッセージパラメータを検索の条件にします。特定のアクションを検索の条件に設定した場合に設定することができます。設定できる条件及び補助条件は以下の通りです。

● アプリケーション

AND OR DEL

アプリケーション: IVEX Logger

アクション: ログイン

メッセージパラメータ: IPアドレス 文字列

完全一致
NOT
前方一致
正規表現
大小文字区別なし

条件	設定内容
メッセージパラメータ	検索の条件に設定したアクションのログの内、検索するログの対象メッセージパラメータを選択します。
フリーキーワード	検索の条件に設定したメッセージパラメータと一致するフリーキーワードを入力します

● 補助条件 :「有無」

● アプリケーション

AND OR DEL

アプリケーション: IVEX Logger

アクション: ログイン

メッセージパラメータ: 部署名 有無

あり
なし

条件	意味
あり	検索するログの対象メッセージパラメータがログに含まれるログを条件にします。
なし	検索するログの対象メッセージパラメータがログに含まれないログを条件にします。

● 補助条件 :「文字列」

● アプリケーション

AND OR DEL

アプリケーション: IVEX Logger

アクション: ログイン

メッセージパラメータ: IPアドレス 文字列

完全一致
NOT
前方一致
正規表現
大小文字区別なし

条件	意味
完全一致	検索するログの対象メッセージパラメータの値が大文字小文字含めて完全に一致するログを条件にします。
NOT	検索するログの対象メッセージパラメータの値以外のログを検索の条件にします。
前方一致	検索するログの対象メッセージパラメータの値が前方一致するログを検索の条件にします。
正規表現	検索するログの対象メッセージパラメータの値が正規表現に一致するログを検索の条件にします。
大小文字区別なし	入力したフリーキーワードを大文字、小文字を区別せずに、検索するログの対象メッセージパラメータの値が一致するログを検索の条件にします。

● 補助条件 :「数値」

● アプリケーション

アプリケーション: IVEX Logger

アクション: ログイン

メッセージパラメータ: IPアドレス 数値

等しい
等しくない
以上
以下

条件	意味
等しい	検索するログの対象メッセージパラメータの値が一致するログを条件にします。数値として識別できない文字列が指定された場合は、いずれも等しい条件に合致しません。
等しくない	検索するログの対象メッセージパラメータの値が一致しないログを条件にします。数値として識別できない文字列が指定された場合は、いずれも等しくない条件に合致します。
以上	検索するログの対象メッセージパラメータの値が指定数値以上のログを検索の条件にします。
以下	検索するログの対象メッセージパラメータの値が指定数値以下のログを検索の条件にします。

● 補助条件 :「IP アドレス」

● アプリケーション

アプリケーション: IVEX Logger

アクション: ログイン

メッセージパラメータ: IPアドレス IPアドレス

同一アドレス
NOT
ネットマスク

条件	意味
同一アドレス	検索するログの対象メッセージパラメータが指定した IP アドレスと同一のログを検索の条件にします。
NOT	検索するログの対象メッセージパラメータが指定した IP アドレス以外のログを検索の条件にします。
ネットマスク	検索するログの対象メッセージパラメータが指定したネットマスクに該当するログを検索の条件にします。メッセージパラメータの値が「192.168.0.150」と「192.168.10.100」となっていた場合、ネットマスクに「192.168.0.0/24」とすると「192.168.0.150」が該当します。

7.2.2.6. タグ

ログフォーマット定義に定義された特定のタグを検索の条件にします。タグはログフォーマット定義での各メッセージパラメータに関連付けすることができ、異なるアプリケーションのメッセージパラメータに関連付けしています。特定のタグを検索の条件にすることで、アプリケーションを問わず横断的な検索、集計を行う事ができます。設定できる条件及び補助条件は以下の通りです。

● 補助条件 : 「有無」

条件	意味
あり	検索するログの対象タグがログに含まれるログを条件にします。
なし	検索するログの対象タグがログに含まれないログを条件にします。

● 補助条件 : 「文字列」

条件	意味
完全一致	検索するログの対象タグの値が大文字小文字含めて完全に一致するログを条件にします。
NOT	ログの検索条件とするタグの値以外のログを検索の条件にします。
前方一致	ログの検索条件とするタグの値が前方一致するログを検索の条件にします。
正規表現	ログの検索条件とするタグの値が入力された正規表現に一致するログを検索の条件にします。
大小文字区別なし	入力したフリーキーワードを大文字、小文字を区別せずに、ログの検索条件とするタグがフリーキーワードに一致するログを検索の条件にします。

● 補助条件 :「数値」

● タグ AND

タグ: 数値

等しい
等しくない
以上
以下

条件	意味
等しい	検索するログの対象タグの値が一致するログを条件にします。数値として識別できない文字列が指定された場合は、いずれも等しい条件に合致しません。
等しくない	検索するログの対象タグの値が一致しないログを条件にします。数値として識別できない文字列が指定された場合は、いずれも等しくない条件に合致します。
以上	ログの検索条件とするタグが指定数値以上のログを検索の条件にします。
以下	ログの検索条件とするタグが指定数値以下のログを検索の条件にします。

● 補助条件 :「IP アドレス」

● タグ AND

タグ: IPアドレス

同一アドレス
NOT
ネットマスク

条件	意味
同一アドレス	検索するログの対象タグが指定した IP アドレスと同一のログを検索の条件にします。
NOT	検索するログの対象タグが指定した IP アドレス以外のログを検索の条件にします。
ネットマスク	検索するログの対象タグの値が指定したネットマスクに該当するログを検索の条件にします。タグの値が「192.168.0.150」と「192.168.10.100」となっていた場合、ネットマスクに「192.168.0.0/24」とすると「192.168.0.150」が該当します。

補助条件	意味
--	ログの検索条件とするタグがフリーキーワードに一致するログを検索の条件にします。
NOT	ログの検索条件とするタグがフリーキーワード以外のログを検索の条件にします。
以上	ログの検索条件とするタグがフリーキーワード以上のログを検索の条件にします。(フリーキーワードに入力できる値は数値のみです)
以下	ログの検索条件とするタグがフリーキーワード以下のログを検索の条件にします。(フリーキーワードに入力できる値は数値のみです)
前方一致	ログの検索条件とするタグがフリーキーワードに前方一致するログを検索の条件にします。
正規表現	正規表現をフリーキーワードに入力し、ログの検索条件とするタグが入力された正規表現に一致するログを検索の条件にします。
大小文字区別なし	入力したフリーキーワードを大文字、小文字を区別せずに、ログの検索条件とするタグがフリーキーワードに一致するログを検索の条件にします。

7.2.2.7. ファシリティ

特定のファシリティであるログを検索の条件にします。ファシリティとはログの種別を意味しています。ログソースから送信される各ログのヘッダに記載されています。設定できる条件及び補助条件は以下の通りです。

条件	設定内容
facility	ログの検索条件とするファシリティを選択します。

補助条件	意味
—	選択したファシリティのログを検索の条件にします。
NOT	選択したファシリティ以外のファシリティのログを検索の条件にします。

7.2.2.8. プライオリティ

特定のプライオリティであるログを検索の条件にします。プライオリティとはログの注目度を意味しています。ログソースから送信される各ログのヘッダに記載されています。設定できる条件及び補助条件は以下の通りです。

条件	設定内容
priority	ログの検索条件とするプライオリティを選択します。

補助条件	意味
—	選択したプライオリティのログを検索の条件にします。
NOT	選択したプライオリティ以外のプライオリティのログを検索の条件にします。

7.2.2.9. PID

PID

PID :

NOT

以上

以下

特定のPID(プロセスID)であるログを検索の条件にします。ログソースから送信される各ログのヘッダに記載されています。設定できる条件及び補助条件は以下の通りです。

条件	設定内容
pid	ログの検索条件とするPIDを入力します。

補助条件	意味
--	入力したPIDのログを検索の条件にします。
NOT	入力したPID以外のPIDのログを検索の条件にします。
以上	入力したPID以上のPIDのログを検索の条件にします。
以下	入力したPID以下のPIDのログを検索の条件にします。

7.2.3. 検索条件の組み合わせ

検索条件では、複数の検索条件を組み合わせた複合条件を作ることができます。複合条件を作る場合は、複合条件にする検索条件の右フィールドの (+/-) を下記いずれかに設定します。



AND

組み合わせた複数の条件を同時に満たす条件にさせる場合に設定します。

The screenshot shows a search condition interface with two rows. Each row has a radio button, a label 'フリーキーワード', a text input field, a dropdown menu, and a set of three red buttons ('AND', 'OR', 'DELETE'). The first row has the first radio button selected, the text input contains 'ERROR', and the dropdown is set to '-'. The second row has the second radio button selected, the text input contains 'user', and the dropdown is set to '-'. A red bracket on the left connects the two radio buttons, indicating they are combined with 'AND'.

OR

組み合わせた複数の条件のいずれかを満たす条件にさせる場合に設定します。

The screenshot shows a search condition interface with two rows. Each row has a radio button, a label 'フリーキーワード', a text input field, a dropdown menu, and a set of three red buttons ('AND', 'OR', 'DELETE'). The first row has the first radio button selected, the text input contains 'ERROR', and the dropdown is set to '-'. The second row has the second radio button selected, the text input contains 'FATAL', and the dropdown is set to '-'. A red bracket on the left connects the two radio buttons, indicating they are combined with 'OR'.

7.2.4. 検索の中断機能

検索条件タブで検索ボタンを押下すると、設定した検索条件での検索処理が実行され、フォルダリストに以下の画面が表示されます。



検索処理中に STOP ボタンを押下すると検索処理を中断することができます。設定した検索条件によっては、検索処理に時間が掛かる場合があります。その場合は STOP ボタンで一度検索処理を中断し、条件を絞ってから再度検索処理を実行して下さい。



7.2.5. 過去ログデータの互換検索機能

過去ログデータの互換検索機能を有効にした状態で検索条件タブを表示すると、「互換検索バージョン」及び「アーカイブ」の項目が表示されます。検索したいバージョンのログデータにあわせて選択してください。なお、複数バージョンをまたぐログデータの検索はできません。

※既定値では過去ログデータの互換検索機能は無効です。有効にする方法は、「Logstorage 管理者マニュアル」をご確認下さい。

7.3. 検索結果タブ

検索条件タブから実行された検索結果は、検索結果タブに表示されます。この章では、検索結果タブでの機能について説明します。

7.3.1. ハイライト機能

ハイライト機能は、検索結果に表示される特定のログに対して指定した背景色を付けることができる機能です。この機能を適用することにより、検索時に特定のログの発見を行いやすくなります。

1 - 100件目表示(1,379件) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 [NEXT ▶]					
タイムスタンプ*	イベント	ログインユーザー	コンピューター名	IPアドレス	MACアドレス
2013-09-19 11:00:56	ログイン	PC-WIN7X64¥admin	PC-WIN7X64	192.168.30.208	EE-AE-29-7A-11-C6
2013-09-19 11:00:56	アプリケーション起動	PC-WIN7X64¥admin	PC-WIN7X64		
2013-09-19 11:00:56	アプリケーション起動	PC-WIN7X64¥admin	PC-WIN7X64		
2013-09-19 11:00:56	アプリケーション起動	PC-WIN7X64¥admin	PC-WIN7X64		
2013-09-19 11:00:56	ウィンドウタイトル	PC-WIN7X64¥admin	PC-WIN7X64		
2013-09-19 11:00:56	ファイル参照	PC-WIN7X64¥admin	PC-WIN7X64		

ハイライト機能を適用するには、特定のログを予めログフォーマット定義に定義しておく必要があります。

7.3.2. トラッキング機能

トラッキング機能は、検索結果から特定の文字列を選択すると、特定の文字列を検索の条件(AND 条件)にして、更に検索結果を絞り込む機能です。この機能を適用することで、一度検索を行った結果に対して、更に検索条件タブで検索条件を追加しなくとも、検索条件を追加して容易に特定の文字列を含むログを追跡することができます。

選択した文字列(文字の色が反転)がフリーキーワードとなり、更に絞り込んだ検索が実行される。



時刻	イベント	ロギンユーザー	コンピュータ名	IPアドレス	MACアドレス	ウィンドウタイトル	ファイルパス	ファイルタイプ
2013-08-13 16:27:16	ファイル書き込み	PC-W87X54admin	PC-W87X54			Program Manager	C:\Users\admin\Desktop\顧客情報.xlsx	Excel
2013-08-13 16:27:16	ファイル参照	PC-W87X54admin	PC-W87X54			Program Manager	C:\Users\admin\Desktop\顧客情報.xlsx	Excel
2013-08-13 16:27:16	ファイル参照	PC-W87X54admin	PC-W87X54			Program Manager	C:\Users\admin\Desktop\顧客情報.xlsx	Excel
2013-08-13 16:27:16	ファイル参照	PC-W87X54admin	PC-W87X54			MitsLogger	C:\Users\admin\Desktop\顧客情報.xlsx	Excel
2013-08-13 16:27:18	ファイル参照	PC-W87X54admin	PC-W87X54			Program Manager	C:\Users\admin\Desktop\顧客情報.xlsx	Excel
2013-08-13 16:27:20	ファイル参照	PC-W87X54admin	PC-W87X54			起動しています - Microsoft Excel	C:\Users\admin\Desktop\顧客情報.xlsx	Excel
2013-08-13 16:27:20	ファイル参照	PC-W87X54admin	PC-W87X54			起動しています - Microsoft Excel	C:\Users\admin\Desktop\顧客情報.xlsx	Excel
2013-08-13 16:27:20	ファイル参照	PC-W87X54admin	PC-W87X54			起動しています - Microsoft Excel	C:\Users\admin\Desktop\顧客情報.xlsx	Excel
2013-08-13 16:27:20	ファイル参照	PC-W87X54admin	PC-W87X54			起動しています - Microsoft Excel	C:\Users\admin\Desktop\顧客情報.xlsx	Excel
2013-08-13 16:27:20	ファイル参照	PC-W87X54admin	PC-W87X54			起動しています - Microsoft Excel	C:\Users\admin\Desktop\顧客情報.xlsx	Excel
2013-08-13 16:27:20	ファイル参照	PC-W87X54admin	PC-W87X54			起動しています - Microsoft Excel	C:\Users\admin\Desktop\顧客情報.xlsx	Excel
2013-08-13 16:27:20	ファイル参照	PC-W87X54admin	PC-W87X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xlsx	C:\Users\admin\Desktop\顧客情報.xlsx	Excel
2013-08-13 16:27:20	ファイル参照	PC-W87X54admin	PC-W87X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xlsx	C:\Users\admin\Desktop\顧客情報.xlsx	Excel
2013-08-13 16:27:20	ファイル参照	PC-W87X54admin	PC-W87X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xlsx	C:\Users\admin\Desktop\顧客情報.xlsx	Excel
2013-08-13 16:27:20	ファイル参照	PC-W87X54admin	PC-W87X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xlsx	C:\Users\admin\Desktop\顧客情報.xlsx	Excel
2013-08-13 16:27:20	ファイル参照	PC-W87X54admin	PC-W87X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xlsx	C:\Users\admin\Desktop\顧客情報.xlsx	Excel
2013-08-13 16:27:20	ファイル参照	PC-W87X54admin	PC-W87X54			Microsoft Excel - 顧客情報.xlsx	C:\Users\admin\Desktop\顧客情報.xlsx	Excel

この検索条件は、検索条件タブにも反映される。

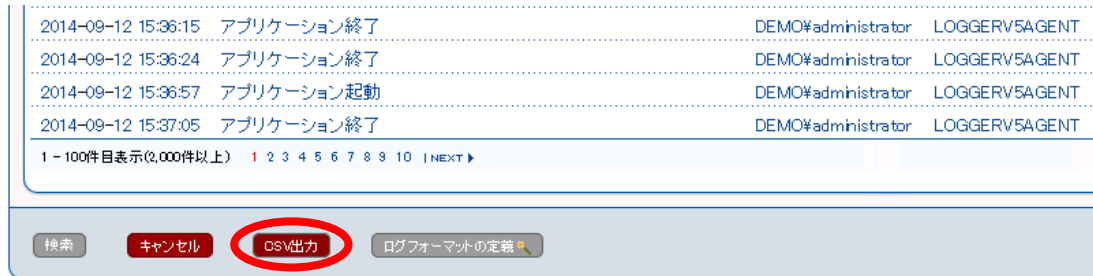


タグ: ファイルパス 文字列 C:\Users\admin\Desktop\顧客情報.xlsx 完全一致

AND OR DELETE

7.3.3. 検索結果 CSV 出力機能

検索結果 CSV 出力機能は、画面に表示されている検索結果を CSV 出力する機能です。この機能を利用することで、ログデータの加工やソート、集計を外部のテキスト編集ツールなどで用意に行うことができます。



「ヘッダ有り」は、CSV 出力結果の1行目にタイムスタンプ、イベント、ログインユーザーなどの情報を付加します。「ヘッダ無し」は、出力結果の1行目にこれらの情報を付加せずに、結果のみを CSV 出力します。「ヘッダ有り」の出力結果例については以下の通りです。

	A	B	C	D	F
1	タイムスタンプ	イベント	ログインユーザー	コンピューター名	アプリケーションパス
2	2013/9/19 11:00	アプリケーション起動	PC-WIN7X64Vadmin	PC-WIN7X64	C:\Program Files (x86)\3LE\MobileClientProtector\bin\2.0.000\
3	2013/9/19 11:00	アプリケーション起動	PC-WIN7X64Vadmin	PC-WIN7X64	C:\Windows\Explorer.EXE
4	2013/9/19 11:00	アプリケーション起動	PC-WIN7X64Vadmin	PC-WIN7X64	C:\Windows\system32\Taskhost.exe
5	2013/9/19 11:00	アプリケーション起動	PC-WIN7X64Vadmin	PC-WIN7X64	C:\Program Files (x86)\3LE\MobileClientProtector\bin\2.0.000\
6	2013/9/19 11:00	アプリケーション起動	PC-WIN7X64Vadmin	PC-WIN7X64	C:\Windows\system32\cmd.exe
7	2013/9/19 11:00	アプリケーション起動	PC-WIN7X64Vadmin	PC-WIN7X64	C:\Program Files\Common Files\Microsoft Shared\IME14\SHAR
8	2013/9/19 11:00	アプリケーション起動	PC-WIN7X64Vadmin	PC-WIN7X64	C:\Windows\system32\rdpclip.exe
9	2013/9/19 11:00	アプリケーション起動	PC-WIN7X64Vadmin	PC-WIN7X64	C:\Program Files\Common Files\Microsoft Shared\IME14\SHAR
10	2013/9/19 11:00	アプリケーション終了	PC-WIN7X64Vadmin	PC-WIN7X64	C:\Program Files\Common Files\Microsoft Shared\IME14\SHAR
11	2013/9/19 11:00	アプリケーション起動	PC-WIN7X64Vadmin	PC-WIN7X64	C:\Program Files\Microsoft Office\Office14\BCSSync.exe
12	2013/9/19 11:00	アプリケーション終了	PC-WIN7X64Vadmin	PC-WIN7X64	C:\Program Files\Microsoft Office\Office14\BCSSync.exe
13	2013/9/19 11:00	アプリケーション起動	PC-WIN7X64Vadmin	PC-WIN7X64	C:\Windows\SysWOW64\runonce.exe

「ヘッダ無し」の出力結果例については以下の通りです。

	A	B	C	D	F
1	2013/9/19 11:00	アプリケーション起動	PC-WIN7X64Vadmin	PC-WIN7X64	C:\Program Files (x86)\3LE\MobileClientProtector\bin\2.0.000\
2	2013/9/19 11:00	アプリケーション起動	PC-WIN7X64Vadmin	PC-WIN7X64	C:\Windows\Explorer.EXE
3	2013/9/19 11:00	アプリケーション起動	PC-WIN7X64Vadmin	PC-WIN7X64	C:\Windows\system32\Taskhost.exe
4	2013/9/19 11:00	アプリケーション起動	PC-WIN7X64Vadmin	PC-WIN7X64	C:\Program Files (x86)\3LE\MobileClientProtector\bin\2.0.000\
5	2013/9/19 11:00	アプリケーション起動	PC-WIN7X64Vadmin	PC-WIN7X64	C:\Windows\system32\cmd.exe
6	2013/9/19 11:00	アプリケーション起動	PC-WIN7X64Vadmin	PC-WIN7X64	C:\Program Files\Common Files\Microsoft Shared\IME14\SHAI
7	2013/9/19 11:00	アプリケーション起動	PC-WIN7X64Vadmin	PC-WIN7X64	C:\Windows\system32\rdpclip.exe
8	2013/9/19 11:00	アプリケーション起動	PC-WIN7X64Vadmin	PC-WIN7X64	C:\Program Files\Common Files\Microsoft Shared\IME14\SHAI
9	2013/9/19 11:00	アプリケーション終了	PC-WIN7X64Vadmin	PC-WIN7X64	C:\Program Files\Common Files\Microsoft Shared\IME14\SHAI
10	2013/9/19 11:00	アプリケーション起動	PC-WIN7X64Vadmin	PC-WIN7X64	C:\Program Files\Microsoft Office\Office14\BCSSync.exe

CSV 出力結果は、現在表示されている画面の結果件数分のみが出力されます。必要に応じて次のページにあるログはページを移動して CSV 出力を行うか、1 画面の表示件数を変更して(最大 1000 件)から CSV 出力を行ってください。

7.4. カラムセットアサインタブ

検索結果タブに表示される項目及び表示順序は設定することができます。これをカラムセットアサイン機能と呼びます。また、表示される項目及び表示順序を設定されたものをカラムセットと呼びます。カラムセットは、各検索条件に対して設定することができ、カラムセットアサインタブで設定します。

カラムセットアサインタブでの設定項目は以下の通りです。

(1) ☒ 定義済みからアサイン:
☐ 新規作成からアサイン:

(2) **現在アサイン済みのカラムセット**

カラムセット名:	(システム規定カラムセット)			
概要:				

表示順序	カラム名	種類	型	表示形式
1	タイムスタンプ (システム規定カラム)	システム規定カラム	—	—
2	ログソース (システム規定カラム)	システム規定カラム	—	—
3	ファシリティ (システム規定カラム)	システム規定カラム	—	—
4	プライオリティ (システム規定カラム)	システム規定カラム	—	—
5	アプリケーション (システム規定カラム)	システム規定カラム	—	—
6	アクション (システム規定カラム)	システム規定カラム	—	—
7	ログメッセージ (システム規定カラム)	システム規定カラム	—	—

番号	設定項目	設定内容
1	設定方法	カラムセットの設定方法を設定します。
2	設定されているカラムセット	現在設定されているカラムセットのカラムセット名、概要、カラム名及び表示順序を表示します。

カラムセットの設定を行わない場合、既定値のカラムセットが適用されます。既定値のカラムセットはシステム規定のカラムセットが適用されますが、既定値のカラムセットは定義したカラムセットに変更することができます。なお、システム規定のカラムセットは以下の通りです。

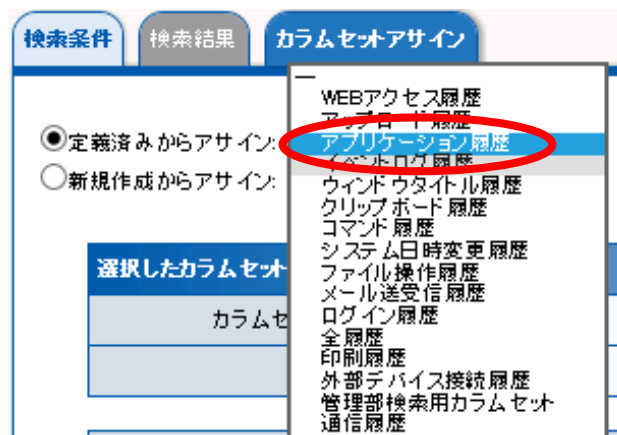
表示順序	カラム名
1	タイムスタンプ(システム規定カラム)
2	ログソース(システム規定カラム)
3	ファシリティ(システム規定カラム)
4	プライオリティ(システム規定カラム)
5	アプリケーション(システム規定カラム)
6	アクション(システム規定カラム)
7	ログメッセージ(システム規定カラム)

7.4.1. 定義済みからアサイン

カラムセット定義にて定義されているカラムセットを設定することができます。

設定方法は以下の通りです。

- (1) 定義済みからアサインのプルダウンからこの検索条件に適用するカラムセットを選択します。



(2) カラムセットを選択後、選択したカラムセットの表示項目及び表示順序が表示されます。

ファイル ▼ 編集 ▼ 表示 ▼ 検索 ▼ ログアウト ▼

名前を付けて保存 上書き保存

検索条件名: 概要:

検索条件 検索結果 カラムセットアサイン

☒ 定義済みからアサイン: アプリケーション履歴 ▼
☐ 新規作成からアサイン:

選択したカラムセット

カラムセット名:	アプリケーション履歴			
概要:				

表示順序	カラム名	種類	型	表示形式
1	タイムスタンプ (システム規定カラム)	システム規定カラム	—	—
2	イベント	TRC タグ	文字列	標準
3	成否	TRC タグ	文字列	標準
4	アラート	TRC タグ	文字列	標準
5	部署名	TRC タグ	文字列	標準
6	氏名	TRC タグ	文字列	標準
7	ログインユーザ	TRC タグ	文字列	標準
8	コンピュータ名	TRC タグ	文字列	標準
9	アプリケーションパス	TRC タグ	文字列	標準
10	使用時間	TRC タグ	文字列	標準
11	セッション名	TRC タグ	文字列	標準
12	セッションID	TRC タグ	文字列	標準

現在アサイン済みのカラムセット

カラムセット名:	(システム規定カラムセット)			
概要:				

表示順序	カラム名	種類	型	表示形式
1	タイムスタンプ (システム規定カラム)	システム規定カラム	—	—
2	ログソース (システム規定カラム)	システム規定カラム	—	—
3	ファシリティ (システム規定カラム)	システム規定カラム	—	—
4	プライオリティ (システム規定カラム)	システム規定カラム	—	—
5	アプリケーション (システム規定カラム)	システム規定カラム	—	—
6	アクション (システム規定カラム)	システム規定カラム	—	—
7	ログメッセージ (システム規定カラム)	システム規定カラム	—	—

OK 解除 キャンセル

(3) メニュー「ファイル」→「上書き保存」を選択し、選択したカラムセットを適用します。

(4) 次回の検索実行の結果表示からこのカラムセットが適用されます。

7.4.2. 新規作成からアサイン

検索条件に適用するカラムセットを新規に作成します。

カラムセットの作成方法は、「[4.7.カラムセットの定義](#)」をご覧ください。

7.5. カラムセットリスト

検索結果の表示に使用するカラムセットは事前に定義しておくことができます。事前に定義しておくことで、複数の検索条件のカラムセットとして使用することができます。カラムセットの定義はフォルダリストのカラムセット定義から行います。

フォルダリストからカラムセット定義を選択すると、カラムセットリスト画面が表示されます。カラムセットリスト画面には、保存したカラムセットの登録名等が表示されます。



以下にカラムセットリスト画面の表示項目と表示内容について説明します。

表示項目	表示内容
規定値	チェックをつけたカラムセットを規定値に設定されます。
登録名	登録(保存)されているカラムセットの名前(カラムセット名)を示します。
概要	カラムセットの概要を示します。
更新者	カラムセットを作成したユーザ名を示します。
所有者	カラムセットの所有者であるグループ名を示します。
更新日	カラムセットを作成した日時を示します。

表示項目「所有者」は管理者グループ(administrators)のユーザ以外では表示しません。

カラムセットリスト画面では、カラムセットに対してメニューから操作することができます。

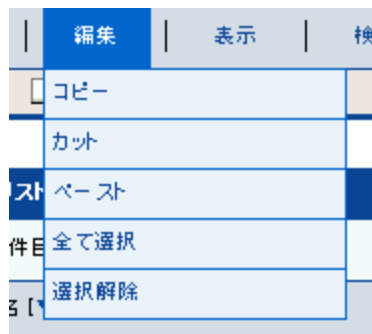
以下にカラムセットリスト表示中のメニュー項目(ファイル)に表示される項目と操作内容について記載します。



項目	操作内容
ファイル作成	カラムセットを作成します。
フォルダ作成	カラムセットを分類する、フォルダを作成します。
名前変更	カラムセットリスト画面に表示される、カラムセットの登録名を変更します。
所有者変更	カラムセットリスト画面に表示される、カラムセットの所有者を変更します。
削除	カラムセットを削除します。

表示項目「所有者変更」は管理者グループ(administrators)のユーザ以外では表示しません。

以下にカラムセットリスト表示中のメニュー項目(編集)に表示される項目と操作内容について記載します。



項目	操作内容
コピー	カラムセットをコピーする為、選択したカラムセットをメモリに記憶します。
カット	カラムセットを移動する為、選択したカラムセットをメモリに記憶します。
ペースト	メモリ上にあるカラムセットを作成します。
全て選択	表示されている全てのカラムセットを選択します。
選択解除	選択されている全てのカラムセットの選択を解除します。

以下にカラムセットリスト表示中のメニュー項目(表示)に表示される項目と操作内容について記載します。



項目	操作内容
更新	カラムセットリスト画面でのカラムセットの表示内容を更新します。
表示数 20 件	カラムセットリスト画面でのカラムセットの表示数を 20 件に変更します。
表示数 50 件	カラムセットリスト画面でのカラムセットの表示数を 50 件に変更します。
表示数 100 件	カラムセットリスト画面でのカラムセットの表示数を 100 件に変更します。

以下にカラムセットリスト表示中のメニュー項目(検索)に表示される項目と操作内容について記載します。



項目	操作内容
ファイル検索	登録されているカラムセットの名前を検索します。

7.6. カラムセット定義

カラムセットリスト画面からカラムセットを選択するか、カラムセットリスト画面でメニューから[ファイル]を選択し[ファイル作成]を選択した場合は、選択したカラムセットのカラムセット定義タブまたは新規のカラムセット定義タブが表示されます。カラムセット定義タブでは、検索結果タブに表示する項目及び表示順序を設定します。

また、カラムセットは登録(保存)することができ、登録(保存)することで複数の検索条件から使用することができます。カラムセットを登録する場合は、メニューから[ファイル]を選択し、[名前を付けて保存]又は[上書き保存]を選択します。

カラムセット定義タブでの設定項目は以下の通りです。

カラムセット名:

概要:

カラムセット定義

選択候補

システム規定カラム タグ メッセージパラメータ

(1) ファシリティ (システム規定カラム)
プライオリティ (システム規定カラム)

(2) タイムスタンプ (システム規定カラム)
ログソース (システム規定カラム)
アプリケーション (システム規定カラム)
アクション (システム規定カラム)
ログメッセージ (システム規定カラム)

(3) ↓追加 (4) ↑削除

選択済み

(5) 表示順を上へ↑ (6) ↓表示順を下へ

(7) 表示形式を変更

(8) 現在保存されているカラム(以下の順で表示)

表示順序	カラム名	種類	型	表示形式

(9) クリア (10) キャンセル

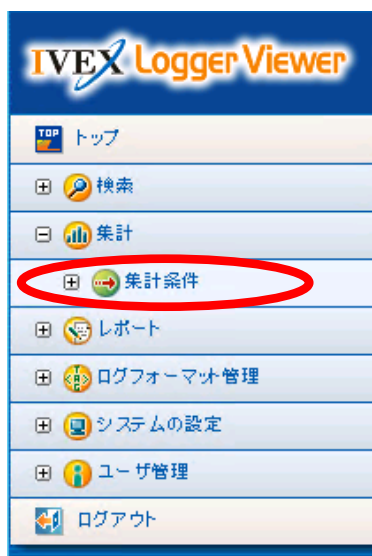
番号	設定項目／ボタン	設定／表示／実行内容
1	選択候補	検索結果に表示することができるカラムを表示します。
2	選択済み	検索結果に表示するカラムを表示します。
3	↓ 追加 ↓	選択候補のカラムから検索結果に表示するカラムを選択します。
4	↑ 削除 ↑	選択済みのカラムから検索結果に表示しないカラムを選択します。
5	表示順序を上へ ↑	選択済みのカラムから検索結果の表示を一つ左に移動するカラムを選択します。
6	表示順序を下へ ↓	選択済みのカラムから検索結果の表示を一つ右に移動するカラムを選択します。
7	表示形式を変更	タグ及びメッセージパラメータの検索結果時の表示形式を変更します。
8	現在選択されているカラム	検索結果に表示するカラムと(左からの)表示順序を表示します。
9	クリア	カラムセットの編集をキャンセルし、初期状態または保存されている状態に戻します。
10	キャンセル	カラムセットの編集をキャンセルし、カラムセットリスト画面を表示します。

インポートタブでは、予め作成されたログフォーマット定義のファイルからログフォーマット定義をインポートすることができます。

8. 集計機能(画面詳細説明)

集計機能を使用する際に表示される画面の表示項目について説明しています。集計機能を使用するにはフォルダリストから以下の項目のいずれかを選択します。

- 集計条件
- インポート



集計条件を選択すると、集計条件リスト画面が表示されます。




インポートを選択するとインポート画面が表示されます。

8.1. 集計条件リスト

フォルダリストから集計を選択すると、集計条件リスト画面が表示されます。集計条件リスト画面には、保存した集計条件の登録名等が表示されます。

集計条件リスト

3件中1 - 3件目 1

<input type="checkbox"/>	登録名 [▼/▲]	概要 [▼/▲]	更新者 [▼/▲]	所有者 [▼/▲]	更新日 [▼/▲]
<input type="checkbox"/>	 レポート用		admin	administrators	2013/09/19 14:10:29
<input type="checkbox"/>	 WEBアクセス アクセスページ集計		admin	administrators	2013/09/19 14:10:29
<input type="checkbox"/>	 特定ファイルへのアクセス集計		admin	administrators	2013/09/19 14:10:29

3件中1 - 3件目 1

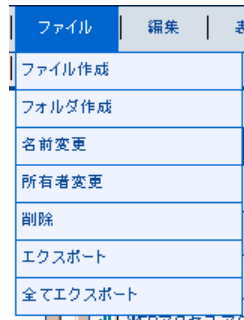
以下に集計条件リスト画面の表示項目と表示内容について説明します。

表示項目	表示内容
登録名	登録(保存)されている集計条件の名前(集計条件名)を示します。
概要	集計条件の概要を示します。
更新者	集計条件を作成したユーザ名を示します。
所有者	集計条件の所有者であるグループ名を示します。
更新日	集計条件を作成した日時を示します。

表示項目「所有者」は管理者グループ(administrators)のユーザ以外では表示しません。

集計条件リスト画面では、集計条件に対してメニューから操作することができます。

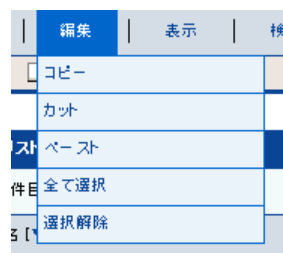
以下に集計条件リスト表示中のメニュー項目(ファイル)に表示される項目と操作内容について記載します。



項目	操作内容
ファイル作成	集計条件を作成します。
フォルダ作成	集計条件を分類する、フォルダを作成します。
名前変更	集計条件リスト画面に表示される、集計条件の登録名を変更します。
所有者変更	集計条件リスト画面に表示される、集計条件の所有者を変更します。
削除	集計条件を削除します。
エクスポート	選択した集計条件をエクスポートします。
全てエクスポート	登録されている全ての集計条件をエクスポートします。

表示項目「所有者変更」は管理者グループ(administrators)のユーザ以外では表示しません。

以下に集計条件リスト表示中のメニュー項目(編集)に表示される項目と操作内容について記載します。



項目	操作内容
コピー	集計条件をコピーする為、選択した集計条件をメモリに記憶します。
カット	集計条件を移動する為、選択した集計条件をメモリに記憶します。
ペースト	メモリ上にある集計条件を作成します。
全て選択	表示されている全ての集計条件を選択します。
選択解除	選択されている全ての集計条件の選択を解除します。

以下に集計条件リスト表示中のメニュー項目(表示)に表示される項目と操作内容について記載します。



項目	操作内容
更新	集計条件リスト画面での集計条件の表示内容を更新します。
表示数 20 件	集計条件リスト画面での集計条件の表示数を 20 件に変更します。
表示数 50 件	集計条件リスト画面での集計条件の表示数を 50 件に変更します。
表示数 100 件	集計条件リスト画面での集計条件の表示数を 100 件に変更します。

以下に集計条件リスト表示中のメニュー項目(検索)に表示される項目と操作内容について記載します。



項目	操作内容
ファイル検索	登録されている集計条件の名前を検索します。

8.2. 集計対象設定タブ

集計条件リスト画面から集計条件を選択するか、集計条件リスト画面でメニューから[ファイル]を選択し[ファイル作成]を選択した場合は、選択した集計条件または新規の集計条件が表示されます。

集計条件では、以下のタブが表示されます。

- 集計対象設定タブ
- 集計条件設定タブ
- 表出力結果タブ
- グラフ設定タブ
- グラフ出力結果タブ

表出力結果タブ及びグラフ出力結果タブは、それぞれ表出力及びグラフ出力を実行する前は非活性(選択不可)となっています。また、設定した集計条件は登録(保存)することができます。集計条件を登録(保存)する場合は、メニューから[ファイル]を選択し、[名前を付けて保存]又は[上書き保存]を選択します。

この章では集計対象設定タブについて説明します。

集計対象設定タブでは、ログを集計する為の各種条件の入力や、設定した集計条件でログの表集計やグラフ集計を実行することができます。

集計対象設定タブでの設定項目は以下の通りです。

番号	設定項目／ボタン	設定／表示／実行内容
1	LogGate グループ	集計対象とする LogGate グループを選択します。
2	検索条件の作成方法	集計対象とするログを絞り込むための条件を設定します。 新規: 集計対象とするログを絞り込むための条件を新たに設定します。 指定: 既に作成された検索条件から集計対象とするログを絞り込むための条件を指定します。
3	期間指定	ログを検索する際の期間を設定します。
4	検索条件	集計対象とするログを絞り込むための条件を設定します。 検索条件で既に作成された検索条件を指定した場合は、指定した検索条件の検索条件が表示されます。 設定内容は「7.2.2.検索条件」をご覧ください。
5	表出力	入力された条件に基づいて表集計を実行します。 集計結果は表出力結果タブに表示されます。
6	グラフ出力	入力された条件に基づいてグラフ集計を実行します。 集計結果はグラフ出力結果タブに表示されます。
7	CSV	集計結果を CSV 形式でダウンロードします。 表集計又はグラフ集計実行後に有効になります。
8	キャンセル	集計条件の編集をキャンセルし、集計条件リスト画面を表示します。

8.3. 集計条件設定タブ

集計条件設定タブでは、集計した結果を表として表示する為の設定や、設定した集計条件でログの表集計やグラフ集計を実行することができます。

集計条件設定タブでの設定項目は以下の通りです。

集計条件名: 集計条件1

概要:

集計対象設定 集計条件設定 表出力結果 グラフ設定 グラフ出力結果

(1) 行 (3) 系列1 (5) 列1

時間 タグ -- アプリケーション --

行の設定: 時間

(2) タイトル: 集計間隔: 1 時間 詳細非表示 ☐ 日付(時間)を省略表示する ソート: 昇順 行表示: 10 行表示 100 より大きい 1000 より小さい

系列1の設定: タグ

(4) タイトル: タグ: -- 型: 文字列 表示形式: 標準 ソート: 系列昇順

列1の設定: アプリケーション

(6) タイトル: 詳細非表示 種別: 件数 ソート: 無し

(7) 10件表示レベル: バランス表示 ☐ 総合計を集計 (9) 小数点以下の桁数: (8) 0 %表示 (10) ☐ タグ無し集計: (値無し) ☐ 項目別集計 (11)

(16) 表出力 グラフ出力 CSV出力 キャンセル

(12) (13) (14) (15)

番号	設定項目	設定／表示／実行内容
1	行の項目	<p>行として設定する項目を選択します。</p> <p>[時間] [時間(集約)] [アプリケーション] [アクション] [ログソース] [プライオリティ] [ファシリティ] [タグ] のいずれかを選択します。</p> <p>「行の項目」、「列の項目」、「系列の項目」に同じ項目を設定することはできません。</p> <p>なお、[時間(集約)]を選択した場合、時間の連続性は無視され、表の行は集計間隔の時間単位(1~12:月、1~31:日、0~23:時、0~59:分・秒)となります。</p>
2	行の設定(タイトル)	<p>集計結果に表示する行のタイトルを入力します。</p> <p>入力は任意です。(未入力でも表を出力することができます。)</p>
	行の設定(タグ種類)	<p>行に設定するタグを選択します。</p> <p>行の項目に[タグ]を設定した場合に設定します。</p>
	行の設定(集計間隔)	<p>1 行として集計する時間間隔を設定します。</p> <p>数字と単位を入力します。単位は [月間] [週間] [日間] [時間] [分間] [秒間] から選択します。</p> <p>行の項目に [時間] 又は [時間(集計)] を設定した場合に設定します。</p>
	行の設定(日付(時間)の省略表示)	<p>集計結果の行に日付を表示するかどうかを設定します。</p> <p>有効の場合、各行には時間のみが表示されます。</p> <p>無効の場合、各行には日付と時間が表示されます。</p> <p>行の項目に[時間]を設定した場合に設定します。</p>
	行の設定(ソート)	<p>この設定項目は詳細設定を選択すると表示されます。</p> <p>集計結果の行のソート条件を[行昇順][行降順][集計値昇順][集計値降順]から選択します。(但し、列の詳細(項目別集計)が有効の場合は[行昇順][行降順]から選択します。)</p> <p>[行昇順] [行降順] を選択した場合、行名の UNICODE 順にソートします。</p> <p>[集計値昇順] [集計値降順] を選択した場合、1 列目の値を行内の全系列に対して合計した値でソートします。値の同じ行が複数ある場合は、それらの行に対しては行昇順又は行降順でソートします。値の同じ行が複数あり、複数列集計を指定している場合は、それらの行に対しては 2 列目の全系列に対して合計した値で集計値昇順又は集計値降順でソートします。</p>

番号	設定項目	設定／表示／実行内容
2	行の設定(行フィルター)	<p>この設定項目は詳細設定を選択すると表示されます。</p> <p>集計結果として表示する行のフィルターを設定します。</p> <p>設定した行の設定(ソート)に従って、上から順に表示する行数を指定します。複数の行が同一の値を持つ場合は、その同一の値を持つ行の数に関係なく先頭から順番に指定した行数分を表示します。(例:結果が20行あり、行フィルター10行表示で20行が全て同一の値の場合は、行ソートに従って先頭から同一の値を持つ10行を表示します。)</p> <p>行の合計値チェックボックスを有効にした場合は、1行中の単一又は複数列の合計値が、設定した条件にマッチした行のみを表示します。設定できる条件は、[より大きい][以上][より小さい][以下][等しい][等しくない]から選択します。また、AND条件による範囲指定もできます。</p> <p>1行中の系列の値を対象としたフィルターはできません。</p> <p>また、列の設定(列フィルター)が有効の場合は非活性となります。</p>
3	系列の項目	<p>系列として設定する項目を選択します。系列を設定すると行の項目を更に区分して集計することができます。</p> <p>[時間(集約)][アプリケーション][アクション][ログソース][プライオリティ][ファシリティ][タグ]のいずれかを選択します。</p> <p>系列の項目は複数設定することができます。</p> <p>「行の項目」、「列の項目」、「系列の項目」に同じ項目を設定することはできません。</p>
	追加系列の項目	系列を追加する場合に設定します。
4	系列の設定(タイトル)	<p>集計結果に表示する系列のタイトルを入力します。</p> <p>入力はオプションです。(未入力でも表を出力することができます。)</p>
	系列の設定(集計間隔)	<p>系列の項目に[時間(集計)]を設定した場合に設定します。</p> <p>1行として集計する時間間隔を設定します。</p> <p>数字と単位を入力します。単位は[月間][週間][日間][時間][分間][秒間]から選択します。</p>
	系列の設定(タグ種類)	<p>系列に設定するタグを選択します。</p> <p>系列の項目に[タグ]を設定した場合に設定します。</p>
	型	型は文字列かIPv6を選択します。
	表示形式	<p>文字列の表示形式は標準(文字列表示そのまま)です。</p> <p>IPv6の表示形式は、標準・固定長・ゼロ圧縮を選ぶことができます。</p> <p>「ff02:0000:0000:0000:0000:0000:0002」に対して</p> <p>標準は「ff02:0:0:0:0:0:2」となります。</p> <p>固定長は「ff02:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0002」となります。</p> <p>ゼロ圧縮は「ff02::2」となります。</p>

番号	設定項目	設定／表示／実行内容
4	系列の設定(ソート)	<p>集計結果の行内の系列のソート条件を[系列昇順][系列降順][集計値昇順][集計値降順]から選択します。(但し、列の詳細(項目別集計)が有効の場合は[系列昇順][系列降順]から選択します。)</p> <p>[系列昇順][系列降順]では系列名の UNICODE でソートします。(全ての行に対して同一の順序で表示されます。)</p> <p>[集計値昇順][集計値降順]では、系列の値順にソートします。(それぞれの行に対して系列の値の昇順又は降順で表示されます。)値が同じ系列が複数ある場合は、それらの系列に対しては系列昇順又は降順で表示されます。値の同じ系列が複数あり、複数列集計を指定している場合は、それらの系列に対しては 2 列目の値を基に集計値昇順又は集計値降順で表示します。</p>
5	列の項目	<p>列として設定する項目を選択します。</p> <p>[アプリケーション][アプリケーション][ログソース][プライオリティ][ファシリティ][タグ]のいずれかを選択します。</p> <p>列の項目は複数設定することができます。</p> <p>「行の項目」、「列の項目」、「系列の項目」に同じ項目を設定することはできません。</p>
	追加列の項目	列を追加する場合に設定します。
6	列の設定(タイトル)	<p>集計結果に表示する列のタイトルを入力します。</p> <p>入力はオプションです。(未入力でも表を出力することができます。)</p>
	列の設定(タグ種類)	<p>列の項目に[タグ]を設定した場合に設定します。</p> <p>列に設定するタグの種類を設定します。</p>

番号	設定項目	設定／表示／実行内容
6	列の設定(種別)	<p>この設定項目は詳細設定を選択すると表示されます。</p> <p>列の項目に「ブラオリティ」又は「タグ」を選択し、かつ、項目別集計が無効の場合に設定することができます。</p> <p>集計結果の列の値に対して集約関数を適用するかどうかを設定します。</p> <p>種別を設定する場合、「件数」「平均」「最大」「最小」「合計」「標準偏差」から選択します。</p> <p>「件数」を選択した場合は列の値にログの件数を表示します。</p> <p>「最大」「最小」を選択した場合は、ログが出力された列の項目の中で、項目名が最大または最小となる項目名を列の値に表示します。</p> <p>「平均」「合計」を選択した場合は、ログが出力された件数と項目名の積を計算し、列の値に平均または合計を表示します。</p> <p>「標準偏差」を選択した場合は、列の値にログが出力された列の項目の中での、標準標準偏差を表示します。</p> <p>なお、列の項目に「タグ」を選択する場合は、「タグ」の値が数値として評価できる「タグ」を選択する必要があります。</p>
	列の設定(ソート)	<p>この設定項目は詳細設定を選択すると表示されます。</p> <p>「項目別集計」を有効にした場合に設定することができます。</p> <p>列のソート条件を「列昇順」「列降順」「集計値昇順」「集計値降順」から選択します。</p> <p>「列昇順」「列降順」を選択した場合は、列の各項目の項目名の UNICODE でソートします。</p> <p>「集計値昇順」「集計値降順」を選択した場合は、列の各項目の集計値でソートします。集計値が同じ項目が複数ある場合は、それらの項目に対しては、列昇順/降順で表示します。</p> <p>なお、この設定項目が非活性の場合は、列昇順となります。</p>

番号	設定項目	設定／表示／実行内容
6	列の設定 (列フィルター)	<p>この設定項目は詳細設定を選択すると表示されます。</p> <p>[項目別集計]を有効にした場合に設定することができます。</p> <p>集計結果として列として表示する各項目のフィルターを設定します。</p> <p>設定した列の設定(ソート)に従って、左から順に表示する列数を指定します。複数の列が同一の値を持つ場合は、その同一の値を持つ列の数に関係なく先頭から順番に指定した列数分を表示します。(例:結果が10列あり、列フィルター5列表示で10列が全て同一の値の場合は、列ソートに従って先頭から同一の値を持つ5列を表示します。)</p> <p>列の合計値チェックボックスを有効にした場合は、1列中の単一又は複数行の合計値が、設定した条件にマッチした列のみを表示します。設定できる条件は、[より大きい][以上][より小さい][以下][等しい][等しくない]から選択します。また、AND条件による範囲指定もできます。</p> <p>また、行の設定(行フィルター)が有効の場合は非活性となります。</p> <p>列を複数設定した場合は使用できません。</p>
7	「0件」表示レベル	<p>集計結果が0件である行又は系列を表示するかどうかを設定します。</p> <p>[表示しない][バランス表示][表示する]から選択します。</p> <p>表示しない : 行の中で0件の行又は系列を表示しません。この設定は項目別集計の場合に列も非表示の対象になります。また、単独・複数列は対象になりません。</p> <p>バランス表示: 設定した系列のうち、全ての行内で0件となる系列の行を表示しません。1行でも0件以外の行があれば、全ての行に対してその系列を表示します。なお、系列が設定されていない場合は、表示しないを選択した場合と同じ出力結果となります。項目別集計、単独・複数列は共に対象になりません。</p> <p>表示する : 行の中で0件の行又は系列を表示します。(全ての行又は系列を表示します。)</p> <p>この設定項目の設定内容別の集計結果については「8.4.4. 「0件」表示レベルの設定について」をご覧ください。</p>
8	小数点以下の桁数	集計結果の列の値に表示する小数点の桁数を設定します。
9	総合計を集計	<p>集計結果に列の総合計を表示するかどうかを設定します。</p> <p>有効: 列ごとの総合計を表示します。</p> <p>無効: 列ごとの総合計を表示しません。</p>
10	%表示	<p>集計結果の列の値を割合で表示するか件数で表示するかを設定します。</p> <p>有効: 列の値を列の総合計に対する割合で表示します。</p> <p>無効: 列の値を件数で表示します。</p>

番号	設定項目	設定／表示／実行内容
11	項目別集計	<p>列として設定した項目を項目別に集計するかどうかを設定します。</p> <p>例えば、列をログソースにした場合、項目別集計を有効にするとログソース毎の列を作り、項目別集計を無効にすると全ログソースを合計した列を作ります。</p> <p>有効：項目毎に列を作り、各列には項目毎に集計した値を表示します。</p> <p>無効：列に全ての項目の集計値を表示します。</p> <p>列を複数設定した場合は表示されません。</p>
12	表出力	<p>入力された条件に基づいて表集計を実行します。</p> <p>集計結果は表出力結果タブに表示されます。</p>
13	グラフ出力	<p>入力された条件に基づいてグラフ集計を実行します。</p> <p>集計結果はグラフ出力結果タブに表示されます。</p>
14	CSV 出力	表出力結果を CSV 出力します。
15	キャンセル	集計条件の編集をキャンセルし、集計条件リスト画面を表示します。
16	タグ無し集計	<p>タグが無いログも集計結果にカウントするかの設定です。タグ無しには 2 種類あります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・値無し ...タグの値が空(若しくは半角スペースのみ)及び値出力が無いログをカウント ・タグ無し ...値無し及び該当するタグ定義が無いログ双方を合せてカウント

8.4. 表出力結果タブ

集計対象設定タブまたは集計条件設定タブの表出力ボタンから実行された集計結果は、表出力結果タブに表示されます。この章では集計対象設定タブ及び集計条件設定タブでの各種設定内容と出力例を記載します。

8.4.1. 集計結果出力例 1

<設定内容(集計対象設定タブ)>

設定項目	設定内容
期間指定	2013 年 9 月 24 日 0 時 0 分 0 秒から 2013 年 9 月 24 日 10 時 59 分 59 秒

<設定内容(集計条件設定タブ)>

行	系列 1		列
			アプリケーション
時間	ログソース	--	

設定項目		設定内容
行の設定:時間	タイトル	時間
	集計間隔	1 時間
	日付(時間)を省略表示する	有効
	ソート	行降順
	行フィルター	無効
系列 1 の設定: ログソース	タイトル	クライアント
	ソート	系列昇順
列の設定:プライオリティ	タイトル	アプリケーション
	ソート	列昇順
	列フィルター	無効
「0 件」表示レベル		表示する
小数点以下の桁数		0
タグなし集計		無効
総合計を集計		無効
%表示		無効
項目別集計		有効

<出力例>

時刻	クライアント	アプリケーション	
		(other)	IVEX Logger
(24)00:00	Client1	0	0
01:00	Client1	0	0
02:00	Client1	0	0
03:00	Client1	0	0
04:00	Client1	0	0
05:00	Client1	0	0
06:00	Client1	0	0
07:00	Client1	0	0
08:00	Client1	0	278
09:00	Client1	0	74
10:00	Client1	0	855

8.4.2. 集計結果出力例 2

< 設定内容(集計対象設定タブ) >

設定項目		設定内容
期間指定		2013 年 9 月 24 日 0 時 0 分 0 秒から 2013 年 9 月 24 日 10 時 59 分 59 秒
検索条件	アプリケーション	IVEX Logger
	補助条件	--
	アクション	全て

< 設定内容(集計条件設定タブ) >

行	系列 1		列
			ログソース
時間	タグ	--	

設定項目		設定内容
行の設定: 時間	タイトル	時間
	集計間隔	1 時間
	日付(時間)を省略表示する	有効
	ソート	行昇順
	行フィルター	無効
系列 1 の設定: タグ	タイトル	ポート番号
	タグの値	ポート番号
	ソート	系列昇順
列の設定: ログソース	タイトル	アクセス数
	ソート	列昇順
「0 件」表示レベル		表示しない
小数点以下の桁数		0
タグなし集計		無効
総合計を集計		無効
%表示		無効
項目別集計		無効

<出力例>

時刻	ポート番号	アクセス数
		件数
08:00	443	9
	55390	1
	80	72
09:00	80	30
10:00	443	27
	49970	1
	56666	1
	80	149

8.4.3. 種別を設定した場合の出力例

以下に種別を設定した場合の出力例を記載します。

下記の＜設定内容＞(「8.4.2.集計結果出力例 2」の系列 1 を削除し、列にタグ(ポート番号)を指定した)に対して、各種別を設定した場合の出力例です。

＜設定内容(集計対象設定タブ)＞

設定項目		設定内容
期間指定		2013 年 9 月 24 日 0 時 0 分 0 秒から 2013 年 9 月 24 日 10 時 59 分 59 秒
検索条件	アプリケーション	IVEX Logger
	補助条件	--
	アクション	全て

＜設定内容(集計条件設定タブ)＞

行		列
		タグ
時間	--	

設定項目		設定内容
行の設定:時間	タイトル	時間
	集計間隔	1 時間
	日付(時間)を省略表示する	有効
	ソート	行昇順
	行フィルター	無効
列の設定:タグ	タイトル	ポート番号
	タグの値	ポート番号
	種別	下記出力例を参照
「0 件」表示レベル		表示しない
小数点以下の桁数		0
タグなし集計		無効
総合計を集計		無効
%表示		無効
項目別集計		無効

(出力例 1)種別に[件数]を設定した場合

時区	ボート番号
	件数
08:00	82
09:00	30
10:00	178

時間帯毎に全てのタグの値(発生件数)を合計した値が出力されます。

(出力 2)種別に[最大]を設定した場合

時区	ボート番号
	最大
08:00	55390
09:00	80
10:00	56666

時間帯毎に出力された全てのタグのうち、最もタグの値が大きいタグ名を出力します。

(出力 3)種別に[最小]を設定した場合

時区	ボート番号
	最小
08:00	80
09:00	80
10:00	80

時間帯毎に出力された全てのタグのうち、最もタグの値が小さいタグ名を出力します。

(出力 4)種別に[平均]を設定した場合

時間	ボート番号
	平均
08:00	794
09:00	80
10:00	733

時間帯毎に全てのタグの値(タグ名×発生件数)を平均(タグ名×発生件数／総発生件数)した値が出力されます。

(出力 5)種別に[合計]を設定した場合

時間	ボート番号
	合計
08:00	65137
09:00	2400
10:00	130517

時間帯毎に全てのタグの値(タグ名×発生件数)を合計した値が出力されます。

(出力 6)種別に[標準偏差]を設定した場合

時間	ボート番号
	標準偏差
08:00	6105
09:00	0
10:00	5634

時間帯毎に全てのタグの値(タグ名×発生件数)の標準偏差が表示されます。

標準偏差は標本標準偏差を意味しています。母標準偏差ではありませんのでご注意ください。なお、標準偏差で標本となるタグの値が1件だけの場合、結果として0値が出力されます。

8.4.4.「0 件」表示レベルの設定について

「0 件」表示レベルの設定は、集計結果が 0 件である行又は系列を表中に表示するかどうかを設定する設定項目です。

「0 件」表示レベルの設定は[表示する][表示しない][バランス表示]から選択します。

この章では、「0 件」表示レベルの設定によって、どのような表が出力されるかの表示例を記載しています。集計表を作成する際の参考としてください。

8.4.4.1. 「0 件」表示レベルの設定内容による表の表示例

「0 件」表示レベルの設定内容によって出力される表の表示例を記載します。

＜設定例 1 「0 件」表示レベルを[表示する]に設定した場合(0 件の行を表示する)＞

(出力例 1)

「0 件」表示レベルが[表示する]となっているため、件数が「0」の行であっても表示します。

	件数
0	0
1	0
2	0
3	0
4	0
5	0
6	0
7	0
8	0
9	0
10	181
11	115
12	37
13	4
14	11
15	4
16	49
17	40
18	118
19	9
20	0
21	0
22	0
23	0

＜設定例 2 「0 件」表示レベルを[表示しない]に設定した場合(0 件の行を表示しない)＞

(出力例 2)

「0 件」表示レベルが[表示しない]に設定されているため、件数が「0」の行を表示しません。

	件数
10	181
11	115
12	37
13	4
14	11
15	4
16	49
17	40
18	118
19	9

「0 件」表示レベルを[表示しない]に設定した場合も[バランス表示]に設定した場合も同じ出力結果となります。

＜設定例 3 「0 件」表示レベルを[バランス表示]に設定した場合＞

(出力例 3)

「0 件」表示レベルが[バランス表示]に設定されているため、件数が「0」の行を表示しません。

	件数
10	181
11	115
12	37
13	4
14	11
15	4
16	49
17	40
18	118
19	9

「0 件」表示レベルを[表示しない]に設定した場合も[バランス表示]に設定した場合も同じ出力結果となります。

＜設定例 4 系列を設定し、「0 件」表示レベルを[表示する]に設定した場合＞

集計対象設定		集計条件設定		表出力結果		グラフ設定		グラフ出力結果	
行	系列1			列1					
時間(集約)	アクション	—		ログソース		—			
行の設定		時間(集約)							
		タイトル: <input type="text"/> 集計間隔: 1 時間 <input type="button" value="▼"/> 詳細設定							
系列1の設定:		アクション							
		タイトル: <input type="text"/> ソート: 系列昇順 <input type="button" value="▼"/>							
列1の設定:		ログソース							
		タイトル: <input type="text"/> 詳細設定							
「0件」表示レベル: <input type="button" value="表示する"/> <input type="button" value="▼"/> <input type="checkbox"/> 総合計を集計 小数点以下の桁数: <input type="button" value="0"/> <input type="checkbox"/> %表示 <input type="checkbox"/> タグ無し集計: <input type="button" value="値無し"/> <input type="button" value="▼"/> <input type="checkbox"/> 項目別集計									

(出力例 4)

「0 件」表示レベルが[表示する]に設定されているため、件数が「0 件」であるかどうかに関わらず、全ての行で全ての系列が表示されます。

	件数
0	(VEX Logger) Recording
	(VEX Logger) アプリケーション終了
	(VEX Logger) アプリケーション起動
	(VEX Logger) イベントログ
	(VEX Logger) ウィンドウタイトル
	(VEX Logger) ウェブ
	(VEX Logger) コピー
	(VEX Logger) コマンド
	(VEX Logger) ファイルコピー
	(VEX Logger) ファイル削除
	(VEX Logger) ファイル参照
	(VEX Logger) ファイル書込
	(VEX Logger) ファイル移動
	(VEX Logger) ベース
	(VEX Logger) ログイン
	(VEX Logger) ログオフ
	(VEX Logger) 切断
	(VEX Logger) 印刷
	(VEX Logger) 印刷終了
	(VEX Logger) 印刷開始
	(VEX Logger) 受信
	(VEX Logger) 送信
	(VEX Logger) 通信
	(other)
	(VEX Logger) Recording

＜設定例 5 系列を設定し、「0 件」表示レベルを[表示しない]に設定した場合＞

(出力例 5)

「0 件」表示レベルが[表示しない]に設定されているため、件数が「0 件」である系列は全て表示されません。件数が「0 件」以外の系列(行)のみを表示します。

		件数
8	IVEX Logger) アプリケーション終了	7
	IVEX Logger) アプリケーション起動	11
	IVEX Logger) ウィンドウタイトル	46
	IVEX Logger) ウェブ	106
	IVEX Logger) ファイル参照	73
	IVEX Logger) ファイル書込	37
	IVEX Logger) ペースト	1
	IVEX Logger) 通信	82
9	IVEX Logger) アプリケーション終了	3
	IVEX Logger) アプリケーション起動	2
	IVEX Logger) ウィンドウタイトル	13
	IVEX Logger) ウェブ	17
	IVEX Logger) ファイル参照	4
	IVEX Logger) ファイル書込	5
	IVEX Logger) 通信	30
	IVEX Logger) アプリケーション終了	14

「0 件」表示レベルを[表示しない]に設定した場合も[バランス表示]に設定した場合も同じ出力結果となります。

＜設定例 6 系列を設定し、「0 件」表示レベルを[バランス表示]に設定した場合＞

集計対象設定 | 集計条件設定 | 表出力結果 | グラフ設定 | グラフ出力結果

行	系列1	列1
時間(集約) ▼	アクション ▼	ログソース ▼

行の設定: 時間(集約)

タイトル:

集計間隔: 1 時間 ▼

詳細設定

系列1の設定: アクション

タイトル:

ソート: 系列昇順 ▼

列1の設定: ログソース

タイトル:

詳細設定

「0件」表示レベル: バランス表示 ▼ ☐ 総合計を集計

小数点以下の桁数: 0 ☐ %表示

☐ タグ無し集計: 値無し ▼ ☐ 項目別集計

(出力例 6)

「0 件」表示レベルが[バランス表示]に設定されているため、件数が「0 件」である系列は全て表示されません。件数が「0 件」以外の系列(行)のみを表示します。

	件数
8	IVEX Logger) アプリケーション終了
	IVEX Logger) アプリケーション起動
	IVEX Logger) ウィンドウタイトル
	IVEX Logger) ウェブ
	IVEX Logger) ファイルコピー
	IVEX Logger) ファイル削除
	IVEX Logger) ファイル参照
	IVEX Logger) ファイル書込
	IVEX Logger) ペースト
	IVEX Logger) ログイン
9	IVEX Logger) 通信
	IVEX Logger) アプリケーション終了
	IVEX Logger) アプリケーション起動
	IVEX Logger) ウィンドウタイトル
	IVEX Logger) ウェブ
	IVEX Logger) ファイルコピー
	IVEX Logger) ファイル削除
	IVEX Logger) ファイル参照
	IVEX Logger) ファイル書込
	IVEX Logger) ペースト
	IVEX Logger) ログイン
	IVEX Logger) 通信
	IVEX Logger) アプリケーション終了
	...

「0 件」表示レベルを[表示しない]に設定した場合も[バランス表示]に設定した場合も同じ出力結果となります。

8.4.4.2. 「0 件」表示レベル「表示しない」と「バランス表示」にした場合の出力結果

「0 件」表示レベルを[表示しない]に設定した場合と、[バランス表示]に設定した場合の出力結果は、基本的には同じ出力結果となります。しかし、行に設定した項目や、系列を指定した場合等によって、表示結果が異なる場合があります。

表示結果が異なるのは以下の場合です。

行に[時間]を指定した場合

＜「0 件」表示レベルを[表示しない]に設定した場合＞

0 件以外の行のみを表示します。(0 件となる行は表示しません。)

また、系列を設定した場合でも、0 件以外の行のみを表示します。(0 件となる行は表示しません。)

＜「0 件」表示レベルを[バランス表示]に設定した場合＞

全ての行を表中に表示します。(「0 件」表示レベルを[表示する]に設定した場合と同じ結果となります。)

ただし、系列を設定した場合は、全ての行で「0 件」となる系列を表示しません。(0 件以外の行がある系列を全ての行で表示します。)

「項目別集計」を有効にした場合

＜「0 件」表示レベルを[表示しない]に設定した場合＞

0 件以外の行・列のみを表示します。(0 件となる行は表示しません。)

＜「0 件」表示レベルを[バランス表示]に設定した場合＞

全ての列を表中に表示します。0 件以外の行を表示します。(0 件となる行は表示しません。)

以下に設定例と出力例を記載します。

＜設定例 1 行に[時間]を設定し「0 件」表示レベルを[表示しない]に設定した場合＞

集計対象設定 集計条件設定 表出力結果 グラフ設定 グラフ出力結果

行	列1
時間	ログソース

行の設定: 時間

タイトル:

集計間隔: 1 時間

詳細設定

列1の設定: ログソース

タイトル:

詳細設定

「0件」表示レベル: 表示しない ☐ 総合計を集計

小数点以下の桁数: 0 ☐ %表示

☐ タグ無し集計: 値無し ☐ 項目別集計

(出力例 1)

行に[時間]を指定した場合、全ての行を表中に表示します。

	件数
2013-09-24 08	363
2013-09-24 09	74
2013-09-24 10	893
2013-09-24 11	48

＜設定例 2 行に[時間]、系列を設定し「0 件」表示レベルを[表示しない]に設定した場合＞

集計対象設定 集計条件設定 表出力結果 **グラフ設定** グラフ出力結果

行	系列1	列1
時間	アクション	ログソース

行の設定: 時間
 タイトル:
 集計間隔: 1 時間
[詳細設定](#)

系列1の設定: アクション
 タイトル:
 ソート: 系列昇順

列1の設定: ログソース
 タイトル:
[詳細設定](#)

「0件」表示レベル: ☐ 総合計を集計
 小数点以下の桁数: 0 ☐ %表示
☐ タグ無し集計: ☐ 項目別集計

(出力例 1)

行に[時間]を指定した場合、全ての行を表中に表示します。

		件数
2013-09-24 08	IVEX Logger) アプリケーション終了	7
	IVEX Logger) アプリケーション起動	11
	IVEX Logger) ウィンドウタイトル	46
	IVEX Logger) ウェブ	106
	IVEX Logger) ファイル参照	73
	IVEX Logger) ファイル書き込	37
	IVEX Logger) ペースト	1
	IVEX Logger) 通信	82
2013-09-24 09	IVEX Logger) アプリケーション終了	3
	IVEX Logger) アプリケーション起動	2
	IVEX Logger) ウィンドウタイトル	13
	IVEX Logger) ウェブ	17
	IVEX Logger) ファイル参照	4
	IVEX Logger) ファイル書き込	5
	IVEX Logger) 通信	30
	IVEX Logger) アプリケーション終了	14

＜設定例 3 行に[時間]を設定し「0 件」表示レベルを[バランス表示]に設定した場合＞

The screenshot shows the '集計対象設定' (Data Collection Settings) tab. It includes a table for defining rows and columns, and a section for setting the display level and other options.

行		列1	
		ログソース	—
時間	—		

行の設定: 時間

タイトル:

集計間隔: 1 時間

[詳細設定](#)

列1の設定: ログソース

タイトル:

[詳細設定](#)

「0件」表示レベル: バランス表示 ☐ 総合計を集計

小数点以下の桁数: 0 ☐ %表示

☐ タグ無し集計: 値無し ☐ 項目別集計

(出力例 3)

行に[時間]を指定した場合、全ての行を表中に表示します。

	件数
2013-09-24 00	0
2013-09-24 01	0
2013-09-24 02	0
2013-09-24 03	0
2013-09-24 04	0
2013-09-24 05	0
2013-09-24 06	0
2013-09-24 07	0
2013-09-24 08	363
2013-09-24 09	74
2013-09-24 10	893
2013-09-24 11	48
2013-09-24 12	0

＜設定例 4 行に[時間]、系列を設定し「0 件」表示レベルを[バランス表示]に設定した場合＞

(出力例 4)

行に[時間]を指定し、更に系列を指定した場合、全ての行で件数が 0 件となる系列を表示しません。

2013-09-24 10	(VEX Logger) アプリケーション終了	14
	(VEX Logger) アプリケーション起動	35
	(VEX Logger) ウィンドウタイトル	72
	(VEX Logger) ウェブ	217
	(VEX Logger) ファイルコピー	2
	(VEX Logger) ファイル削除	2
	(VEX Logger) ファイル参照	308
	(VEX Logger) ファイル書込	63
	(VEX Logger) ペースト	1
	(VEX Logger) ログイン	1
2013-09-24 11	(VEX Logger) 通信	178
	(VEX Logger) アプリケーション終了	2
	(VEX Logger) アプリケーション起動	3
	(VEX Logger) ウィンドウタイトル	3
	(VEX Logger) ウェブ	0
	(VEX Logger) ファイルコピー	2
	(VEX Logger) ファイル削除	2
	(VEX Logger) ファイル参照	36
	(VEX Logger) ファイル書込	0
	(VEX Logger) ペースト	0
2013-09-24 12	(VEX Logger) ログイン	0
	(VEX Logger) 通信	0
	(VEX Logger) アプリケーション終了	0
	(VEX Logger) アプリケーション起動	0
	(VEX Logger) ウィンドウタイトル	0
	(VEX Logger) ウェブ	0
	(VEX Logger) ファイルコピー	0
	(VEX Logger) ファイル削除	0
	(VEX Logger) ファイル参照	0
	(VEX Logger) ファイル書込	0
	(VEX Logger) ペースト	0
	(VEX Logger) ログイン	0
	(VEX Logger) 通信	0
	(VEX Logger) アプリケーション終了	0

＜設定例 5 項目別集計を有効にし「0 件」表示レベルを[表示しない]に設定した場合＞

集計対象設定 集計条件設定 表出力結果 グラフ設定 グラフ出力結果

行	列1
時間(集約)	アクション

行の設定: 時間(集約)
 タイトル:
 集計間隔: 1 時間

列1の設定: アクション
 タイトル:

「0件」表示レベル: ☐ 総合計を集計
 小数点以下の桁数: 0 ☐ %表示
☐ タグ無し集計: ☐ 項目別集計

(出力例 5)

「項目別集計」を有効にした場合、0 件以外の行・列を表示します。

	IVEX Logger) アプリケーション終了	IVEX Logger) アプリケーション起動	IVEX Logger) ウィンドウタイトル	IVEX Logger) ウェブ	IVEX Logger) ファイルコピー	IVEX Logger) ファイル削除	IVEX Logger) ファイル移動
8	7	11	46	106	0	0	
9	3	2	13	17	0	0	
10	14	35	72	217	2	2	
11	2	3	3	0	2	2	

＜設定例 6 項目別集計を有効にし「0 件」表示レベルを[バランス表示]に設定した場合＞

集計対象設定 集計条件設定 表出力結果 グラフ設定 グラフ出力結果

行	列1
時間(集約) ▼	アクション ▼
— ▼	— ▼

行の設定: 時間(集約)

タイトル:

集計間隔: 1 時間 ▼

詳細設定

列1の設定: アクション

タイトル:

詳細設定

「0件」表示レベル: バランス表示 ▼ ☐ 総合計を集計

小数点以下の桁数: 0 ☐ %表示

☐ タグ無し集計: 値無し ▼ ☐ 項目別集計

(出力例 6)

「項目別集計」を有効にした場合、全ての列を表中に表示します。0 件以外の行を表示します。(0 件となる行は表示しません。)

	(IVEX Logger) Recording	(IVEX Logger) アプリケーション終了	(IVEX Logger) アプリケーション起動	(IVEX Logger) イベントログ	(IVEX Logger) ウィンドウタイトル	(IVEX Logger) ウェブ	(IVEX Logger) ...
8	0	7	11	0	46	106	
9	0	3	2	0	13	17	
10	0	14	35	0	72	217	
11	0	2	3	0	3	0	

8.5. グラフ設定タブ

グラフ設定タブでは、集計した結果をグラフとして表示する為の設定や、設定した集計条件でログの表集計やグラフ集計を実行することができます。

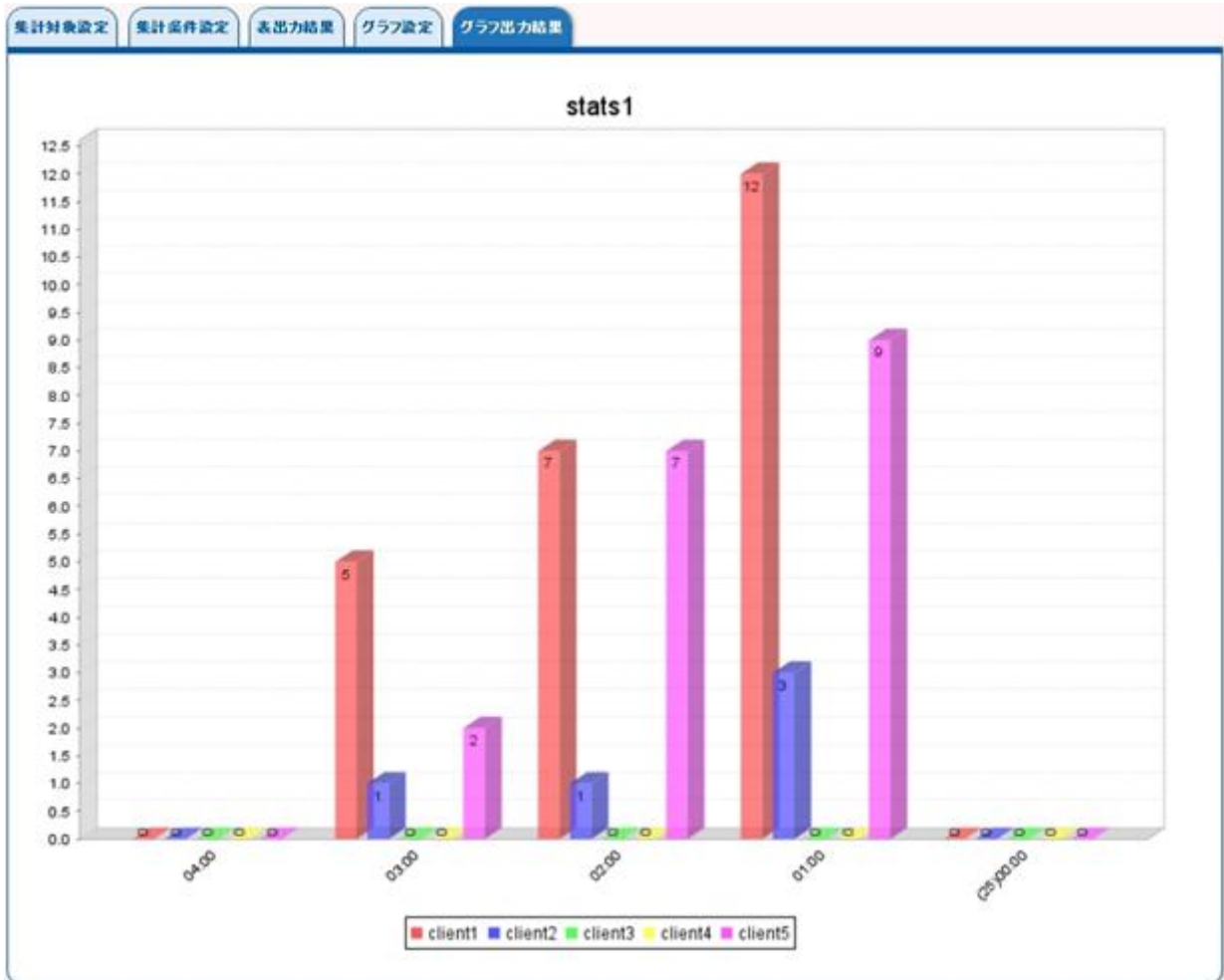
グラフ設定タブでの設定項目は以下の通りです。

番号	設定項目／ボタン	設定／表示／実行内容
1	グラフ種別	出力するグラフの種別を設定します。 グラフの種別は[棒グラフ形式][棒 & 折れ線グラフ形式][棒グラフ形式(スタック)][折れ線グラフ形式][折れ線グラフ形式(エリア)][円グラフ形式][円グラフ形式(3D)]から選択します。 [棒 & 折れ線グラフ形式]は列を複数設定した場合に表示されます。
2	データセット	グラフの軸として表示する列番号を選択します。 集計条件設定タブで[項目別集計]を有効にした場合は、グラフの横軸として表示する列番号を指定します。ここで設定する列番号とは集計結果での列番号となります。 集計条件設定タブで[項目別集計]を無効にした場合は、グラフの横軸に列の項目の各項目の値を集約した値が設定されます。 列を複数設定した場合は、グラフの横軸として表示する列番号を設定します。グラフの横軸には設定した列の項目の各項目の値を集約した値が設定されます。 グラフ種別で[棒 & 折れ線グラフ形式]を設定した場合は、データセット(棒)に棒グラフで表示する列を、データセット(折れ線)に折れ線グラフで表示する列を、それぞれ指定します。
3	グラフサイズ	グラフの表示サイズを入力します。

番号	設定項目／ボタン	設定／表示／実行内容
4	フォントサイズタイトル	タイトルのフォントサイズと軸のラベルサイズを指定します。
5	文字のアンチエイリアス	文字のアンチエイリアスを有効にします。
6	表出力	入力された条件に基づいて表集計を実行します。 集計結果は表出力結果タブに表示されます。
7	グラフ出力	入力された条件に基づいてグラフ集計を実行します。 集計結果はグラフ出力結果タブに表示されます。
8	CSV 出力	グラフを出力せずに集計結果を CSV 形式で出力します。 この設定項目は表出力が実行された後に表示されます。
9	キャンセル	集計条件の編集をキャンセルし、集計条件リスト画面を表示します。

8.6. グラフ出力結果タブ

集計対象設定タブまたは集計条件設定タブのグラフ出力ボタンから実行された集計結果は、グラフ出力結果タブに表示されます。この章では行列系列と表グラフの関係について記載します。

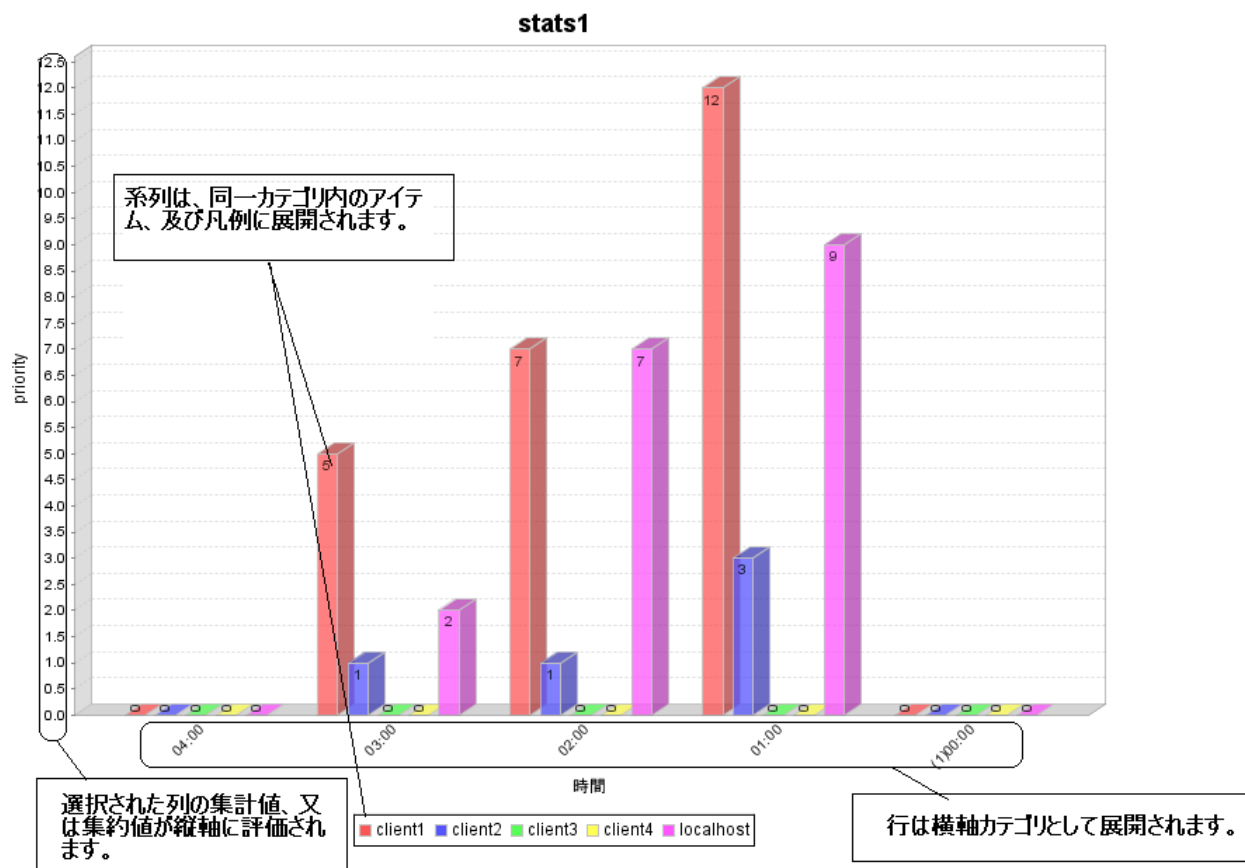


8.6.1. 行列系列と表グラフの関係

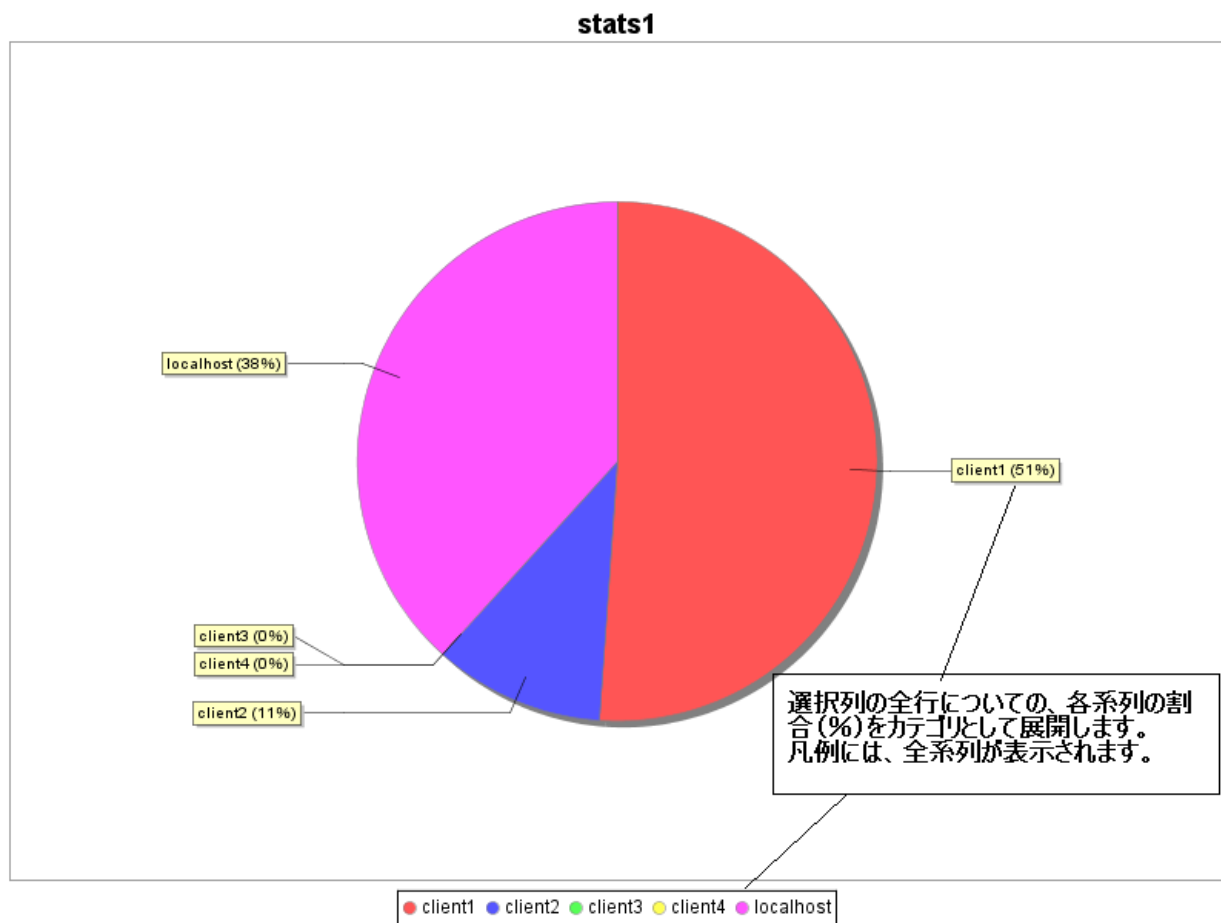
グラフ結果は、「集計条件設定」で指定する「行」「列」「系列」に対して以下のように対応します。

時間	系列名	priority
		件数
04:00	client1	0
	client2	0
	client3	0
	client4	0
	client5	0
03:00	client1	5
	client2	1
	client3	0
	client4	0
	client5	2

(棒グラフ、折れ線グラフ)



(円グラフの場合)



8.7. 集計の中断機能

集計対象設定タブ、集計条件設定タブ、グラフ設定タブで表出力またはグラフ出力ボタンを押下すると、設定した集計条件での集計処理が実行され、フォルダリストに以下の画面が表示されます。



集計処理中に STOP ボタンを押下すると集計処理を中断することができます。設定した集計条件によっては、集計処理に時間が掛かる場合があります。その場合は STOP ボタンで一度集計処理を中断し、条件を絞ってから再度集計処理を実行して下さい。



8.8. 表出力結果の NAN 及び NODATA

表出力結果の集計対象ログの中に数値以外の値(A や B などの文字列)が含まれていることがあります。その際、規定値では#NAN と表示します。この文字列は管理者により変更されることがあります。

表出力結果の集計対象ログが 1 件もないことがあります。その際、規定値では#NODATA と表示します。この文字列は管理者により変更されることがあります。#NAN や#NODATA が表示された場合は、集計条件設定タブに戻り、集計対象ログの中に数値が含まれる条件であるかを確認してから再実行してください。

集計対象設定

集計条件設定

表出力結果

グラフ設定

グラフ出力結果

注意:計算できない値がありました(NAN/NODATA)

	平均	合計	最大	件数
2003-08	#NAN	#NAN	#NAN	1
2003-09	#NODATA	0	#NODATA	0
2003-10	226	226	226	1
2003-11	#NODATA	0	#NODATA	0
2003-12	#NAN	#NAN	#NAN	2
2004-01	#NODATA	0	#NODATA	0
2004-02	113	338	283	3
2004-03	#NODATA	0	#NODATA	0
総合計	339	564	509	7

表出力

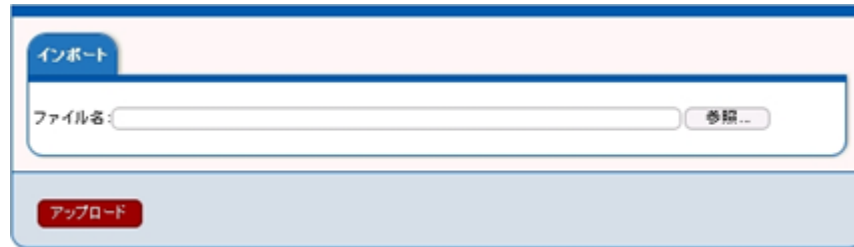
グラフ出力

CSV出力

キャンセル

8.9. インポートタブ(集計機能)

フォルダリストからインポートを選択すると、インポートタブが表示されます。



「参照」ボタンを選択して、インポートする集計条件のファイルを選択します。その後、アップロードボタンを選択します。アップロードボタンを選択後、以下の画面が表示されます。



画面に表示される集計条件からインポートする項目をチェックして、インポート項目確認へボタンを選択します。インポート時に登録済みの集計条件があった場合は、以下のような画面が表示されます。

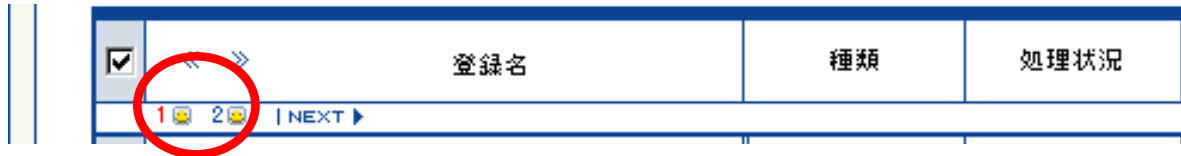


画面の各項目については、以下をご覧ください。

表示項目	内容
登録名	集計条件の名前です。
種類	登録名の種類を表します。ここでは集計条件が表示されます。
処理状況	登録済みの集計条件があった場合、その重複状況を表します。何も表示が無い項目は、不整合なし又は解決済みの項目です。

解決方法(マージ)	登録済みのフォルダーを利用します。(変更なし)解決方法(マージ)ボタンは、一括でマージする際のボタンです。集計条件のマージはできません。
解決方法(上書き)	登録済みの集計条件を上書きします。 解決方法(上書き)ボタンは、一括で上書きする際のボタンです。
解決方法(変更)	登録する集計条件を変更してインポートします。「自動」チェックボックスにチェックを入れると、重複する登録名の後ろに「(2)」のような形で順に番号を振って登録します。数字は2以降がつきます。 「指定」チェックボックスにチェックを入れると、指定した登録名や値で登録します。解決方法(変更)ボタンは、一括で自動変更する際のボタンです。

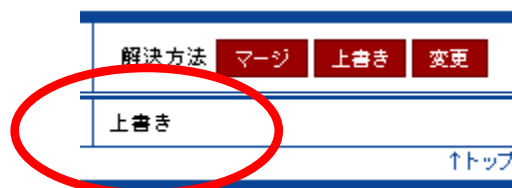
インポートする集計条件が多い場合は、「1 2 NEXT」の項目が表示されます。数字もしくは NEXT ボタンを押してページを移動することで、次のリストを見ることができます。数字の横のマークは、登録済みの集計条件と重複する項目やインポートの際に不整合となる項目があることを表します。それぞれのページへ移動して、重複を解決してください。



「>>」マークは、集計条件では使用できません。ログフォーマット定義などの子要素を持つ項目については子要素を一括で表示させたい場合に、「>>」マークを選択することで展開され、見ることができます。元の状態に戻す場合は「<<」マークを選択します。



管理者によってエクスポートされた集計条件のファイルには、意図的に解決方法を固定に設定した状態のファイルがあります。そのファイルをインポートすると、集計条件の解決方法を変更することができません。この設定は解除することができないため、変更可能にする場合は、管理者より変更可能なファイルを受け取る必要があります。



全ての項目に対して解決方法を選択後、インポート項目確認へボタンを押した後の画面は以下の通りです。インポートする内容に問題が無ければ、インポートボタンを選択します。インポートボタン選択後インポート完了のダイアログボックスが表示されます。

9. レポート機能(画面詳細説明)

レポート機能を使用する際に表示される画面の表示項目について説明しています。レポート機能を使用するにはフォルダリストから以下の項目のいずれかを選択します。

- レポート作成条件
- レポート作成履歴
- カスタムレポート定義



レポート作成条件を選択するとレポート作成条件リストが表示されます。

レポート作成履歴を選択するとレポート作成履歴リストが表示されます。

カスタムレポート定義を選択するとカスタムレポートリストが表示されます。

9.1. レポート作成条件リスト

フォルダリストからレポート作成条件を選択すると、レポート作成条件リスト画面が表示されます。レポート作成条件リスト画面には、保存したレポート作成条件の登録名やそのレポート作成条件の有効／無効等が表示されます。

レポート作成条件リスト						
1件中1 - 1件目 1						
<input type="checkbox"/>	有効	登録名 [▼/▲]	概要 [▼/▲]	更新者 [▼/▲]	所有者 [▼/▲]	更新日 [▼/▲]
<input checked="" type="checkbox"/>	-	レポート作成条件1		admin	administrators	2008/01/16 13:27:22
1件中1 - 1件目 1						

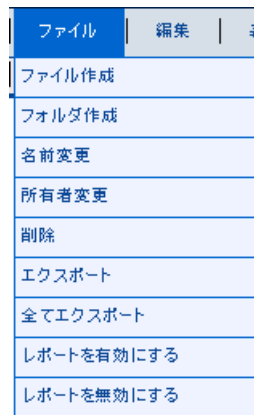
以下にレポート作成条件リスト画面の表示項目と表示内容について説明します。

表示項目	表示内容
有効	<p>レポート作成条件が有効となっているか、無効となっているかを表示します。</p> <p>レポート作成条件の起動タイミングタブでの起動タイミングが[定期]または[タイマー]の場合に表示されます。</p> <p>レポート作成条件の起動タイミングタブでの起動タイミングが[指定なし]の場合、有効欄には“－(ハイフン)”が表示されます。</p> <p>○: 現在そのレポート作成条件は有効でスケジューリングされており、設定している起動タイミングにあわせてレポートが作成されます。</p> <p>空欄: 現在そのレポート作成条件は無効でスケジューリングされておらず、設定している起動タイミングになってもレポートは作成されません。</p>
登録名	登録(保存)されているレポート作成条件の名前(レポート作成条件名)を示します。
概要	レポート作成条件の概要を示します。
更新者	レポート作成条件を作成したユーザ名を示します。
所有者	レポート作成条件の所有者であるグループ名を示します。
更新日	レポート作成条件を作成した日時を示します。

表示項目「所有者」は管理者グループ(administrators)のユーザ以外では表示しません。

レポート作成条件リスト画面では、レポート作成条件に対してメニューから操作することができます。

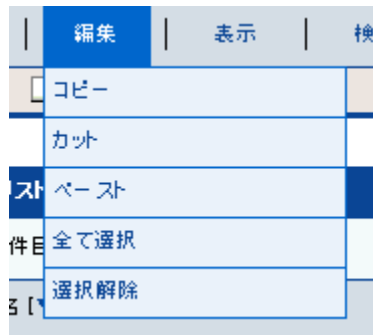
以下にレポート作成条件リスト表示中のメニュー項目(ファイル)に表示される項目と操作内容について記載します。



項目	操作内容
ファイル作成	レポート作成条件を作成します。
フォルダ作成	レポート作成条件を分類する、フォルダを作成します。
名前変更	レポート作成条件リスト画面に表示される、レポート作成条件の登録名を変更します。
所有者変更	レポート作成条件リスト画面に表示される、レポート作成条件の所有者を変更します。
削除	レポート作成条件を削除します。
エクスポート	選択したレポート作成条件をエクスポートします。
全てエクスポート	登録されている全てのレポート作成条件をエクスポートします。
レポートを有効にする	<p>選択したレポート作成条件を有効にします。</p> <p>有効となったレポート作成条件はスケジューリングされ、設定された起動タイミングでレポート作成を行います。</p> <p>選択したレポート作成条件の起動タイミングタブでの起動タイミングが[定期]または[タイマー]の場合に行うことができます。</p> <p>有効となったレポート作成条件では有効欄に“○”が表示されます。</p>
レポートを無効にする	<p>選択したレポート作成条件を無効にします。</p> <p>無効となったレポート作成条件のスケジューリングは中止されます。</p> <p>選択したレポート作成条件の起動タイミングタブでの起動タイミングが[定期]または[タイマー]の場合に行うことができます。</p> <p>無効となったレポート作成条件では有効欄が空欄になります。</p>

表示項目「所有者変更」は管理者グループ(administrators)のユーザ以外では表示しません。

以下にレポート作成条件リスト表示中のメニュー項目(編集)に表示される項目と操作内容について記載します。



項目	操作内容
コピー	レポート作成条件をコピーする為、選択したレポート作成条件をメモリに記憶します。
カット	レポート作成条件を移動する為、選択したレポート作成条件をメモリに記憶します。
ペースト	メモリ上にあるレポート作成条件を作成します。
全て選択	表示されている全てのレポート作成条件を選択します。
選択解除	選択されている全てのレポート作成条件の選択を解除します。

以下にレポート作成条件リスト表示中のメニュー項目(表示)に表示される項目と操作内容について記載します。



項目	操作内容
更新	レポート作成条件リスト画面でのレポート作成条件の表示内容を更新します。
表示数 20 件	レポート作成条件リスト画面でのレポート作成条件の表示数を 20 件に変更します。
表示数 50 件	レポート作成条件リスト画面でのレポート作成条件の表示数を 50 件に変更します。
表示数 100 件	レポート作成条件リスト画面でのレポート作成条件の表示数を 100 件に変更します。

以下にレポート作成条件リスト表示中のメニュー項目(検索)に表示される項目と操作内容について記載します。



項目	操作内容
ファイル検索	登録されているレポート作成条件の名前を検索します。

9.2. 起動タイミングタブ

レポート作成条件リスト画面からレポート作成条件を選択するか、レポート作成条件リスト画面でメニューから[ファイル]を選択し[ファイル作成]を選択した場合は、選択したレポート作成条件または新規のレポート作成条件が表示されます。

レポート作成条件では、以下のタブが表示されます。

- 起動タイミングタブ
- レポート内容タブ
- 出力タブ
- 保存期間設定タブ

レポート作成条件は登録(保存)することができます。レポート作成条件を登録する場合は、メニューから[ファイル]を選択し、[名前を付けて保存]又は[上書き保存]を選択します。

この章では起動タイミングタブについて説明します。

起動タイミングタブでは、レポートを作成するタイミング(日時や周期)や、作成するレポートに表示させる検索処理、集計処理の対象期間の設定を行います。

起動タイミングタブでの表示は、起動タイミングに選択した設定値により異なります。下記は起動タイミングで[指定なし]を選択した場合の表示内容です。

(1)

起動タイミング: 指定なし ▼

期間指定:

今日 今週 今月 今年
昨日 先週 先月 去年

2013 年 3 月 1 日 0 時 0 分 0 秒 から
2013 年 3 月 31 日 23 時 59 分 59 秒 まで

番号	設定項目／ボタン	設定／実行内容
1	起動タイミング	<p>レポートを作成するタイミング(日時や周期)を[指定なし][定期][タイマー]から選択します。</p> <p>[指定なし]を選択した場合、レポートはスケジューリング後に直ぐに作成(即時実行)されます。</p> <p>[定期]を選択した場合、レポートはスケジューリング後に設定された定期的なタイミングで作成(定期実行)されます。レポートを作成する時刻や周期、対象期間を設定します。</p> <p>[タイマー]を選択した場合、レポートはスケジューリング後に設定された日時に一度だけ作成(タイマ実行)されます。レポートを作成する日時を設定します。</p>

以降の章で、起動タイミングに[指定なし][定期][タイマー]を設定した場合の設定項目を説明します。

9.2.1. 起動タイミングが[指定なし]の場合

起動タイミングが指定なしの場合の設定項目は以下の通りです。

番号	設定項目／ボタン	設定／実行内容
1	対象期間	作成するレポートに表示させる検索処理、集計処理の対象期間を設定します。
2	実行	レポート作成条件をスケジューリングします。起動タイミングが[指定なし]の場合、スケジューリングされたレポート作成条件は即時実行されます。 登録(保存)されていないレポート作成条件でも、スケジューリングは行います。ただしレポート作成条件の登録(保存)は行いません。そのため、繰り返し実行する場合は、実行ボタンを押下する前にレポート作成条件を登録(保存)して下さい。登録(保存)されていないレポート作成条件で実行ボタンを押下した場合、設定したレポート作成条件を破棄し、新規のレポート作成条件が表示されます。
3	キャンセル	設定されたレポート作成条件の編集をキャンセルし、レポート作成条件リスト画面を表示します。

9.2.2. 起動タイミングが[定期]の場合

起動タイミングが[定期]の場合の設定項目は以下の通りです。

番号	設定項目／ボタン	設定／実行内容
1	範囲／実行時間／対象期間	定期的レポート作成を行う周期、実行日時及び対象期間を設定します。 周期は[毎日][毎週][毎月][毎時]から選択します。 実行日時及び対象期間の設定方法は周期に選択した設定値により異なります。
2	プレビュー	設定したレポート作成条件が次に実行される予定時間、及びその際に対象となる期間が表示されます。
3	実行	レポート作成条件を直ちに実行します。 起動タイミングが[定期]の場合でも、直ちに1度だけ実行されますが、設定内容の保存は行われません。 設定した内容で定期的に行う場合は、レポート作成条件を保存後、レポート作成条件リスト画面にて、レポート作成条件を有効にする必要があります。
3	キャンセル	設定されたレポート作成条件の編集をキャンセルし、レポート作成条件リスト画面を表示します。

起動タイミングが定期的の場合、レポートを作成する対象期間は以下のように決定します。

範囲が[毎日][毎週][毎月]の場合

レポート作成を行う前日までに周期が終わった直近の対象期間となります。レポート作成当日分のログを対象期間とすることはできません。

範囲が[毎時]の場合

レポート作成を行う時刻までに周期が終わった直近の対象期間となります。レポート作成当日分のログを対象期間とすることも可能です。

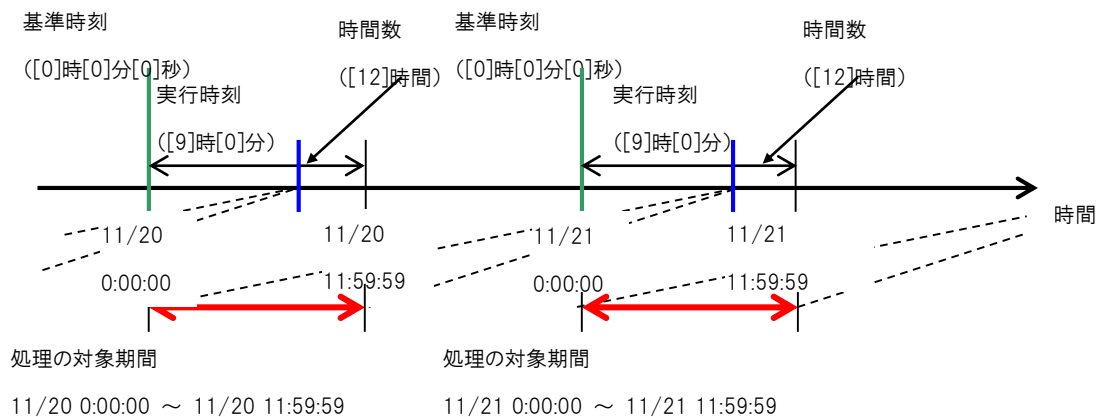


図 1 起動タイミングが[定期]の場合の処理対象期間 (範囲が[毎日][毎週][毎月]の場合) 1

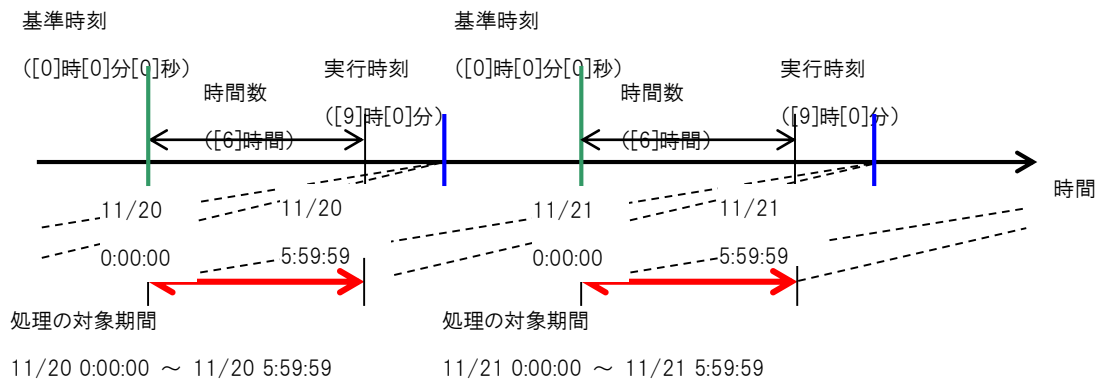


図 2 起動タイミングが[定期]の場合の処理対象期間 (範囲が[毎日][毎週][毎月]の場合) 2

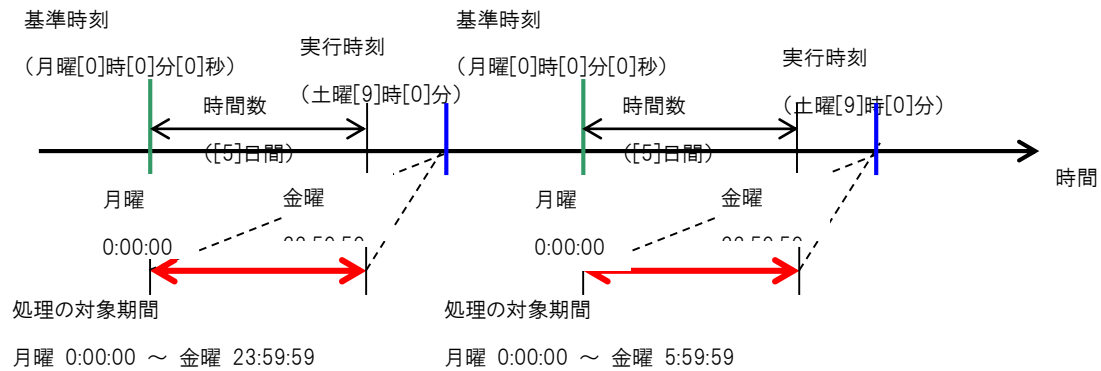


図 3 起動タイミングが[定期]の場合の処理対象期間 (範囲が[毎日][毎週][毎月]の場合) 3

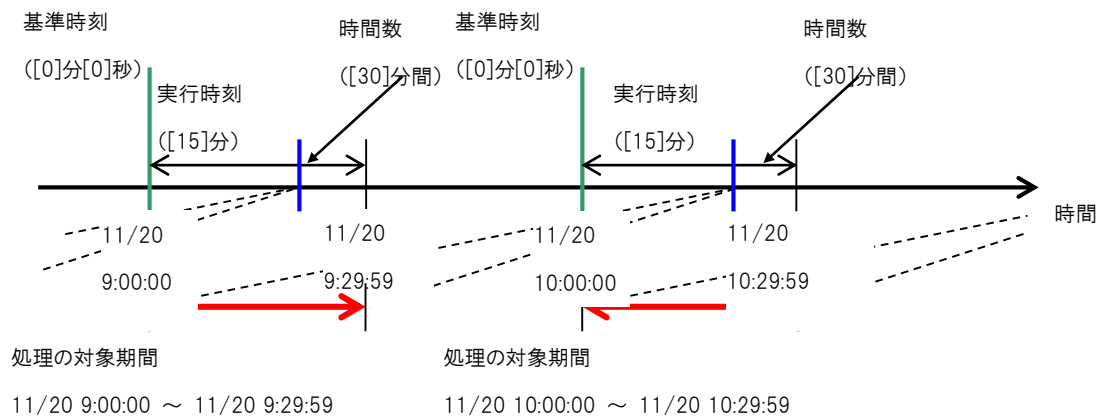


図 4 起動タイミングが[定期]の場合の処理対象期間 (範囲が[毎時]の場合) 1

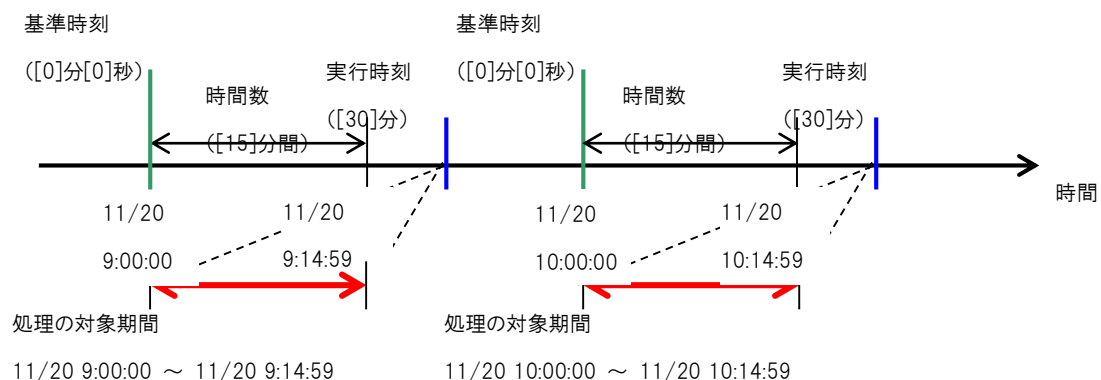


図 5 起動タイミングが[定期]の場合の処理対象期間 (範囲が[毎時]の場合) 2

以降に範囲に設定した設定値ごとの実行日時及び対象範囲の設定方法を記載します。

9.2.2.1. 範囲が[毎日]の場合

範囲を[毎日]に設定した場合の実行日時と対象範囲の設定内容は以下の通りです。

番号	設定項目	設定内容
1	実行時間	レポートを作成する開始時刻を入力します。 毎日、ここで設定された時刻にレポート作成が開始されます。
2	対象期間	作成するレポートに表示させる各処理の対象期間を設定します。 基準とする時刻、及び基準とする時刻から対象範囲とする時間数を設定します。

<設定例1>

設定項目	設定内容
実行時間	9 時 0 分実行
対象期間	0 時 0 分 0 秒から 12 時間

<設定例1>の場合、レポート作成は毎日 9 時 00 分に実行され、処理の対象期間は前日の 0 時 00 分 00 秒から前日の 11 時 59 分 59 秒までとなります。

<設定例2>

設定項目	設定内容
実行時間	9 時 0 分実行
対象期間	0 時 0 分 0 秒から 6 時間

<設定例2>の場合、レポート作成は毎日 9 時 00 分に実行され、処理の対象期間は前日の 0 時 00 分 00 秒から前日の 5 時 59 分 59 秒までとなります。

9.2.2.2. 範囲が[毎週]の場合

範囲を[毎週]に設定した場合の実行日時と対象範囲の設定内容は以下の通りです。

起動タイミング: 定期

範囲: 毎週

(1) 実行時間: 日曜日 0 時 0 分

(2) 対象期間: 1 週間前の 日曜日 0 時 0 分 0 秒 から 7 日間

プレビュー:

次の実行時間: 2013-03-10(日) 00:00:00

次の実行の対象期間: 2013-03-03(日) 00:00:00 から 2013-03-09(土) 23:59:59 まで

実行 キャンセル

番号	設定項目	設定内容
1	実行時間	レポートを作成する曜日と開始時刻を入力します。 毎週、ここで設定された曜日の時刻にレポート作成が開始されます。
2	対象期間	作成するレポートに表示させる各処理の対象期間を設定します。 基準とする曜日と時刻、基準とする曜日から対象範囲とする日数を設定します。

< 設定例 1 >

設定項目	設定内容
実行時間	月曜日 9 時 0 分実行
対象期間	月曜日 0 時 0 分 0 秒から 5 日間

上記の設定の場合、レポート作成は毎週月曜 9 時 00 分に実行され、処理の対象期間は前週の月曜の 0 時 00 分 00 秒から前週の金曜の 23 時 59 分 59 秒までとなります。

< 設定例 2 >

設定項目	設定内容
実行時間	土曜日 0 時 0 分実行
対象期間	月曜日 0 時 0 分 0 秒から 5 日間

上記の設定の場合、レポート作成は毎週土曜 0 時 00 分に実行され、処理の対象期間は今週月曜の 0 時 00 分 00 秒から今週金曜の 23 時 59 分 59 秒までとなります。

9.2.2.3. 範囲が[毎月]の場合

範囲を[毎月]に設定した場合の実行日時と対象範囲の設定内容は以下の通りです。

起動タイミング: 定期 ▼

範囲: 毎月 ▼

(1) 実行時間: 1 日 0 時 0 分

(2) 対象期間: 1 ヶ月前の 1 日 0 時 0 分 0 秒 から 1 ヶ月間

プレビュー:

次の実行時間: 2013-04-01(月) 00:00:00

次の実行の対象期間: 2013-03-01(金) 00:00:00 から 2013-03-31(日) 23:59:59 まで

実行 キャンセル

番号	設定項目	設定内容
1	実行時刻	レポートを作成する日時を入力します。 毎月、ここで設定された日時にレポート作成が開始されます。
2	対象期間	作成するレポートに表示させる各処理の対象期間を設定します。 基準とする日時、基準とする日時から対象範囲とする月数を設定します。

<設定例 1>

設定項目	設定内容
実行時刻	1 日 9 時 0 分実行
対象期間	1 日 0 時 0 分 0 秒から 1 ヶ月間

上記の設定の場合、レポート作成は毎月 1 日 9 時 00 分に実行され、処理の対象期間は前月 1 日の 0 時 00 分 00 秒から前月 31 日の 23 時 59 分 59 秒までとなります。

9.2.2.4. 範囲が[毎時]の場合

起動タイミング: 定期

範囲: 毎時

(1) 実行時間: 0 分

(2) 対象期間: 1 時間前の 0 分 0 秒 から 60 分間

プレビュー:

次の実行時間: 2013-03-04(月) 14:00:00

次の実行の対象期間: 2013-03-04(月) 13:00:00 から 2013-03-04(月) 13:59:59 まで

実行 キャンセル

番号	設定項目	設定内容
1	実行時間	レポートを作成する時刻(分)を入力します。 毎時間、ここで設定された時刻(分)にレポート作成が開始されます。
2	対象期間	作成するレポートに表示させる各処理の対象期間を設定します。 基準とする時刻(分)、基準とする時刻(分、秒)から対象範囲とする分数を設定します。

<設定例 1>

設定項目	設定内容
実行時間	15 分実行
対象期間	0 分 0 秒から 30 分間

上記の設定の場合、レポート作成は毎時 0 分に実行され、処理の対象期間は 1 時間前の 0 分 0 秒から 1 時間前の 29 分 59 秒までとなります。

9.2.3. 起動タイミングが[タイマー]の場合

起動タイミングが[タイマー]の場合の設定項目は以下の通りです。

番号	設定項目／ボタン	設定／実行内容
1	タイマー開始時間	レポート作成を行う日時を設定します。
2	対象期間	作成するレポートに表示させる検索処理、集計処理の対象期間を設定します。
3	実行	<p>レポート作成条件を 1 度だけスケジューリングします。起動タイミングが[タイマー]の場合でも、レポート作成条件はスケジューリング後、即時で実行されます。</p> <p>設定した日時で実行する場合は、レポート作成条件を保存後、レポート作成条件リスト画面にて、レポート作成条件を有効にする必要があります。</p> <p>レポート作成条件を登録(保存)していない場合、スケジューリングは行いますが、レポート作成条件の登録(保存)は行いません。そのため、レポート作成条件をレポート作成条件リスト画面に表示させる場合は、実行ボタンを押下する前にレポート作成条件を登録(保存)して下さい。登録(保存)されていないレポート作成条件で実行ボタンを押下した場合、設定したレポート作成条件を破棄し、新規のレポート作成条件が表示されます。</p>
4	キャンセル	設定されたレポート作成条件の編集をキャンセルし、レポート作成条件リスト画面を表示します。

9.3. レポート作成条件タブ

レポート作成条件タブでは、レポートを作成する検索条件、集計条件を設定します。

レポート作成条件タブでの設定項目は以下の通りです。

条件: 追加 (1)

(2) 条件区分: [] (3) 削除

登録名	概要	作成日	更新日	種類
検索条件1		2013/03/04 13:26:57	2013/03/04 13:26:57	検索条件

条件区分: [] 削除

登録名	概要	作成日	更新日	種類
集計条件1		2013/03/04 13:47:51	2013/03/04 13:47:51	集計条件

(5) 実行 (6) キャンセル

番号	設定項目／ボタン	設定／実行内容
1	条件 追加	レポートを作成する検索条件、集計条件を追加することができます。[追加]ボタンを押下することで作成条件のフィールドが追加されます。 複数の条件を指定した場合は、各条件の結果を1つのレポートとして作成します。
2	条件区分	レポートを作成する条件を指定します。 指定できる条件は既に登録(保存)している条件です。 また、レポートを作成する条件は必ず1つ以上を指定する必要があります。
3	削除	レポートを作成する条件として指定した条件を削除(レポートを作成する条件から外す)します。
4	作成条件	レポートを作成する条件として指定された条件を表示します。
5	実行	レポート作成条件をスケジューリングします。
6	キャンセル	設定されたレポート作成条件の編集をキャンセルし、レポート作成条件リスト画面を表示します。

9.4. 出力タブ

出力タブでは、レポートのファイル形式や出力先の設定、メールによる通知を行うかどうか等を設定します。

出力タブでの設定項目は以下の通りです。

(1) 出力フォーマット: logstHTML

(2) 出力先フォルダ: --

(3) 詳細設定: ☒
メモリサイズ: 256 MB
パラメータ:
出力ファイル名: ☒ システム既定値 (レポート名, 作成日, 作成者)
☐ 項目選択
☒ レポート名 ☐ 対象期間
☒ 作成日 ☐ 範囲(定期のみ)
☒ 作成者 ☐ レポートID
プレビュー:
reportName -20130304-135207-admin.html

(4) メールによる通知: --

(5) メール通知

(6) ☒ 成功時 ☐ 失敗時 ☐ レポートを添付する (7)

(8) To:
Subject:
本文:

(9) (10)

番号	設定項目／ボタン	設定／実行内容
1	出力フォーマット	<p>作成するレポートのファイル形式を指定します。</p> <p>選択できる項目とファイル形式は下記の通りです。</p> <p>HTML:HTML 形式</p> <p>PDF:PDF 形式</p> <p>CSV:CSV 形式</p> <p>TXT:テキスト形式</p> <p>XML:XML 形式</p> <p>カスタムレポートが登録されている場合、カスタムレポート名も表示され、カスタムレポート名を選択することもできます。</p>
2	出力先フォルダ	<p>作成したレポートの出力先フォルダを指定します。</p> <p>指定できるフォルダは事前にレポート作成履歴リスト画面で作成しておく必要があります。</p> <p>出力先フォルダが選択されていない場合は、レポート作成履歴リスト画面でフォルダに入らない状態で保存されます。</p>
3	詳細設定	<p>詳細設定をチェックすることで、レポートを作成するプロセスが使用できるメモリサイズの最大値及びプロセスへ与えるパラメータを設定できます。</p> <p>メモリサイズ:レポート作成プロセスが使用できるメモリサイズの最大値を設定します。既定値は 256MB です。</p> <p>パラメータ:レポート作成プロセスへ与えるパラメータを記載します。既定値は空欄です。通常は空欄のまま動作し、検証作業などでプロセスへパラメータを与える際に使用します。</p>
4	メールによる通知	<p>レポート作成処理完了時にメールによる通知を行うかどうかを設定します。</p> <p>メールによる通知を行う場合は、[メール通知を追加]を選択します。</p> <p>なお、メールによる通知は複数設定することができます。</p>
5	メール通知 削除	選択したメールによる通知を削除します。
6	メール送信の契機	<p>メールによる通知を行うタイミングを選択します。</p> <p>成功時を選択した場合、レポート作成条件のステータスが完了になったタイミングで行われます。</p> <p>失敗時を選択した場合、レポート作成条件のステータスが失敗もしくは中止ステータスになったタイミングで行われます。</p>
7	レポートを添付する	<p>メールによる通知にて送信されるメールに、作成したレポートを添付するかどうかを設定します。</p> <p>メール送信の契機で[失敗時]を選択した場合、レポートは添付されません。</p>

番号	設定項目／ボタン	設定／実行内容
8	メール内容	メールによる通知にて送信されるメールを記載します。 To:メールの宛先を入力します。 Subject:メールの件名を入力します。 本文:メールの本文を入力します。
9	実行	レポート作成条件をスケジューリングします。
10	キャンセル	設定されたレポート作成条件の編集をキャンセルし、レポート作成条件リスト画面を表示します。

9.5. 保存期間設定タブ

スケジューリングされたレポート作成条件は実行履歴を残しておくことができます。実行履歴はフォルダリストからレポート作成履歴を選択し、レポート作成履歴リスト画面で確認することができます。

保存期間設定タブでは、実行履歴を保存しておく期間を設定します。

実行履歴の削除は、履歴削除スケジュール設定に従い削除されます。履歴削除スケジュール設定を「削除しない」(デフォルト)に設定されている場合、実行履歴は削除されません。履歴削除スケジュール設定については、「IVEX Logger Viewer 運用マニュアル」の「20.4. レポート機能に関する設定」を参照してください。

保存期間設定タブでの設定項目は以下の通りです。

番号	設定項目／ボタン	設定／実行内容
1	レポート作成履歴 保存期間	レポート作成条件の実行履歴を保存する期間を設定します。 時間単位を[削除しない][時間][日間][ヶ月]から指定します。 時間単位に[削除しない]を指定した場合、当該レポート作成条件の実行履歴は自動的に削除されません。実行履歴を削除する場合はレポート作成履歴リスト画面で削除します。
2	実行	レポート作成条件をスケジューリングします。
3	キャンセル	設定されたレポート作成条件の編集をキャンセルし、レポート作成条件リスト画面を表示します。

9.6. レポート作成履歴

9.6.1. レポート作成履歴リスト

フォルダリストからレポート作成履歴を選択すると、レポート作成履歴リスト画面が表示されます。レポート作成履歴リスト画面には、スケジューリングされたレポート作成条件やレポート作成条件の実行結果などが表示されます。これらをレポート作成履歴と呼びます。レポート作成履歴リストには、自分と同じグループに所属するユーザが作成したレポート作成のレポート作成履歴のみが表示されます。

レポート作成履歴リスト								
2件中1 - 2件目 1								
<input type="checkbox"/>	登録名 [▼/▲]	概要 [▼/▲]	更新者 [▼/▲]	所有者 [▼/▲]	開始 [▼/▲]	終了 [▼/▲]	ステータス [▼/▲]	ファイル名
<input type="checkbox"/>	レポート1		admin	administrators	2008/01/16 13:43:03	2008/01/16 13:43:10	完了	080116-134224-7.html(2 KB)
<input type="checkbox"/>	レポート1		admin	administrators	2008/01/16 13:45:03	2008/01/16 13:45:07	完了	080116-134427-7.pdf(13 KB)
2件中1 - 2件目 1								

以下にレポート作成条件リスト画面の表示項目と表示内容について説明します。

表示項目	表示内容
登録名	レポート作成履歴の登録名を表示します。
概要	レポート作成履歴の概要を表示します。
更新者	レポート作成履歴の更新者を表示します。
所有者	レポート作成履歴の所有者を表示します。
開始	実行されたレポート作成履歴の開始時刻を表示します。 まだ実行されていないレポート作成履歴では表示されません。
終了	実行されたレポート作成履歴の終了時刻を表示します。 まだ実行されていないレポート作成履歴及び実行中のレポート作成履歴では表示されません。
ステータス	レポート作成履歴のステータスを表示します。 レポート作成履歴のステータスには[待機中][実行中][完了][中止][失敗]のステータスがあります。各ステータスの詳細は「9.6.2 ステータスについて」をご覧ください。
ファイル名	実行されたレポート作成履歴で作成されたレポートのファイル名を表示します。 ファイル名を押下することでダウンロードすることも可能です。 ただし、html 形式のファイルはそのままクリックすると、同じ画面上にレポート結果が表示されます。

表示項目「所有者」は管理者グループ(administrators)のユーザ以外では表示しません。

レポート作成履歴リスト画面では、表示されたレポート作成条件に対してメニューから操作することができます。

以下にレポート作成履歴リスト表示中のメニュー項目(ファイル)に表示される項目と操作内容について記載します。



項目	操作内容
フォルダ作成	レポート作成履歴を分類する、フォルダを作成します。
名前変更	使用できません。
所有者変更	レポート作成履歴の所有者であるグループを変更します。
削除	レポート作成履歴を削除します。

表示項目「所有者変更」は管理者グループ(administrators)のユーザ以外では表示しません。

以下にレポート作成履歴リスト表示中のメニュー項目(編集)に表示される項目と操作内容について記載します。



項目	操作内容
カット	レポート作成条件を移動する為、選択したレポート作成条件をメモリに記憶します。
ペースト	メモリ上にあるレポート作成条件を作成します。
全て選択	表示されている全てのレポート作成条件を選択します。
選択解除	選択されている全てのレポート作成条件の選択を解除します。

以下にレポート作成履歴リスト表示中のメニュー項目(表示)に表示される項目と操作内容について記載します。



項目	操作内容
更新	レポート作成履歴リスト画面でのレポート作成履歴の表示内容を更新します。
表示数 20 件	レポート作成履歴リスト画面でのレポート作成履歴の表示数を 20 件に変更します。
表示数 50 件	レポート作成履歴リスト画面でのレポート作成履歴の表示数を 50 件に変更します。
表示数 100 件	レポート作成履歴リスト画面でのレポート作成履歴の表示数を 100 件に変更します。

以下にレポート作成履歴リスト表示中のメニュー項目(検索)に表示される項目と操作内容について記載します。



項目	操作内容
ファイル検索	レポート作成履歴の名前を検索します。

9.6.2. ステータスについて

レポート作成履歴のステータスについては以下の 5 種類あります。

ステータス	詳細
待機中	<p>レポート作成条件がスケジューリングされているが、まだ実行されていない状態であることを示します。</p> <p>レポート作成条件に設定された起動タイミングがまだ到来していない場合に表示されます。</p> <p>また、レポート作成条件に設定された起動タイミングとなって、他のレポート作成の終了を待っている場合にも表示されます。</p>
実行中	<p>レポートの作成を行っている状態です。</p>
中止	<p>スケジューリングされたレポート作成条件を強制的に中断した状態であることを示します。</p> <p>起動タイミングが[定期]または[タイマー]のレポート作成条件を無効にした場合に表示されます。</p> <p>なお、レポート作成条件を再度有効にした場合は、レポート作成条件が新規にスケジューリングされます。</p>
失敗	<p>レポート作成条件の実行中に、何らかのエラーが発生した状態を示します。</p> <p>エラーの原因としては以下の原因等が考えられます。</p> <p>設定された起動タイミングに LogGate が起動していなかった。</p> <p>レポート作成条件の実行中に IVEX Logger Viewer が異常終了した。</p>
完了	<p>レポート作成が正常に完了した状態です。</p> <p>ファイル名欄に作成されたレポートのファイル名が表示されます。</p>

9.7. カスタムレポート定義


9.7.1. カスタムレポートリスト

フォルダリストからカスタムレポート定義を選択すると、カスタムレポートリスト画面が表示されます。カスタムレポートリスト画面には、定義されたカスタムレポートの登録名等が表示されます。

以下にカスタムレポートリスト画面の表示項目と表示内容について説明します。

カスタムレポートリスト

1件中1 - 1件目 1

<input type="checkbox"/>	登録名 [▼/▲]	概要 [▼/▲]	更新者 [▼/▲]	所有者 [▼/▲]	更新日 [▼/▲]
<input checked="" type="checkbox"/>	 カスタムレポート1		admin	administrators	2013/09/24 14:27:19

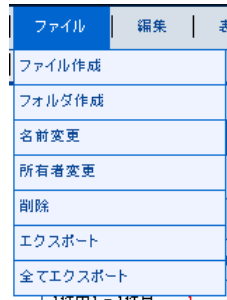
1件中1 - 1件目 1

表示項目	表示内容
登録名	登録(保存)されているカスタムレポートの名前(カスタムレポート名)を示します。
概要	カスタムレポートの概要を示します。
更新者	カスタムレポートを作成したユーザ名を示します。
所有者	カスタムレポートの所有者であるグループ名を示します。
更新日	カスタムレポートを作成した日時を示します。

表示項目「所有者」は管理者グループ(administrators)のユーザ以外では表示しません。

カスタムレポートリスト画面では、カスタムレポートに対してメニューから操作することができます。

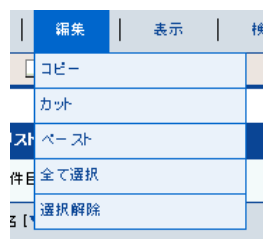
以下にカスタムレポートリスト表示中のメニュー項目(ファイル)に表示される項目と操作内容について記載します。



項目	操作内容
ファイル作成	カスタムレポートを作成します。
フォルダ作成	カスタムレポートを分類する、フォルダを作成します。
名前変更	カスタムレポートリスト画面に表示されるカスタムレポートの登録名を変更します。
所有者変更	カスタムレポート画面に表示される、カスタムレポート所有者を変更します。
削除	カスタムレポートを削除します。
エクスポート	選択したレポート作成条件をエクスポートします。
全てエクスポート	登録されている全てのレポート作成条件をエクスポートします。

表示項目「所有者変更」は管理者グループ(administrators)のユーザ以外では表示しません。

以下にカスタムレポートリスト表示中のメニュー項目(編集)に表示される項目と操作内容について記載します。



項目	操作内容
コピー	カスタムレポートをコピーする為、選択したカスタムレポートをメモリに記憶します。
カット	カスタムレポートを移動する為、選択したカスタムレポートをメモリに記憶します。
ペースト	メモリ上にあるカスタムレポートを作成します。
全て選択	表示されている全てのカスタムレポートを選択します。
選択解除	選択されている全てのカスタムレポートの選択を解除します。

以下にカスタムレポートリスト表示中のメニュー項目(表示)に表示される項目と操作内容について記載します。



項目	操作内容
更新	カスタムレポートリスト画面でのカスタムレポートの表示内容を更新します。
表示数 20 件	カスタムレポートリスト画面でのカスタムレポートの表示数を 20 件に変更します。
表示数 50 件	カスタムレポートリスト画面でのカスタムレポートの表示数を 50 件に変更します。
表示数 100 件	カスタムレポートリスト画面でのカスタムレポートの表示数を 100 件に変更します。

以下にカスタムレポートリスト表示中のメニュー項目(検索)に表示される項目と操作内容について記載します。



項目	操作内容
ファイル検索	登録されているカスタムレポートの名前を検索します。

9.7.2. スタイルシートタブ

カスタムレポートリスト画面からカスタムレポートを選択するか、カスタムレポートリスト画面でメニューから[ファイル]を選択し[ファイル作成]を選択した場合は、選択したカスタムレポートまたは新規のカスタムレポートが表示されます。

カスタムレポートでは、以下のタブが表示されます。

- スタイルシートタブ
- 外部レポートエンジンタブ

カスタムレポートは登録(保存)することができます。カスタムレポートを登録する場合は、メニューから[ファイル]を選択し、[名前を付けて保存]又は[上書き保存]を選択します。登録(保存)されたカスタムレポートはレポート作成条件の出力タブでの出力フォーマットで選択することができます。

この章ではスタイルシートタブについて説明します。

スタイルシートタブでは、登録するXSL ファイルの指定、出力するレポートの拡張子、レポート形式のバージョン等の設定を行います。

スタイルシートタブでの設定項目は以下の通りです。

番号	設定項目／ボタン	設定／実行内容
1	XSL ファイル	登録する XSL ファイルパスを指定します。 参照ボタンを押下することでダイアログが表示されますので、XSL ファイルを選択する事ができます。
2	拡張子	IVEX Logger Viewer が作成するレポートの出力フォーマット拡張子を指定します。
3	対応 XML バージョン	レポートの形式を選択します。 レポート形式は以下から選択します。
4	キャンセル	設定されたカスタムレポートの編集をキャンセルし、カスタムレポートリスト画面を表示します。

9.7.3. カスタムレポートリスト

外部レポートエンジンタブでは、コンソールサーバのレポートエンジンが呼び出す、外部レポートエンジンのコマンドパスを指定する事ができます。

スタイルシート 外部レポートエンジン

(1) 外部レポートエンジン: (C:\logstorage\report\%s\%s\report.pl)

(2) キャンセル

番号	設定項目／ボタン	設定／実行内容
1	外部レポートエンジン	コンソールサーバのレポートエンジンが呼び出す、外部レポートエンジンのコマンドパスを絶対パスで指定します。 外部コマンドのオプションを指定する場合は、スペースを入れて指定します。
2	キャンセル	設定されたカスタムレポートの編集をキャンセルし、カスタムレポートリスト画面を表示します。

10. ログフォーマット管理(画面詳細説明)

以下の各項目では、ログフォーマット管理を使用する際に表示される画面について説明します。ログフォーマット管理を使用するにはフォルダリストから以下の項目のいずれかを選択します。

以下は一般ユーザのフォルダリストです。

- ログフォーマット定義
- タグ定義
- 設定プレビュー
- インポート



ログフォーマット定義を選択するとアプリケーションリスト画面が表示されます。

タグ定義を選択するとタグリスト画面が表示されます。

設定プレビューを選択すると設定プレビュー画面が表示されます。

インポートを選択するとログフォーマット定義のインポート画面が表示されます。

以下は管理者のフォルダリストです。

- ログフォーマット定義
- タグ定義
- 設定プレビュー
- 「システムの設定」→「インポート・エクスポート」



ログフォーマット定義を選択するとアプリケーションリスト画面が表示されます。

タグ定義を選択するとタグリスト画面が表示されます。

設定プレビューを選択すると設定プレビュー画面が表示されます。

インポート機能については、フォルダリスト「システムの設定」→「インポート・エクスポート」により行います。

10.1. ログフォーマット定義

10.1.1. アプリケーションリスト

フォルダリストからログフォーマット定義を選択すると、アプリケーションリスト画面が表示されます。アプリケーションリスト画面には、登録されたログフォーマット定義のアプリケーション名が表示されます。

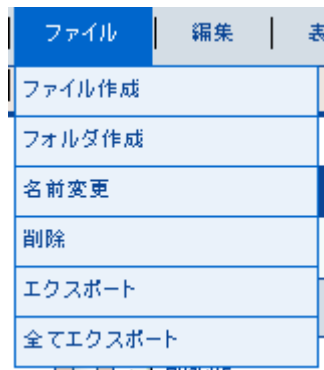
アプリケーションリスト			
1件中1 - 1件目 1			
<input type="checkbox"/>	登録名 [▼ / ▲]	概要 [▼ / ▲]	更新者 [▼ / ▲] 更新日 [▼ / ▲]
<input checked="" type="checkbox"/>	IVEX Logger		admin 2013/09/19 14:10:28
1件中1 - 1件目 1			

以下にアプリケーションリスト画面の表示項目と表示内容について説明します。

表示項目	表示内容
登録名	登録されているログフォーマット定義のアプリケーション名を表示します。
概要	ログフォーマット定義の概要を表示します。
更新者	ログフォーマット定義を作成したユーザ名を表示します。
更新日	ログフォーマット定義を作成した日時を表示します。

アプリケーションリスト画面では、ログフォーマット定義に対してメニューから操作することができます。

以下にアプリケーションリスト表示中のメニュー項目(ファイル)に表示される項目と操作内容について記載します。



項目	操作内容
ファイル作成	ログフォーマット定義を作成します。
フォルダ作成	ログフォーマット定義を分類するフォルダを作成します。
名前変更	アプリケーションリスト画面に表示されるログフォーマット定義の登録名を変更します。
削除	登録しているログフォーマット定義を削除します。 ただし、検索条件や集計条件等で使用されているログフォーマット定義(アプリケーション、アクション、メッセージパラメータ)は削除することはできません。 削除する場合は、使用している検索条件や集計条件等を削除してから削除して下さい。
エクスポート	選択したログフォーマット定義をエクスポートします。
全てエクスポート	登録されている全てのログフォーマット定義をエクスポートします。

エクスポート並びに全てエクスポート選択時に、IE でアップロードやダウンロード時に表示されるポップアップは、「Ctrl」キーを押しながら操作することで表示されないように動作することができます。

以下にアプリケーションリスト表示中のメニュー項目(編集)に表示される項目と操作内容について記載します。



項目	操作内容
コピー	ログフォーマット定義をコピーするため、選択したログフォーマット定義をメモリに記憶します。
カット	ログフォーマット定義を移動するため、選択したログフォーマット定義をメモリに記憶します。
ペースト	メモリ上にあるログフォーマット定義を作成します。 なお、コピーにより作成されるログフォーマット定義でのアプリケーション名は「Copy コピー元アプリケーション名」となり、アプリケーションの正規表現は、コピー元の正規表現に「(「」)」(括弧)が加えられて定義されます。
全て選択	表示されている全てのログフォーマット定義を選択します。
選択解除	選択されている全てのログフォーマット定義の選択を解除します。

以下にアプリケーションリスト表示中のメニュー項目(ファイル)に表示される項目と操作内容について記載します。

以下にアプリケーションリスト表示中のメニュー項目(表示)に表示される項目と操作内容について記載します。



項目	操作内容
更新	アプリケーションリスト画面でのログフォーマット定義の表示内容を更新します。
表示数 20 件	アプリケーションリスト画面でのログフォーマット定義の表示数を 20 件に変更します。
表示数 50 件	アプリケーションリスト画面でのログフォーマット定義の表示数を 50 件に変更します。
表示数 100 件	アプリケーションリスト画面でのログフォーマット定義の表示数を 100 件に変更します。

以下にアプリケーションリスト表示中のメニュー項目(検索)に表示される項目と操作内容について記載します。



項目	操作内容
ファイル検索	登録されているログフォーマット定義のアプリケーション名を検索します。

10.1.2. アプリケーションタブ

アプリケーションリスト画面からアプリケーション名を選択するか、アプリケーションリスト画面でメニューから[ファイル]を選択し[ファイル作成]を選択した場合は、選択したログフォーマット定義の作成画面または新規のログフォーマット定義の作成画面が表示されます。

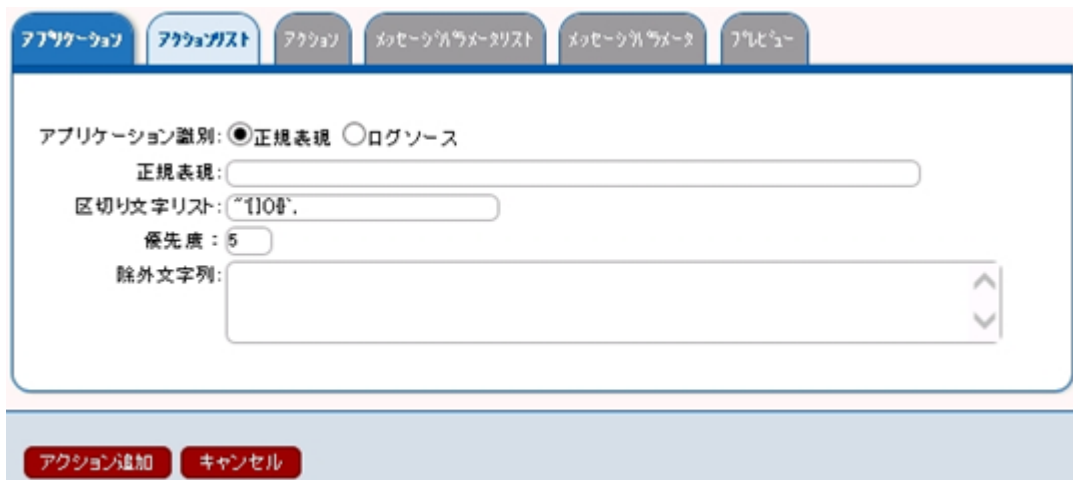
ログフォーマット定義の作成画面では、以下のタブが表示されます。

- アプリケーションタブ
- アクションリストタブ
- アクションタブ
- メッセージパラメータリストタブ
- メッセージパラメータタブ
- プレビュータブ

ログフォーマット定義を登録(上書き保存)する場合は、メニューから[ファイル]を選択し、[名前を付けて保存](又は[上書き保存])を選択します。

この章ではアプリケーションタブについて説明します。

アプリケーションタブでは、ログに対するアプリケーションの定義を指定する事ができます。



アプリケーション

アプリケーション識別: ☒ 正規表現 ☐ ログソース

正規表現:

区切り文字リスト:

優先度:

除外文字列:

アクション追加 キャンセル



アプリケーション

アプリケーション識別: ☐ 正規表現 ☒ ログソース

ログソース:
client2
client3
client4

除外

登録

区切り文字リスト:

優先度:

除外文字列:

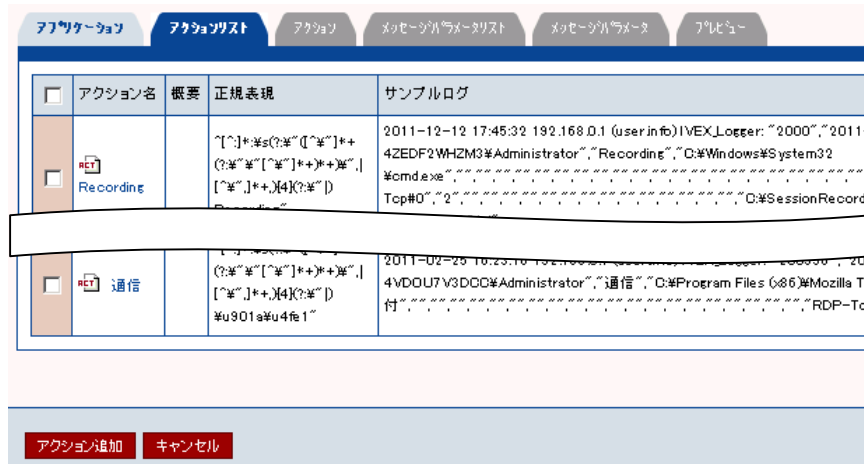
アクション追加 キャンセル

設定項目／ボタン	設定内容／操作内容
アプリケーション識別:	<p>ログのアプリケーションを特定する条件を正規表現、ログソースで指定します。</p> <p>正規表現: アプリケーションの特定を、ログに含まれる文字列を正規表現で指定することで行います。選択した場合、正規表現の入力が表示されます。</p> <p>ログソース: アプリケーションの特定を、ログを送信元のログソースを指定することで行います。選択した場合、ログソースの追加／削除が表示されます。</p>
正規表現: (正規表現の入力) ※アプリケーション識別で正規表現を選択すると表示されます。	<p>当該アプリケーションにマッチさせるログに含まれる文字列を正規表現で入力します。</p> <p>IVEX Logger Viewer では入力された正規表現にマッチする文字列があるログを、当該アプリケーションのログとして認識します。</p> <p>なお、他のアプリケーションと同一の正規表現を入力することはできません。</p> <p>入力した正規表現にマッチするログが他のアプリケーションの正規表現にもマッチする場合、どちらのアプリケーションにマッチするかは優先度に依存します。</p>
ログソース: (ログソースの追加／削除) ※アプリケーション識別でログソースを選択すると表示されます。	<p>登録欄に当該アプリケーションにマッチさせるログを送信するログソースを追加します。</p> <p>IVEX Logger Viewer では登録されたログソースからのログを、当該アプリケーションのログとして認識します。</p> <p>なお、他のアプリケーションで登録されているログソースを登録することはできません。</p>
区切り文字リスト:	<p>ログの区切り文字を指定します。</p> <p>IVEX Logger Viewer では、ここで指定された文字で単語を区切り、区切られた単語をキーワードとして識別します。</p>
優先度:	<p>当該アプリケーションの優先度を指定します。</p> <p>入力された正規表現にマッチするログが他のアプリケーションの正規表現にもマッチする場合に、ログをどちらのアプリケーションにマッチさせるかの度合いを数値で指定します。</p> <p>数値が大きい方を優先します。</p>
除外文字列	<p>IVEX Logger Viewer に登録したくないキーワードを指定します。</p> <p>例えば検索対象として意味を持たない「a」や「an」や「the」をスペース区切りで入力します。</p>
アクション追加	アクションタブへ移動します。
キャンセル	入力した項目を全て削除しアプリケーションリスト画面に戻ります。

10.1.3. アクションリストタブ

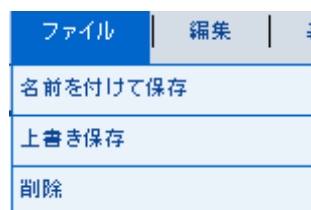
アクションリストタブでは、当該アプリケーションに対して保存されたアクションの一覧が表示されます。

アクションリストタブでの表示項目は以下の通りです。



表示項目	表示内容
アクション名	アプリケーションに登録されているアクションのアクション名を表示します。 アクション名を選択すると、当該アクションのアクションタブを表示します。
概要	登録されているアクションの概要を表示します。
正規表現	登録されているアクションを特定する正規表現を表示します。
サンプルログ	登録されているアクションに設定されているサンプルログを表示します。
アクション追加	アプリケーションに新規のアクションを追加します。
キャンセル	アプリケーションリスト画面に戻ります。

アクションリストタブでは、保存されたアクションを削除することができます。保存されたアクションを削除する場合は、削除するアクション名の左にチェックし、メニュー項目(ファイル)の削除を選択します。



ただし、検索条件や集計条件等で使用されているログフォーマット定義(アプリケーション、アクション、メッセージパラメータ)は削除することはできません。削除する場合は、使用している検索条件や集計条件等を削除してから削除して下さい。

10.1.4. アクションタブ

アクションタブでは、当該アプリケーションのアクションとして保存するアクションの設定を行います。アクションの設定は、アプリケーションの動作をログから判断する目的で指定します。

例えば、FTP などのようなプロトコルを使用したアプリケーションでは、ファイルを送信する(PUT)、ファイルを受信する(GET)などがあります。アクションタブでの設定項目は以下の通りです。

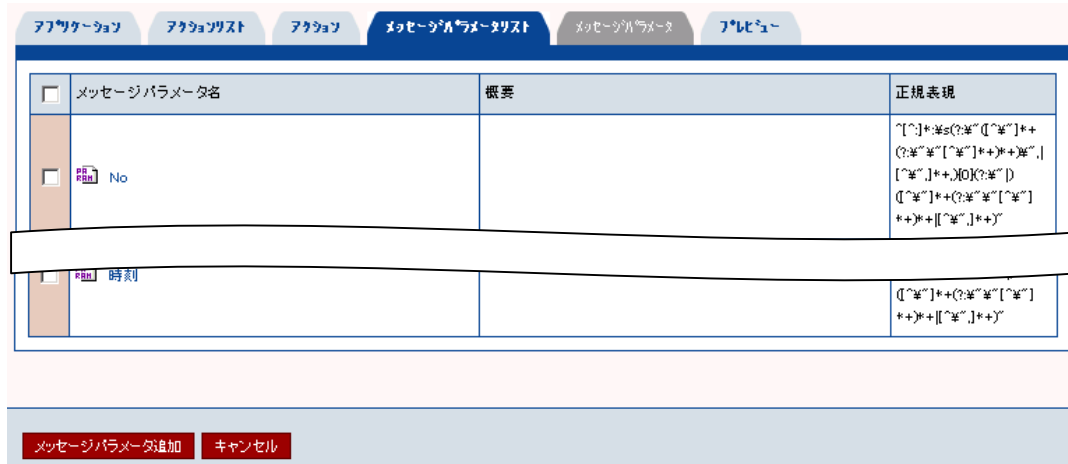
設定項目／ボタン	設定内容／操作内容
アクション名：	登録するアクションの名前を入力します。
概要：	登録するアクションの概要を入力します。
正規表現：	アクションを特定する、ログに含まれる文字列を、正規表現で入力します。同じアプリケーション内で複数のアクションに同一の正規表現を記載することはできません。入力した正規表現にマッチするログが他のアクションの正規表現にもマッチする場合、どちらのアクションにマッチするかは優先度に依存します。
ハイライト色：	設定したアクションに該当するログを検索結果として表示する際の背景色をカラーコードで設定します。
色選択	設定したアクションに該当するログを検索結果として表示する際の背景色を画面に表示される色の中から設定します。 画面に表示される色については下記をご覧ください。
サンプルログ：	定義したアクションが含まれるサンプルログを入力します。 サンプルログの形式は下記をご覧ください。

211

10.1.5. メッセージパラメータリストタブ

メッセージパラメータリストには、アクションに対して保存したメッセージパラメータの一覧が表示されます。

メッセージパラメータリストタブでの表示項目は以下の通りです。



表示項目／ボタン	表示内容
メッセージパラメータ名	アクションに対して登録されているメッセージパラメータ名を表示します。 メッセージパラメータ名を選択すると、当該メッセージパラメータのメッセージパラメータタブを表示します。
概要	登録されているメッセージパラメータの概要を表示します。
正規表現	登録されているメッセージパラメータを特定する正規表現を表示します。
メッセージパラメータ追加	アクションに対して新たにメッセージパラメータを追加します。
キャンセル	アプリケーションリスト画面に戻ります。

メッセージパラメータリストタブでは、保存されたメッセージパラメータを削除することができます。保存されたアクションを削除する場合は、削除するアクション名の左にチェックし、メニュー項目(ファイル)の削除を選択します。



ただし、検索条件や集計条件等で使用されているログフォーマット定義(アプリケーション、アクション、メッセージパラメータ)は削除することはできません。削除する場合は、使用している検索条件や集計条件等を削除してから削除して下さい。

設定項目／ボタン	設定内容／操作内容
タグアサイン:	<p>メッセージパラメータに関連するタグを指定します。</p> <p>1 つのタグには、各アプリケーションで登録された複数のメッセージパラメータを関連付けることができます。</p> <p>メッセージパラメータを検索条件とした場合は、そのメッセージパラメータを含むログが検索の対象となります。</p> <p>タグを検索条件とした場合は、タグに関連付けられる全てのメッセージパラメータを含むログが検索対象となります。</p>
保存	<p>メッセージパラメータを保存します。</p> <p>メニュー項目の[ファイル]の[上書き保存]はアプリケーションタブの保存です。メッセージパラメータタブの設定内容を保存する場合は保存ボタンを選択します。</p>
キャンセル	<p>メッセージパラメータタブの設定内容を保存せずに、アプリケーションリスト画面に戻ります。</p>

10.1.7. プレビュータブ

指定したログフォーマット定義が正しく IVEX Logger Viewer に認識されるか、サンプルログを使用してプレビューを行うことができます。プレビューの結果は、解析結果と XML 表現の 2 つの形式で表示されます。

10.1.7.1. 解析結果

プレビューの結果をツリー形式で表示します。

ログデータを解析しました。

```

2013-09-19 11:00:57 192.168.30.209 (userinfo) IVEX_Logger: "17","2013-09-19 11:00:57.067","PC-WIN7X64","PC-
WIN7X64\admin","アプリケーション起動","C:\Windows\system32\rdpolip.exe",,,,,,,,,,,,,,RDP-
Top#0,"2",,,,,,,,,,,,,,,許可"
```

>>XML表現

- 基本情報
 - アプリケーション : **IVEX Logger**
 - pid :
- アクション : **アプリケーション起動**
 - <no> No:17
 - <application_path> **アプリケーションパス:C:\Windows\system32\rdpolip.exe**
 - <operation> **イベント:アプリケーション起動**
 - <server_name> **コンピューター名:PC-WIN7X64**
 - <session_id> **セッションID:2**
 - <session_name> **セッション名:RDP-Top#0**
 - <user_name> **ログインユーザー:PC-WIN7X64\admin**
 - <property> **成否:許可**
 - <datetime> **時刻:2013-09-19 11:00:57.067**
- 全文検索インデックス
 - 2013-09-19
 - IVEX_Logger:
 - 11:00:57.067

10.1.7.2. XML 表現

プレビューの結果を XML 形式で表示します。

アプリケーション
アクションリスト
アクション
メッセージフォーマットリスト
メッセージフォーマット
プレビュー

ログデータを解析しました。

2013-09-19 11:00:57 192.168.30.209 (user:info) IVEX_Logger: "17","2013-09-19 11:00:57.067","PC-WIN7X64","PC-WIN7X64¥admin","アプリ

解析結果<<
XML表現

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?><logs>
  <log>
    <timestamp>2013-09-19 11:00:57</timestamp>
    <host name="Client1">192.168.30.209</host>
    <pid/>
    <facility>user</facility>
    <priority>info</priority>
    <message>IVEX_Logger: "17","2013-09-19 11:00:57.067","PC-WIN7X64","PC-WIN7X64¥admin","アプリケーション起動",'
    <application name="IVEX Logger">
      <action name="アプリケーション起動" color="FFFFFF">
        <param tag="no" name="No">17</param>
        <param tag="application_path" name="アプリケーションパス">C:\Windows\system32\rdpclip.exe</param>
        <param tag="operation" name="イベント">アプリケーション起動</param>
        <param tag="server_name" name="コンピューター名">PC-WIN7X64</param>
        <param tag="session_id" name="セッションID">2</param>
        <param tag="session_name" name="セッション名">RDP-Top#0</param>
        <param tag="user_name" name="ログインユーザー">PC-WIN7X64¥admin</param>
        <param tag="property" name="成否">許可</param>
        <param tag="datetime" name="時刻">2013-09-19 11:00:57.067</param>
      </action>
    </application>
  </log>
</logs>

```

10.2. タグ定義

フォルダリストからタグ定義を選択すると、タグリスト画面が表示されます。タグリスト画面には、登録されたタグのタグ名が表示されます。

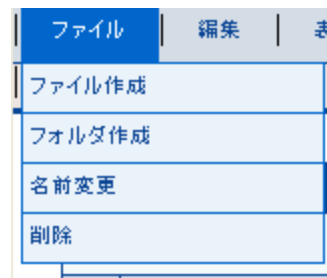
タグリスト				
45件中1 - 20件目 1 2 3 NEXT ▶				
<input type="checkbox"/>	登録名 [▼/▲]	概要 [▼/▲]	更新者 [▼/▲]	更新日 [▼/▲]
<input type="checkbox"/>	TBC 00		admin	2013/09/19 14:10:28
<input type="checkbox"/>	TBC From		admin	2013/09/19 14:10:28
<input type="checkbox"/>	TBC ICLファイル名		admin	2013/09/19 14:10:28
<input type="checkbox"/>	TBC IPアドレス		admin	2013/09/19 14:10:28

以下にタグリスト画面の表示項目と表示内容について説明します。

表示項目	表示内容
登録名	登録されているタグのタグ名を表示します。
概要	登録されているタグの概要を表示します。
更新者	登録されているタグを作成したユーザ名を表示します。
更新日	登録されているタグを作成した日時を表示します。

タグリスト画面では、登録されているタグに対してメニューから操作することができます。

以下にタグリスト表示中のメニュー項目(ファイル)に表示される項目と操作内容について記載します。



項目	操作内容
ファイル作成	タグを作成します。
フォルダ作成	タグを分類するフォルダを作成します。
名前変更	タグリスト画面に表示されるタグ名を変更します。
削除	登録しているタグを削除します。 ただし、メッセージパラメータに関連付けされているタグを削除することはできません。

以下にタグリスト表示中のメニュー項目(編集)に表示される項目と操作内容について記載します。



項目	操作内容
コピー	登録されているタグをコピーするため、選択したタグをメモリに記憶します。
カット	登録されているタグを移動するため、選択したタグをメモリに記憶します。
ペースト	メモリ上にあるタグを作成します。 なお、コピーにより作成されるタグでのタグ名は「Copy コピー元タグ名」となり、タグは、コピー元のタグに「(」(「)」(括弧)が加えられて定義されます。
全て選択	表示されている全てのタグを選択します。
選択解除	選択されている全てのタグの選択を解除します。

以下にタグ表示中のメニュー項目(表示)に表示される項目と操作内容について記載します。



項目	操作内容
更新	タグリスト画面でのタグ名の表示内容を更新します。
表示数 20 件	タグリスト画面でのタグ名の表示数を 20 件に変更します。
表示数 50 件	タグリスト画面でのタグ名の表示数を 50 件に変更します。
表示数 100 件	タグリスト画面でのタグ名の表示数を 100 件に変更します。

以下にアプリケーションリスト表示中のメニュー項目(検索)に表示される項目と操作内容について記載します。



項目	操作内容
ファイル検索	登録されているタグのタグ名を検索します。

10.2.1. タグタブ

タグリスト画面からタグ名を選択するか、タグリスト画面でメニューから[ファイル]を選択し[ファイル作成]を選択した場合は、選択したタグ定義の作成画面または新規のタグ定義の作成画面が表示されます。

タグ定義の作成画面では、以下のタブが表示されます。

- タグタブ
- アサインタブ

タグを登録(上書き保存)する場合は、メニューから[ファイル]を選択し、[名前を付けて保存](又は[上書き保存])を選択します。






この章ではタグタブについて説明します。

タグタブでは、タグの名前を入力する事ができます。

設定項目／ボタン	設定内容／操作内容
タグ:	タグの名前を入力します。
キャンセル	設定内容を保存せずにタグリスト画面に戻ります。

10.2.2. アサインタブ

アサインタブでは、タグにアサインされているメッセージパラメータの一覧を確認する事ができます。

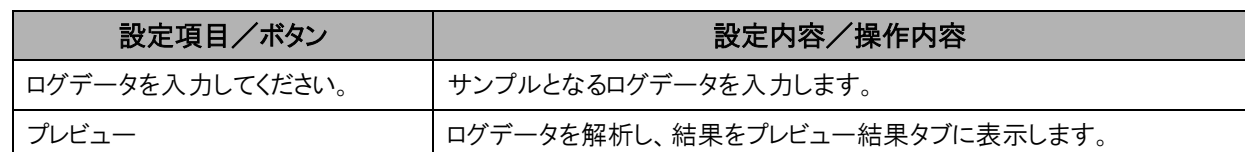
タグ アサイン		
アプリケーション名	アクション名	メッセージパラメータ名
 IVEX Logger	 ログイン	 IPアドレス
 IVEX Logger	 ログオフ	 IPアドレス
 IVEX Logger	 切断	 IPアドレス
<div>キャンセル</div>		

表示項目	表示内容
アプリケーション名	タグがアサインされているメッセージパラメータの、アプリケーション名を表示します。 アプリケーション名を選択すると、当該アプリケーションのアプリケーションタブを表示します。
アクション名	タグがアサインされているメッセージパラメータの、アクション名を表示します。 アクション名を選択すると、当該アクションのアクションタブを表示します。
メッセージパラメータ名	タグがアサインされているメッセージパラメータの、メッセージパラメータ名を表示します。 メッセージパラメータ名を選択すると、当該メッセージパラメータのメッセージパラメータタブを表示します。

10.3.1. 設定プレビュータブ

設定プレビュータブでは、サンプルのログを入力し、定義したログフォーマット定義が正しく認識されるかを確認することができます。

- ログフォーマット定義は保存されているか
- 使用するサンプルのログは取得しているか
- IP アドレスはログソースとして登録されているか



10.3.2. プレビュー結果タブ

サンプルログの解析結果が表示されます。

解析結果は、ツリー形式(解析結果)と XML 形式(XML 表現)の 2 つの形式で表示されます。

表示内容については「10.1.7. プレビュータブ」をご覧ください。

10.4. インポート(管理者)

インポートタブでは、予め作成されたログフォーマット定義のファイルからログフォーマット定義をインポートすることができます。

10.4.1. インポートタブ(管理者)

フォルダリスト「システムの設定」→「インポート・エクスポート」を選択すると、インポートタブが表示されます。

「参照」ボタンを選択して、インポートするログフォーマット定義のファイルを選択します。その後、アップロードボタンを選択します。アップロードボタンを選択後、以下の画面が表示されます。

選択	登録名	種類	処理状況	解決方法	マージ	上書き	変更
<input checked="" type="checkbox"/>	IVEX Logger	アプリケーション	正規表現重複	上書き	<input checked="" type="checkbox"/>	子要素も上書き	

選択	登録名	種類	処理状況	解決方法	マージ	上書き	変更
<input checked="" type="checkbox"/>	CC	タグ	タグ値重複	上書き			
<input checked="" type="checkbox"/>	送信先アドレス	タグ	タグ値重複	上書き			

画面に表示されるログフォーマット定義とタグ定義からインポートする項目をチェックして、インポート項目確認へボタンを選択します。インポート時に登録済みのログフォーマット定義又はタグ定義があった場合は、以下のような画面が表示されます。

インポート

エクスポート

ファイル名: 参照...

ログフォーマット管理

ログフォーマット定義

<input checked="" type="checkbox"/>	<< >>	登録名	種類	処理状況	解決方法	マージ 上書き 変更
<input checked="" type="checkbox"/>		IVEX Logger	アプリケーション	正規表現重複	上書き	<input checked="" type="checkbox"/> 子要素も上書き

↑トップ

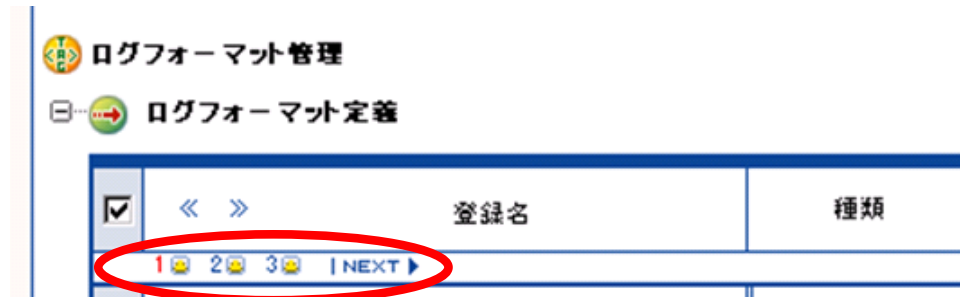
タグ定義

<input checked="" type="checkbox"/>	<< >>	登録名	種類	処理状況	解決方法	マージ 上書き 変更
<input checked="" type="checkbox"/>		CC	タグ	タグ値重複	上書き	
<input checked="" type="checkbox"/>		From	タグ	タグ値重複	上書き	
<input checked="" type="checkbox"/>		IGLファイル名	タグ	タグ値重複	上書き	
<input checked="" type="checkbox"/>		IPアドレス	タグ	タグ値重複	上書き	

画面の各項目については、以下をご覧ください。

表示項目	内容
登録名	ログフォーマット定義やタグ定義の名前です。
種類	登録名の種類を表します。例：アプリケーション、タグなど
処理状況	登録済みのログフォーマット定義やタグ定義があった場合、その重複状況を表します。何も表示が無い項目は、新規追加の項目です。
解決方法(マージ)	登録済みのログフォーマット定義やタグ定義を利用します。(変更なし) 解決方法(マージ)ボタンは、一括でマージする際のボタンです。
解決方法(上書き)	登録済みのログフォーマット定義やタグ定義を上書きします。 解決方法(上書き)ボタンは、一括で上書きする際のボタンです。
解決方法(変更)	登録するログフォーマット定義やタグ定義の値を変更してインポートします。「自動」チェックボックスにチェックを入れると、重複する登録名の後ろに「(1)」のような形で番号を振って登録します。 「指定」チェックボックスにチェックを入れると、指定した値で登録します。 解決方法(変更)ボタンは、一括で自動変更する際のボタンです。

インポートするログフォーマット定義やタグ定義が多い場合は、「1 2 NEXT」の項目が表示されます。数字もしくは NEXT ボタンを押してページを移動することで、次のリストを見ることができます。数字の横のマークは、登録済みのログフォーマット定義やタグ定義と重複する項目があることを表します。それぞれのページへ移動して、重複を解決してください。



ログフォーマット定義のアクションやメッセージパラメータを一括で表示させたい場合は、「>>」マークを選択することで展開され、見ることができます。元の状態に戻す場合は「<<」マークを選択します。



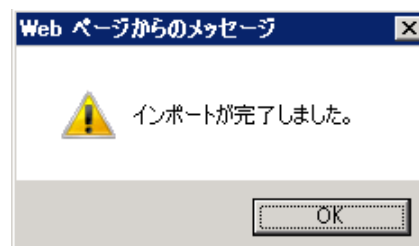
子要素を持つアプリケーションの場合は、解決方法「上書き」で子要素も上書きするオプションがあります。

<input checked="" type="checkbox"/>	登録名	種類	処理状況	解決方法
<input checked="" type="checkbox"/>	IVEX Logger	アプリケーション	⚠ 正規表現重複	上書き <input checked="" type="checkbox"/> 子要素も上書き
<input checked="" type="checkbox"/>	Recording	アクション	未処理	上書き
<input checked="" type="checkbox"/>	IDLファイル名	メッセージパラメータ	未処理	上書き

管理者によってエクスポートされたログフォーマット定義やタグ定義のファイルには、意図的に解決方法を固定に設定した状態のファイルがあります。そのファイルをインポートすると、ログフォーマット定義やタグ定義の解決方法を変更することができません。この設定は解除することができないため、変更可能にする場合は、管理者より変更可能なファイルを受け取る必要があります。

種類	処理状況	解決方法
アプリケーション		変更
アクション		-
メッセージパラメータ		-
メッセージパラメータ		-
メッセージパラメータ		-
メッセージパラメータ		-

全ての項目に対して解決方法を選択後、インポート項目確認へボタンを押した後の画面は以下の通りです。インポートする内容に問題が無ければ、インポートボタンを選択します。インポートボタン選択後インポート完了のダイアログボックスが表示されます。



IVEX Logger Series Ver 5.2.0

最終更新日: 2016.1.29(初版)

日本ナレッジ株式会社 <<http://www.know-net.co.jp/>>

〒111-0042 東京都台東区寿 3-19-5 JSビル 9F

TEL: 03-3845-4784